

# 取扱説明書

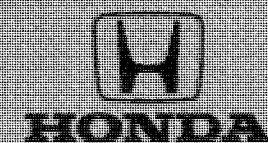
ご使用の前に  
よくお読みください。

**HONDA**

HONDA H NSX

**NSX**

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、ホンダ  
ベルノ店で点検整備を受けてください。  
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス一覧」  
をご覧ください。





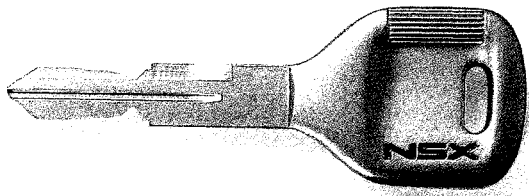
お問い合わせ、ご相談は、お買い求めのベルノ店もしくは全国共通のフリーダイヤル  
で下記のお客様相談センターがお受け致します。

|              |              |
|--------------|--------------|
| フリーダイヤル      | 0120-112010  |
| FAXインフォメーション | 03-5412-2388 |

本田技研工業株式会社 お客様相談センター  
受付時間 9：00～12：00 13：00～17：00  
〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1

・所在地、電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。

販売店のご案内、カタログのご注文、車の手続き、税金、保険、車種別主要諸元、装備、価格  
についてはホンダ24時間FAXインフォメーションをご用意しておりますのでご利用ください。



キーナンバー：\_\_\_\_\_

このたびはホンダ車をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
この本は、**NSX** の取り扱いについて必要事項を説明しています。  
安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、  
ご使用前に必ずお読みください。

この本はドライバーの動作に沿って各部の取り扱いを説明し、  
また、装備、万一のときの応急処置、お車の手入れなど、必要な情報を説明しています。

- 「安全ドライブのための必読6ポイント」は重要ですので、しっかりお読みください。
- 安全に関する表示  
「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。  
これらは重要ですので、しっかりお読みください。

### ⚠ 危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

### ⚠ 注意

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

### ⚠ 注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

- その他の表示  
お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

#### 🚗 アドバイス

お車のために守っていただきたいこと  
(車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、  
異常事態の処置方法を記載しています。)

#### 🏠 知識

知っておいていただきたいこと  
知っておくと便利なこと

- 運転はルールを守り、マナーよく。
  - ・シートベルトを着用しましょう。
  - ・子供やお年寄りをいたわりましょう。
  - ・迷惑運転はやめましょう。
  - ・法定速度を守りましょう。
  - ・駐停車は、ルールに従いましょう。
  - ・自然環境保護に気をくばりましょう。
- 保証や点検整備に関することはメンテナンスノートに記載しておりますので、ご使用前に必ずお読みください。
- 取扱説明書はメンテナンスノートとともに、いつもお車に保管してください。
- お車をゆずられるときは、つぎに所有されるかたのためにこの取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。
- ご不明な点は、担当セールスマンにおたずねください。

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

## 安全ドライブのための必読6ポイント

### ルーフの取り扱い

#### 1. 車を運転する前に

- 各部の開閉 40
- 各部の調節 47
- シートベルト 51

#### 2. 車を運転するときに

- メーター 56
- 表示灯 56
- 警告灯 60
- スイッチの使いかた 64
- 運転のしかた 71

#### 3. 安全装備

- SRSエアバッグシステム 88
- シートベルトプリテンショナー 92
- アンチロックブレーキシステム(ABS) 94
- トラクションコントロールシステム(TCS) 96
- その他の安全装備 98

#### 4. ドライブを快適にする装備

- ヒーター・エアコン 100
- オーディオ 108
- セキュリティシステム 118
- 室内装備品 118

#### 5. 万一のとき

- 工具・スペアタイヤ・発炎筒 126
- 故障したとき 128
- 事故が起きたとき 129
- けん引 130
- パンクしたとき 132
- 警告灯が点灯したとき 139
- オーバーヒートしたとき 140
- 電気系統が異常のとき 141
- こんなことでお困りのとき 150

#### 6. 車の手入れ

- 点検・整備について 152
- お車を美しく保つために 153
- 外装の手入れ 154
- 内装の手入れ 152
- 車にあった部品の使用 158

#### 7. 車との上手なつきあいかた

- 積雪・寒冷時の取り扱い 162
- こんなときは 166

### サービスデータ

### さくいん



1. お出かけまえに
2. お子さまに思いやりを
3. 正しい知識で最適運転

4. オートマチック車の注意ポイント
5. 駐車や停車はしっかりと
6. こんなことにも注意をしよう

9

- 各部の名称
- 脱着のしかた
- ルーフ開閉警告灯

31

- キー
- ドアの施錠・解錠
- ボンネット
- トランク
- エンジンルーム
- 燃料補給口
- パワーウィンドー

39

- 正しい運転姿勢
- シート
- チルト/テレスコピックステアリング
- バックミラー(後写鏡)

- スピードメーター
- タコメーター
- オドメーター
- トリップメーター
- 燃料計
- 水温計
- 電圧計
- 油圧計

55

- 方向指示器表示灯
- クルーズコントロール作動表示灯
- ヘッドライトの向き表示灯
- セレクトポジション表示灯

- 油圧警告灯
- PGM-FI警告灯
- 燃料残量警告灯
- トラクションコントロールシステム(TCS)警告灯
- トランスミッション警告灯
- ブレーキ警告灯
- エレクトリックパワーステアリング(EPS)警告灯
- アンチロックブレーキシステム(ABS)警告灯
- 充電警告灯
- シートベルト警告灯
- SRSエアバッグシステム警告灯
- セーフティインジケーター
- 警告灯の電球切れの点検

- エンジンスイッチ
- ヘッドライト昇降スイッチ
- 非常点滅表示灯スイッチ
- リヤデフロスタースイッチ
- フォグライトスイッチ
- ライトスイッチ
- 方向指示器スイッチ
- ワイパー/ウォッシャースイッチ
- イルミネーションコントロールツマミ
- ホーンスイッチ

- エンジンのかけかた
- チェンジレバーの操作
- オートマチック車の運転のしかた
- パーキングブレーキ
- セレクトレバーの操作
- クルーズコントロール

85

- 吹き出し風の調節
- オートエアコン
- オートヒーター

- 上手な使いかた
- アンテナ
- AM/FMラジオ一体式カセットステレオ

- 警報装置について
- セットのしかた

- 時計
- 照明灯
- サンバイザー
- 室内灯
- 灰皿
- 小物入れ
- スポットライト
- シガレットライター
- カップホルダー

- 格納場所
- 工具の種類
- 発炎筒について

- 踏切で動けなくなったとき
- 高速道路で故障したとき
- 道路で動けなくなったとき
- 故障の修理について

125

- ロープ取り付け部
- けん引されるとき
- 動けなくなったとき

- ジャッキの取り扱い
- 応急用スペアタイヤ(折りたたみ式)
- タイヤ交換

- バッテリーあがりのとき
- バッテリーの充電
- ライト類が点灯しないとき、電気装置が作動しないとき
- 前照灯が昇降しないとき

151

- 洗車のしかた
- 樹脂塗装部品の手入れ
- タイヤについて
- ワックスをかけるとき
- ガラスの手入れ
- アルミホイールについて
- 液体、レザークリーナーについて
- 本革の取り扱い

- 運転するまえ
- 運転するとき
- 駐車するとき
- 冬期の手入れ

161

- 雨の日の運転
- 夏場の取り扱い
- 経済走行のために

168

174

## ビジュアル目次

ライトスイッチ 65

クルーズコントロールスイッチ 【タイプ別装備】 82

イルミネーションコントロールツマミ 70

ヘッドライト昇降スイッチ 67

メーター 56

表示灯 58

警告灯 60

トラクションコントロールシステム(TCS)スイッチ

【タイプ別装備】 96

リヤデフロスタースイッチ 69

非常点滅表示灯(ハザード)スイッチ 67

ワイパー/ウォッシャースイッチ 68

シフトスイッチ 【オートマチック車】 76

ホーンスイッチ 70

テレスコピックステアリング調整レバー 49

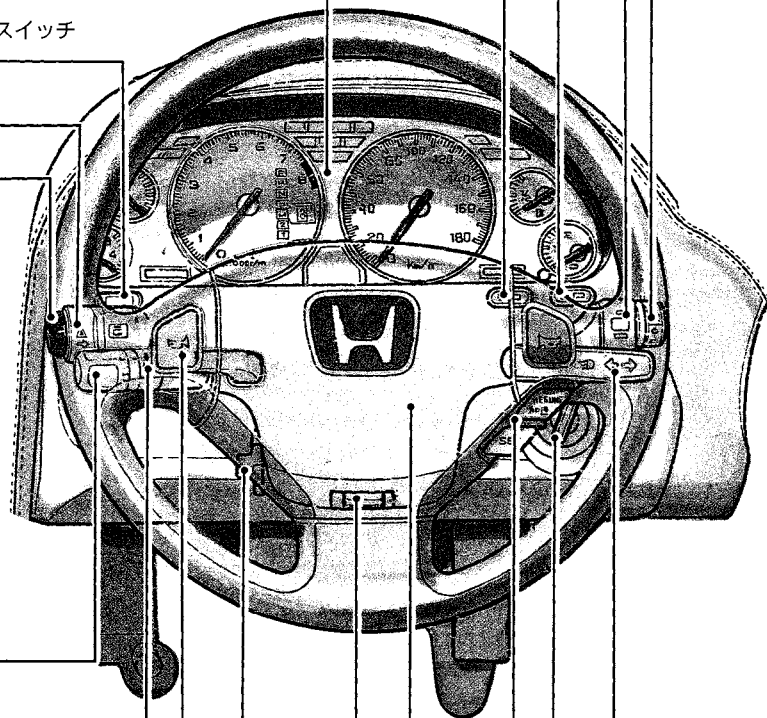
チルトステアリング調整レバー 49

運転席用SRSエアバッグシステム 【タイプ別装備】 87

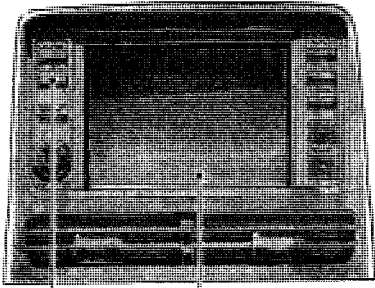
クルーズコントロール操作スイッチ 【タイプ別装備】 82

エンジンスイッチ 64

方向指示器(ウィンカー)スイッチ 67

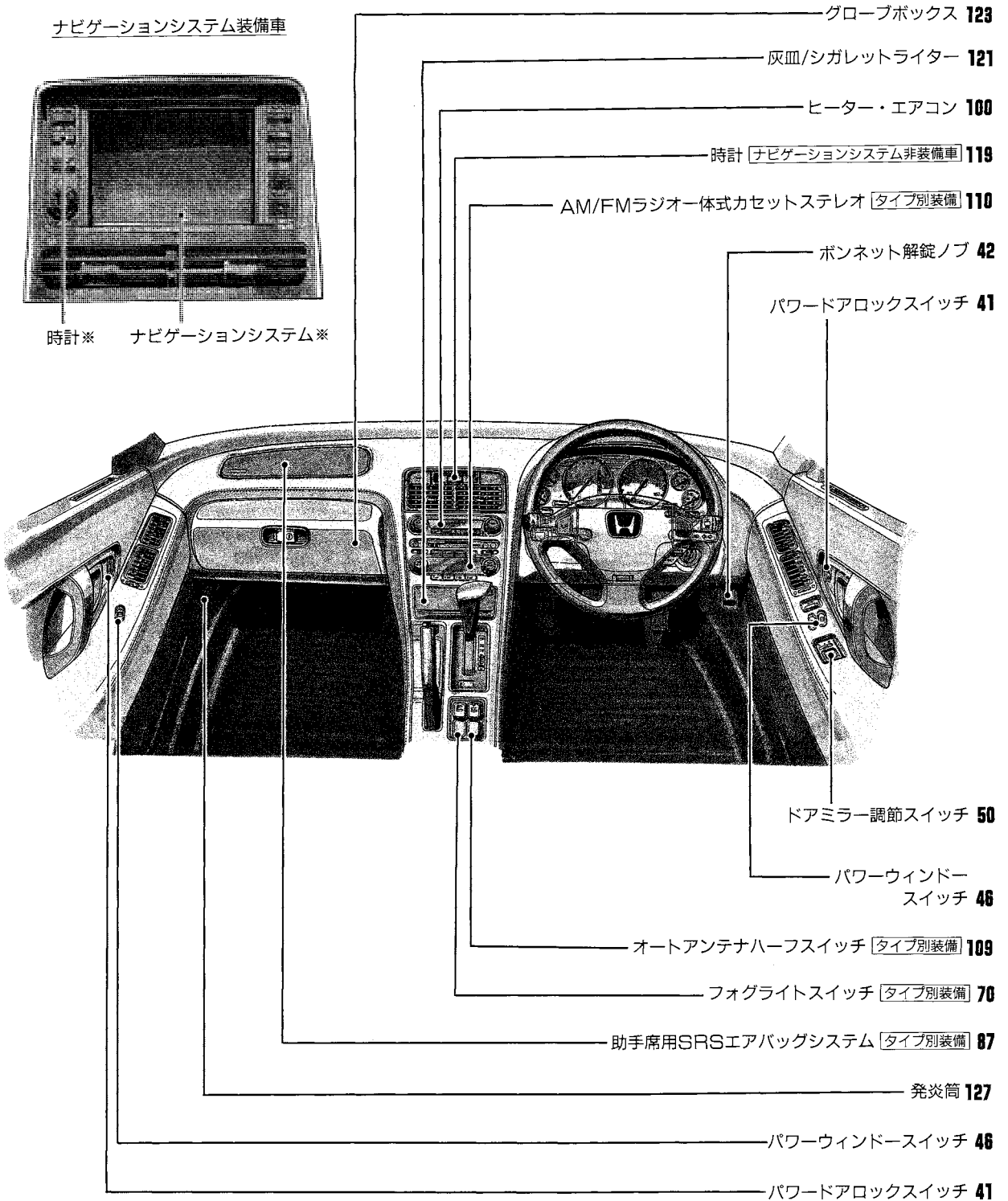


## ナビゲーションシステム装備車



時計※

ナビゲーションシステム※



※：ナビゲーションシステム装備車については、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をご覧ください。



## ビジュアル目次

室内灯 120

シートベルト 51

カップホルダー タイプ別装備 123

電動トランクオープナー 43

コインホルダー タイプ別装備 123

ルーフの取り扱い typeT 31

サンバイザー 122

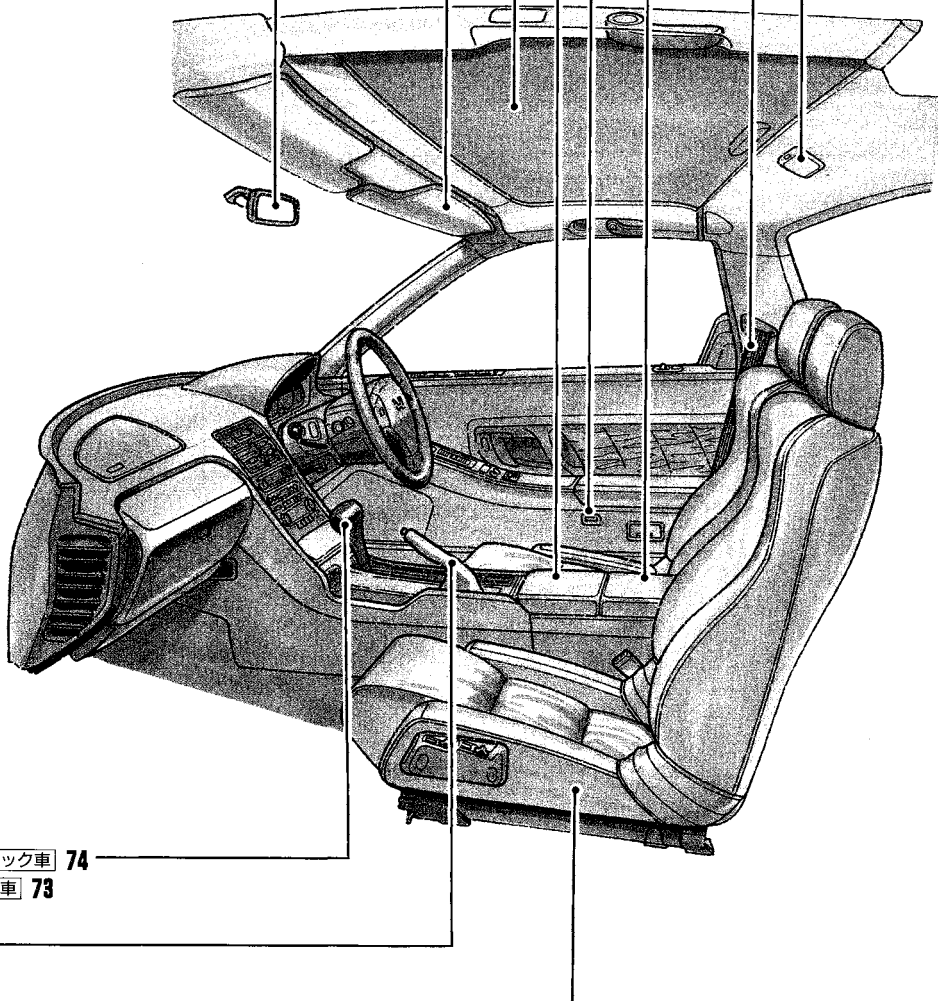
ルームミラー 50

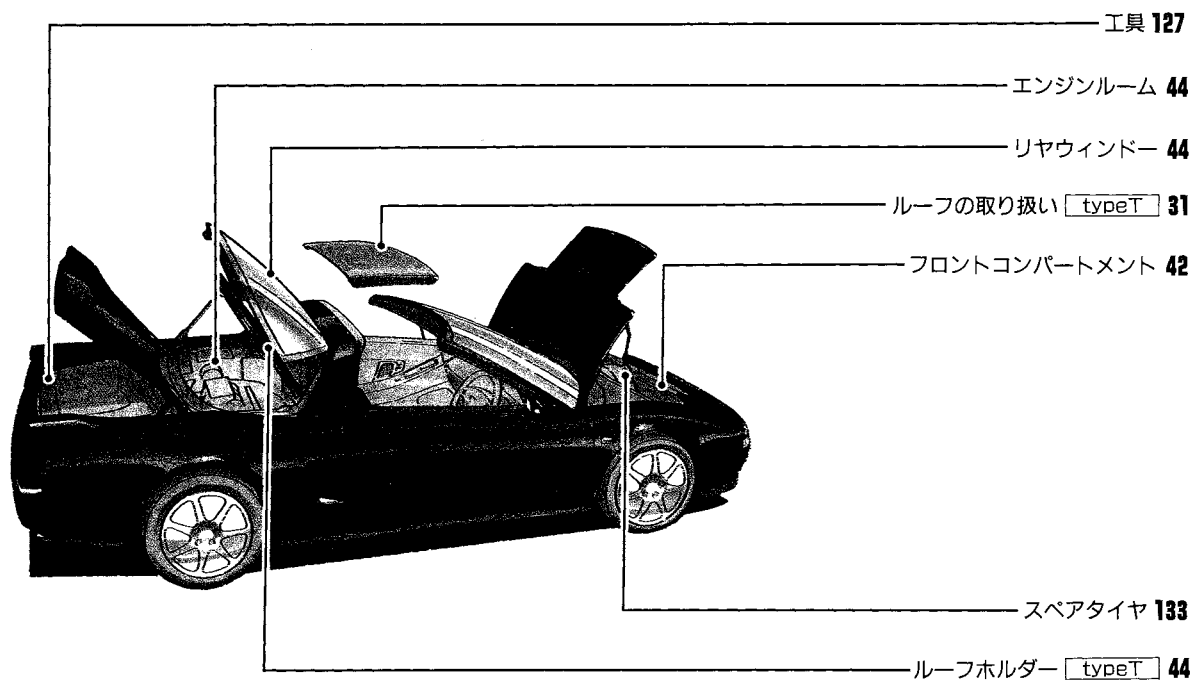
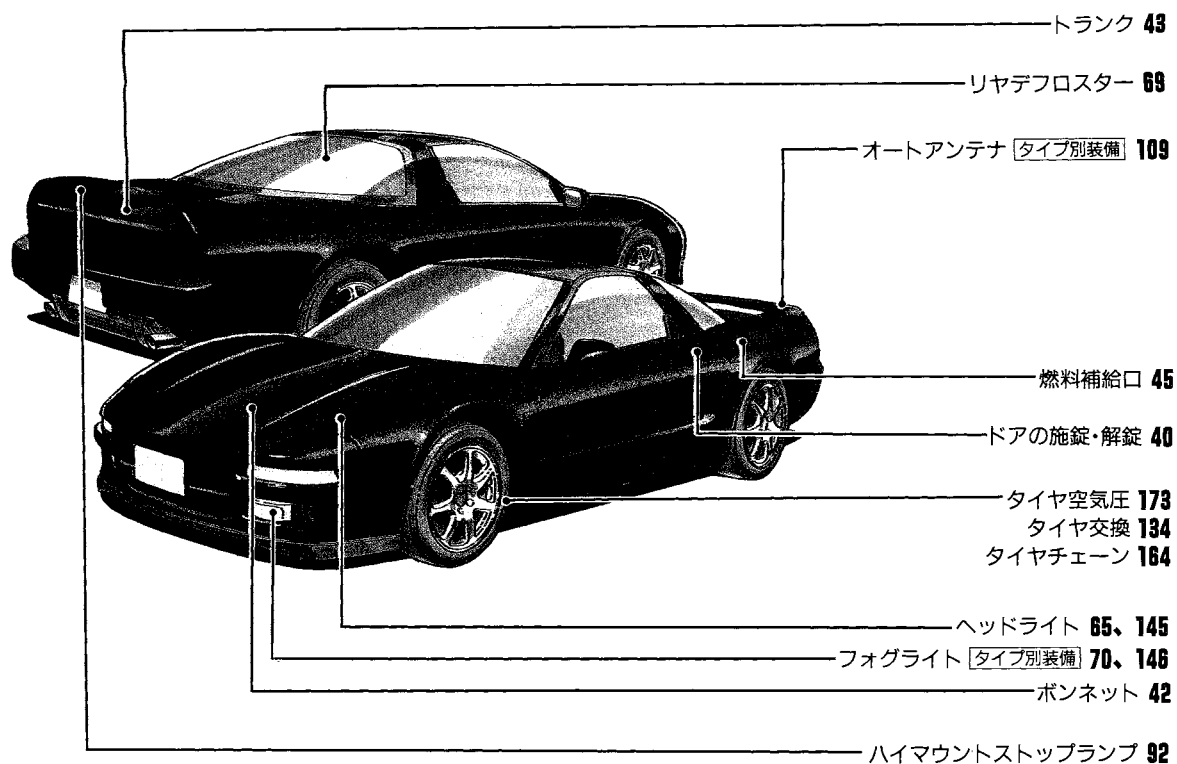
セレクトレバー オートマチック車 74

チェンジレバー マニュアル車 73

パーキングブレーキ 71

シート 48





MEMO

Handwriting practice lines consisting of multiple horizontal dashed lines for tracing and solid lines for writing.

## 安全ドライブのための必読6ポイント

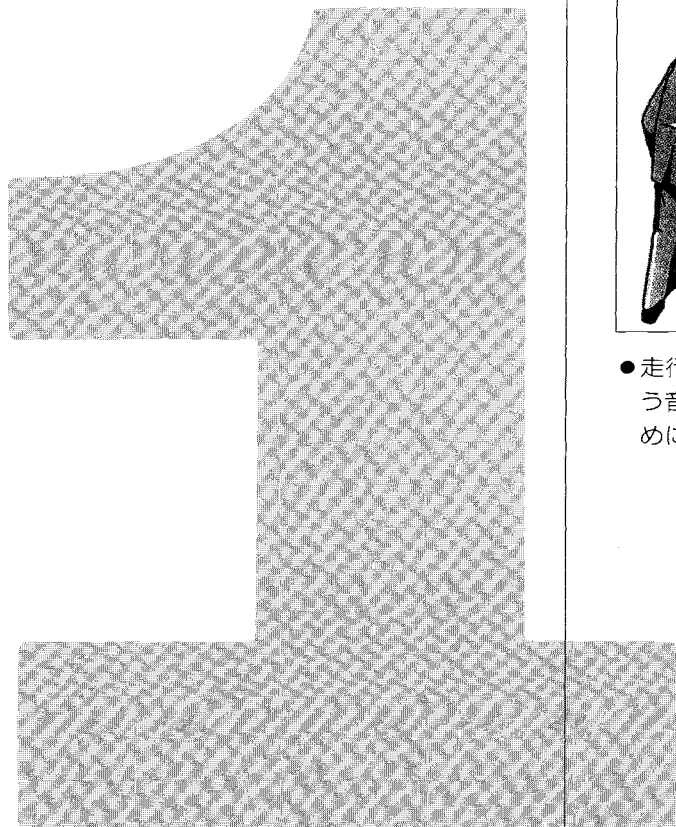
# POINTS 6

ご使用の前に特に知っておいていただきたいこと、  
守っていただきたいことをまとめてあります。

|                       |    |
|-----------------------|----|
| お出かけまえに .....         | 10 |
| お子さまに思いやりを .....      | 13 |
| 正しい知識で最適運転 .....      | 15 |
| オートマチック車の注意ポイント ..... | 19 |
| 駐車や停車はしっかりと .....     | 23 |
| こんなことにも注意をしよう .....   | 25 |

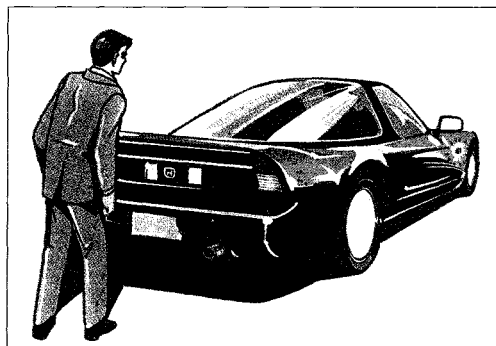


## お出かけまえに…



### 点検をわすれずに。 〈メンテナンスノート参照〉

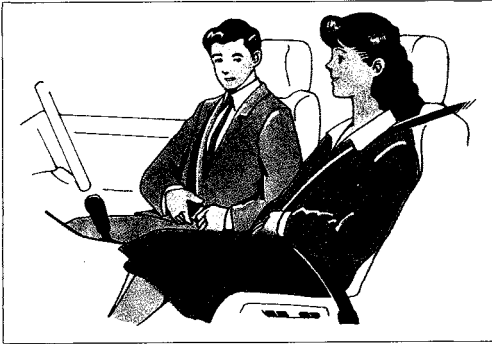
- 道路運送車両法により、法定定期点検と日常点検が義務づけられています。  
安全・快適にお使いいただくために、ホンダの点検要領に従って必ず点検してください。
- 日常点検は車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。
- 普段と違う点に気づいたら、ホンダベルノ店で、点検を受けてください。  
(音、におい、ブレーキ液の不足、地面に油のあとが残っている時…)



- 走行中も車の状態に気を配り、いつもと違う音やにおい、運転感覚などを感じたら早めに点検しましょう。

## シートベルトを正しく着用。 〈51ページ参照〉

- 運転する人はもちろん、同乗する人にも必ず着用させましょう。
- シートに深く腰かけ、背もたれは必要以上に倒さないでください。
- 腰骨のできるだけ低い位置に着用してください。



- ベルトにねじれがないか確かめてください。



- ベルトが、くび、あご、顔などに当たらないようにしてください。

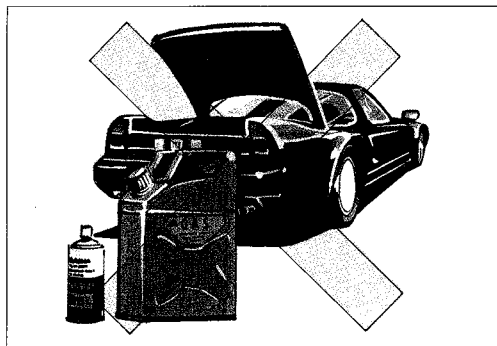


- 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。



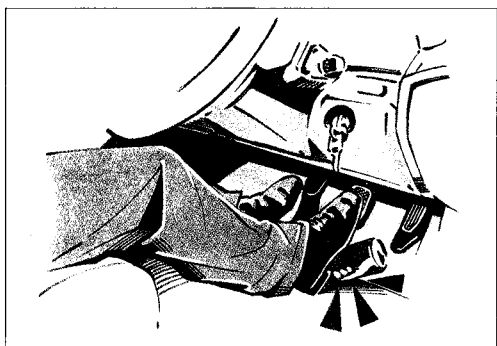
### 燃料の入った容器やスプレー缶などはのせないで。

- ・引火、爆発のおそれがあります。



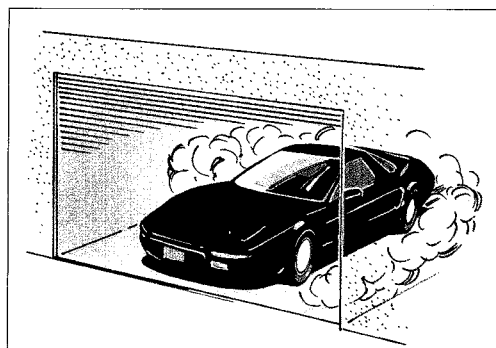
### 運転のさまたげになるものには注意を。

- 運転者の足もとに、物を置かないでください。
- フロアマットが、ペダルに引っかからないように注意してください。
- ブレーキやアクセルのペダル操作が、確実にできないおそれがあります。



### 排気ガスには十分に気をつけて。

- 排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。
- 車内や屋内などに排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒のおそれがあります。

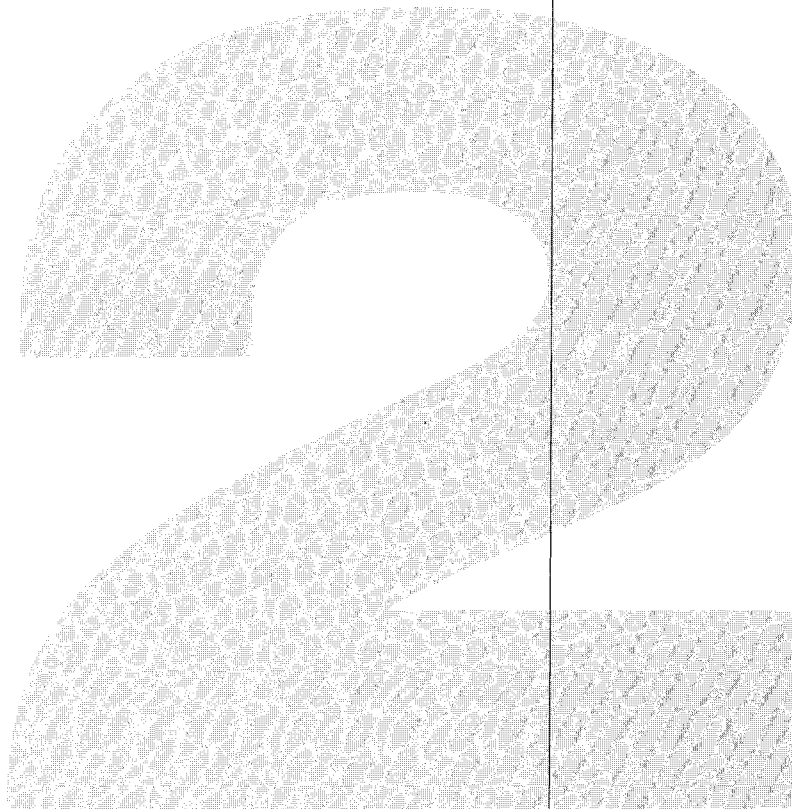


- 排気管に穴や亀裂があったり、排気音の異常に気付いたらホンダベルノ店で点検を受けてください。
- 車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

## お子さまに思いやりを

お子さまは後席のある車に。  
〈この車にお子さまを乗せることは  
おすすめしません〉

- 不意の動作が気になったり、スイッチ・レバー類のいたずらなど運転のさまたげになるおそれがあります。  
また、事故が起きた場合、後席の方が安全と言われています。
- SRSエアバッグシステム装備車は、インストルメントパネルに手をついたり、顔や胸を近づけた状態での乗車は、エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受けるおそれがあり危険です。



### やむをえずお子さまを乗せるときは。

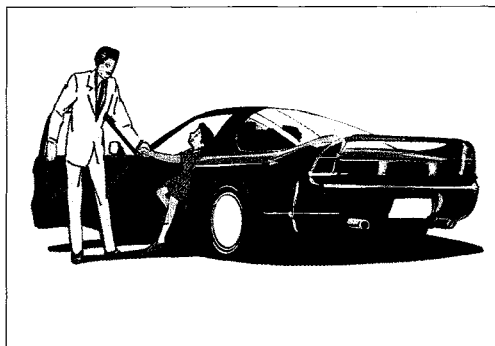
- お子さまにも必ずシートベルトを着用させるか、チャイルドシートなどをお使いください。
  - ・ お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず危険です。
- お子さまの首やあごにシートベルトが当たる場合や腰骨にかからない場合は、チャイルドシートやジュニアシートを使用してください。
  - ・ シートベルトをそのまま使うと衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。  
また、ひとりですわることのできない小さなお子さまはベビーシートを使用してください。  
チャイルドシートを取り付けるときは、チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって、正しく取り付けてください。  
NSXの場合、タイプによってベビーシートやチャイルドシートなどを取り付けられない場合がありますので、ご購入、ご使用に際してはホンダベルノ店にご相談ください。
- SRSエアバッグシステム装備車は、ベビーシートを取り付けしないでください。また、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。
  - ・ エアバッグが膨らむ際、ベビーシートやチャイルドシートの背面に強い衝撃を受け危険です。
  - ・ シートベルトが正しく着用できないようなお子さまと一緒にときは、ベビーシートやチャイルドシートなどを取り付けられる別の車をお使いください。

### ドア・ウィンドー・シートの操作は必ず大人が。

- 手、足、くびなどをはさまないように、気をつけてください。
- パワーウィンドーのメインスイッチは、“OFF”にしておきましょう。  
(46ページ参照)
- 走行中、一時停止のときなど、手や頭、物などを出さないよう、注意してください。
  - ・ 思わぬ障害物で事故のおそれがあります。

### 車から離れるときは、お子さまも一緒に連れて。

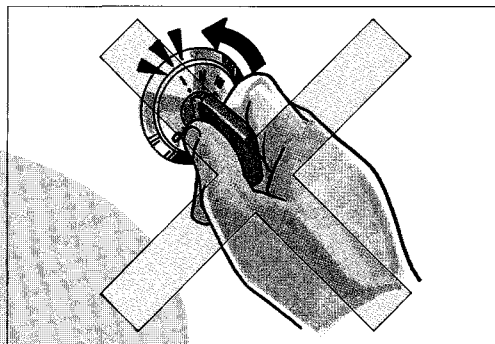
- お子さまだけを車内に残さないでください。
  - ・ 炎天下の車内は、高温になり危険です。
  - ・ お子さまのいたずらにより車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。





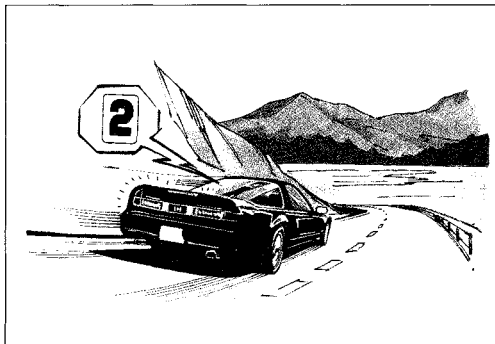
## 正しい知識で最適運転

- 走行中ハンドルの中に手を入れて、スイッチを操作しないでください。
- ハンドル操作のさまたげになり大変危険です。
- 走行中はエンジンを止めないでください。
- ブレーキ倍力装置が作用しないため、ブレーキのききが悪くなります。
- パワーステアリング装備車は、パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなり、ハンドル操作が重くなります。
- マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にすると、キーが抜けることがあり、ハンドルがロックされ危険です。



### 長い下り坂ではエンジンプレーキを。

- ブレーキペダルを踏み続けて走行するとブレーキが過熱して、ききが悪くなることがあります。
- 長い下り坂では、走行速度に合わせ、ギヤを一段ずつ落として、エンジンプレーキを併用してください。  
オートマチック車は、または $\boxed{2}$ を使ってください。  
特に強いブレーキ力が必要なときは、 $\boxed{1}$ を使ってください。



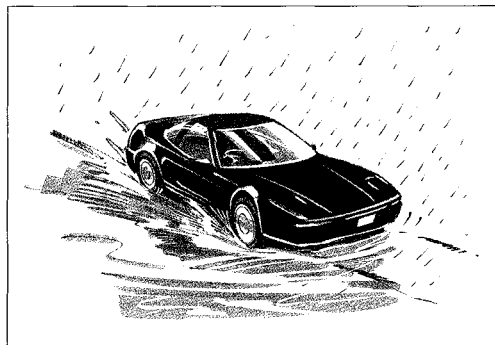
エンジンプレーキ：  
走行中アクセルペダルを戻したときにかかる  
ブレーキ力のことで、低速ギヤほどよくきき  
ます。

### 雨天時の走行には注意を。

- 雨天時やぬれた道路では、路面が滑りやすくなっておりタイヤのグリップ力が低下するため、通常より注意深い運転が必要です。
- 急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、スピードを落として安全運転に心がけてください。
- わだちなどの水のたまりやすい場所では、ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

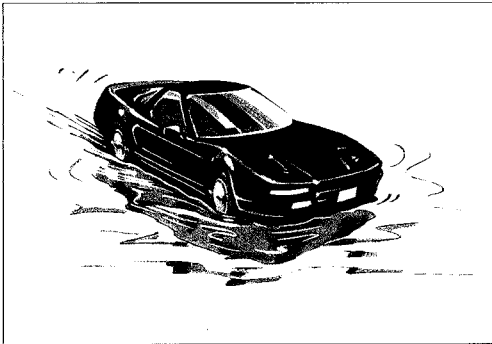
ハイドロプレーニング現象とは

→166ページ



### 水たまりに入ったあとはブレーキのきき具合を確認。

- 水たまり走行後や洗車後は、低速で走行しながらブレーキペダルを軽く踏んできき具合を確認してください。
- ・ぬれたブレーキはききが悪かったり、ぬれていない片側だけがきいてハンドルをとられることがあります。
- ブレーキのききが悪いときは、前後の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキのききが回復するまで、繰り返しブレーキペダルを踏んでください。



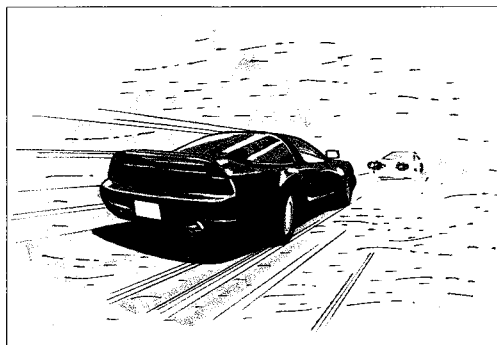
### 横風の強い日は。

- 横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に下げて進路を立て直してください。
- ・トンネルの出口、橋・土手の上、山を削った切り通し、大型トラックを追い越したり、追い越されたりするときなどには、特に横風の影響を受けやすいので十分注意してください。



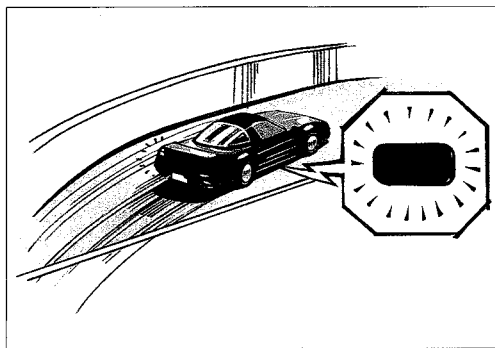
### 霧が出たときは。

- 霧が出たときは、視界が悪くなります。昼間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレールや前の車の尾灯などをめやすにして、速度を落として運転してください。

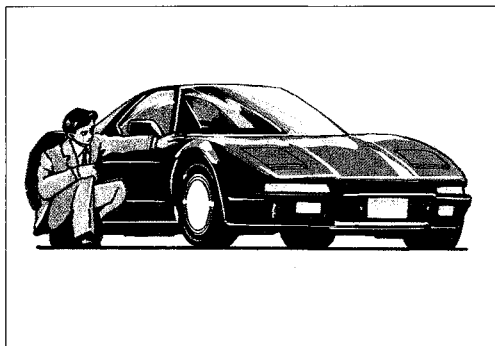


### 走行中異常があったら。

- 警告灯が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し処置をしてください。  
〈60ページ参照〉
- 点灯したまま走行を続けると、思わぬ事故のもとになったり、エンジンなどを損傷するおそれがあります。



- 走行中にタイヤがパンクやバースト（破裂）してもあわてずに、ハンドルをしっかり握り、徐々にブレーキをかけてスピードを落とし、安全な場所に停車してください。
- 急ブレーキや急ハンドルは、車のコントロールを失うことがあります危険です。
- 床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに車を止めて、ブレーキ液や燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。
- ブレーキ液や燃料の漏れ、損傷などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。



## オートマチック車の 注意ポイント

オートマチック車は、その特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。

「オートマチック車の運転のしかた」もあわせてお読みください。

〈78ページ参照〉

オートマチック車の特性を正しく理解。

### クリーブ現象とは

- エンジンがかかっているとき、セレクトレバーがP/N以外に入っていると、動力がなくなかった状態になり、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。これをクリーブ現象といいます。

### キックダウンとは

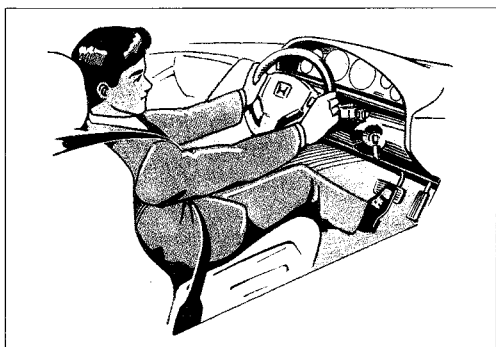
- □で走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り換わり、エンジンの回転数が上がって、力強い加速を得ることができます。これをキックダウンといいます。

### ブレーキは右足で。

- ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけましょう。
- 不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。

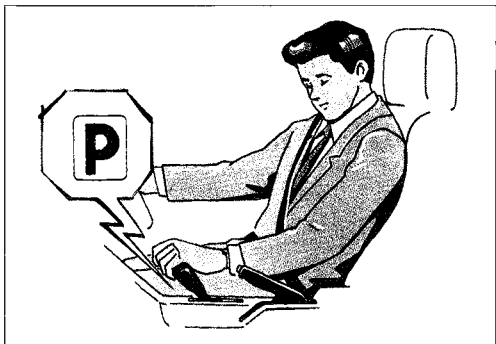
### エンジンをかけるまえに。

- ペダルの踏みまちがいのないように、右足でペダルの位置を確認しておきましょう。



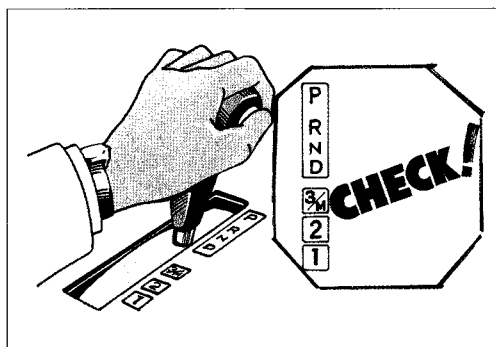
### エンジンをかけるとき。

- 安全のため、セレクトレバーは駆動輪が固定されるPでエンジンをかけましょう。



### スタートするとき。

- 思いちがいを防ぐため、セレクトレバーの位置を目で確認しましょう。
- 発進時のセレクトレバーの操作は、右足でブレーキペダルをしっかりと踏み、車が動かないようにして行いましょう。
- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。
- 急発進して思わぬ事故のもとになります。

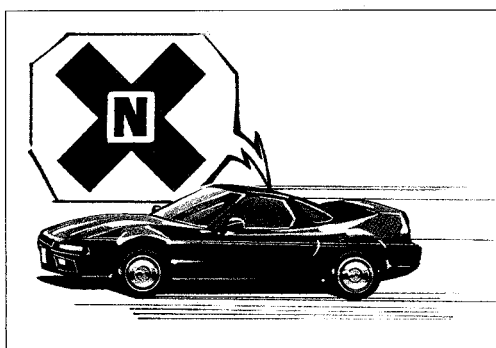


- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかりと踏んでいてください。
- エアコン作動時も同じです。
- 坂道での発進は車が後退しないように必ずパーキングブレーキを併用し、先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、パーキングブレーキをもどしてください。



### 走行しているとき。

- 走行中は、セレクトレバーをNにしないでください。
- エンジンブレーキが全くきかず、思わぬ事故のもとになります。



- 上り坂で、速度を保とうとしてアクセルペダルを踏み込んだとき、キックダウンにより、急にエンジン回転が上がり、思ったより速度が出てしまうことがあります。アクセルペダルは、慎重に操作してください。
- 下り坂では、エンジンブレーキも使いましょう。
- フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱して、ブレーキのききが悪くなるおそれがあります。

エンジンブレーキ

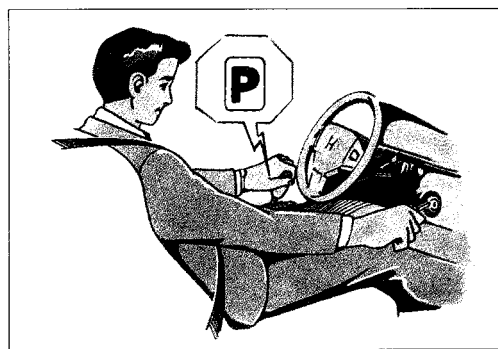
→16ページ

### 停車しているとき。

- 車が動かないようにブレーキペダルをしっかり踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけましょう。
- 停車中の空ぶかしは、やめましょう。
- 万一、セレクトレバーがP/N以外するとき、思わぬ急発進のもとになります。

### 駐車するとき。

- 駐車するときは、パーキングブレーキをかけてセレクトレバーをPに入れ、エンジンを止めましょう。
- 万一、セレクトレバーがP/N以外に入っていると、クリーブ現象で車が動き出したり、乗り込むときに、誤ってアクセルペダルを踏み込んで急発進したりするおそれがあります。

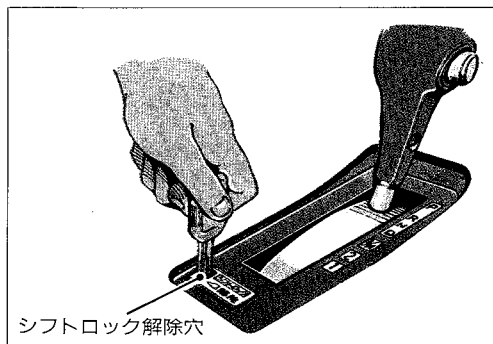


### ほかに気をつけたいこと。

- 後退したあとは、すぐRからNにもどす習慣をつけましょう。
  - ・ちょっと後退したときなど、Rに入れたことを忘れてしまうことがあります。
- 前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。
  - ・車が完全に止まらないうちにレバーを操作すると、トランスミッション破損のおそれがあります。
- 車が完全に止まらないうちに、Pに入れないうちにしてください。
  - ・急停止して危険であるばかりでなく、トランスミッション破損のもとになります。

### シフトロック装置の正しい理解を。

- ブレーキペダルを踏んでいないと、Rからのセレクトレバー操作はできません。
  - ・エンジンスイッチが、"I"または"0"のときには、ブレーキペダルを踏んでも、レバーは操作できません。
  - ・セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- P以外では、エンジンスイッチからキーは抜けません。
  - ・P以外では、キーが"I"から"0"に回りません。
- Rに入れるとブザーが鳴ります。
  - ・セレクトレバーがRのときにブザーが鳴り、Rに入っていることを運転者に知らせます。
  - ・車外の人には音が聞こえないので、ご注意ください。
- 万一、Pからセレクトレバーが操作できないときは：
  - ・エンジンスイッチからキーを抜き、
  - ・キーをシフトロック解除穴に差し込み、
  - ・キーを押しながら、セレクトレバーを操作します。



## 駐車や停車はしっかりと

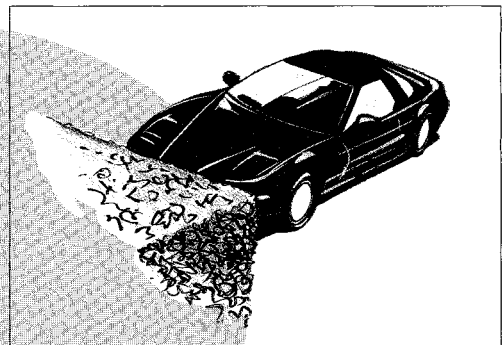
### 可燃物には注意を。

- 枯草や紙、油、木材など燃えやすいものがあるところには、駐停車しないでください。
- 排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。



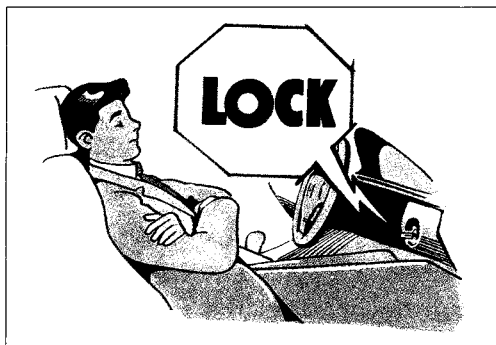
### 植込みなどにも注意して。

- 植込みなどの近くに駐停車するときには、排気ガスが当たらないように、車の向きを決めましょう。



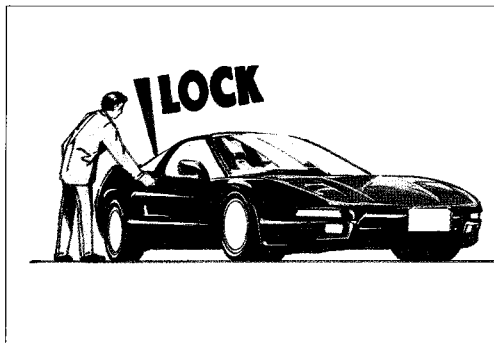
## 仮眠するときはエンジンを止める。

- エンジンを必ず止めてください。
  - 無意識にチェンジレバーやセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- また、無意識にアクセルペダルを踏み続けた場合、オーバーヒートなどを起こしたり、エンジンや排気管などの異常過熱による火災事故が発生するおそれがあります。さらに風向や周囲の状況等によっては、車内に排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒のおそれもあります。



## 車から離れるときには施錠を。

- 必ずパーキングブレーキをかけ、エンジンを止め、ドアを施錠してください。
- 車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- お子さまも連れていきましょう。



## 車の移動はエンジンをかけて。

- 車を移動するときは、必ずエンジンをかけてください。
- 下り坂を利用した移動などは、思わぬ事故を招くことがあります。

## 坂道での駐車は。

- パーキングブレーキをかけ、チェンジレバーまたはセレクトレバーを下表の位置に入れてください。

|     | マニュアル車 | オートマチック車 |
|-----|--------|----------|
| 上り坂 | 1      | P        |
| 下り坂 | R      |          |
| 平地  |        |          |

さらに、タイヤに輪止めをすると効果があります。

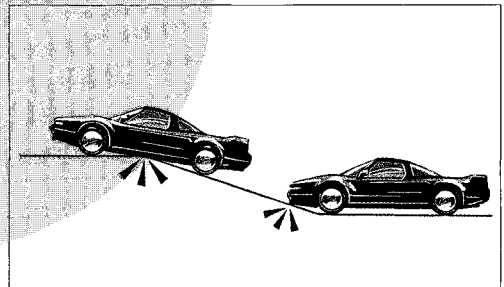
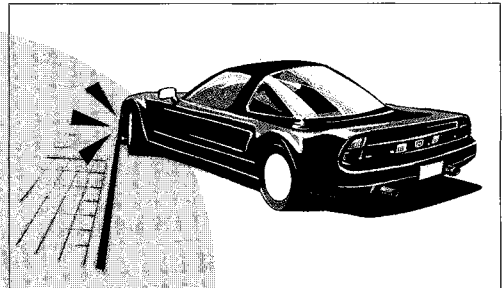
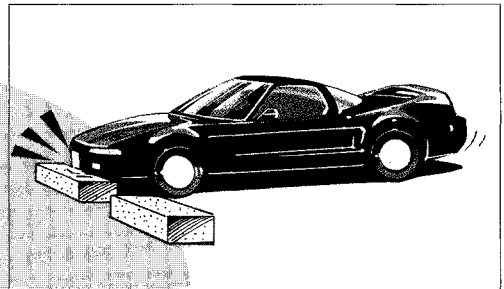
## こんなことにも 注意をしよう

### 車止めなどに注意して。

- この車の特徴として、最低地上高が一般の車より低く設計され、タイヤも超偏平タイヤを装着しています。

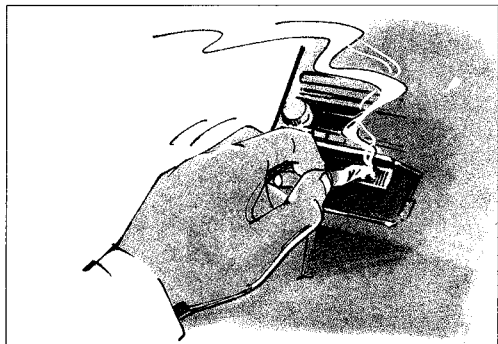
次のような場合には、フロントバンパー・マフラー・床下やアルミホイールを損傷するおそれがありますので、十分に注意してお使いください。

- ・車止めのある場所への駐車
- ・路肩に沿っての駐車
- ・平坦路から上り坂・下り坂および上り坂・下り坂から平坦路への乗り入れ
- ・路肩等段差のある場所への乗り降り
- ・凹凸やわだちのある道路の走行
- ・くぼみ(穴)のある個所の通過



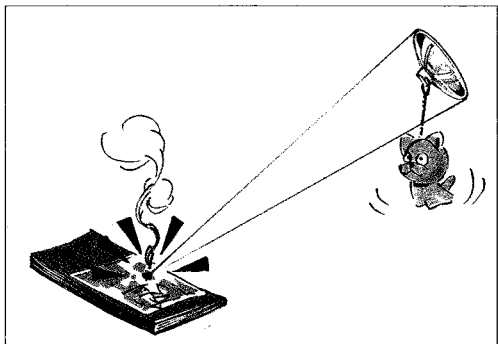
### タバコの吸がらは火を消して。

- タバコ、マッチなどは、確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
- 灰皿の中に吸いがらをため過ぎたり、燃えやすいものを入れたりしないでください。



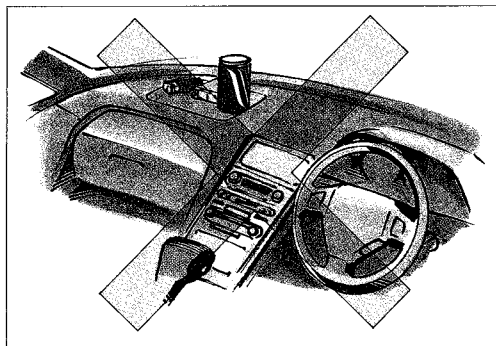
### アクセサリーの取り付けには注意を。

- ガラス面にアクセサリーなどを取り付けないでください。
- 視界をさまたげたり、吸盤がレンズのはたらきをして火災を起こしたり、思わぬ事故のもとになります。



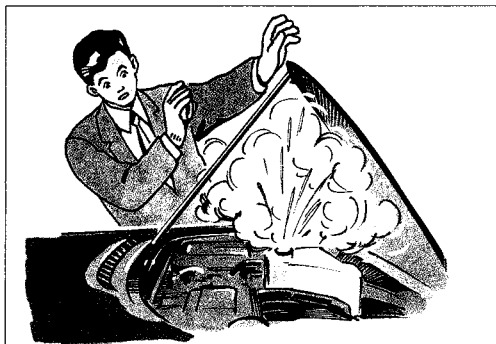
### 車内にライターや炭酸飲料缶などを放置しないで。

- 炎天下での駐車などで車内温度が上昇すると、ライターなどの可燃物は自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。



### エキスパンションタンクキャップ (冷却水用) に気をつけて。

- エキスパンションタンクキャップが熱いときは、外さないでください。
- 蒸気や熱湯が吹き出し危険です。



### 動物を乗せるときは、動きまわらないように注意して。

- 運転のさまたげになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 携帯電話の使用は停車中に。

- 運転者は、携帯電話を走行中に使用しないでください。
- 運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 改造はしない。

- ホンダ純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を、使用しないでください。
- 適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
- ホンダが運輸省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違反になることがあります。
- タイヤ、ホイールとも、NSX専用品をご使用ください。
- 専用品以外の部品を使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすことがあります。ホンダベルノ店にご相談ください。
- 無線装置や自動車電話などの取り付けの際には、必ずホンダベルノ店にご相談ください。
- 装置や取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼすことがあります。





●SRSエアバッグシステム装備車は、ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりしないでください。  
インストルメントパネル上面には、ステッカー類を貼ったり、アクセサリーや芳香剤など物を置かないでください。

また、フロントガラスにアクセサリーなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。

・SRSエアバッグが正常に機能しなくなります。

・作動時にこれらの物がとぶことがあります危険です。

・次の場合は、必ず、ホンダベルノ店にご相談ください。

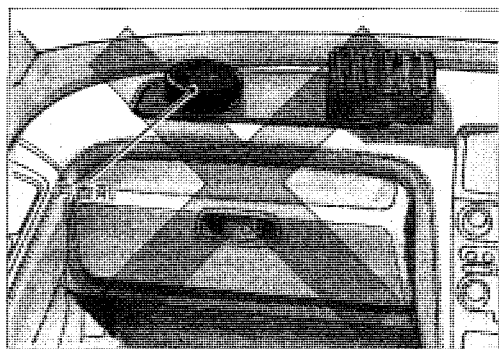
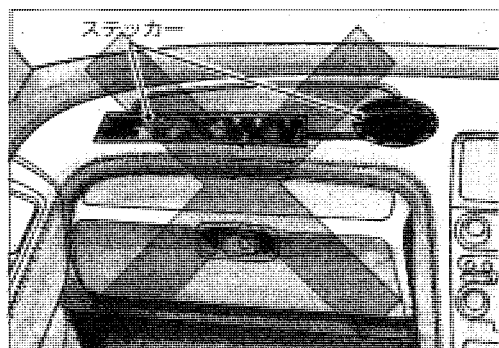
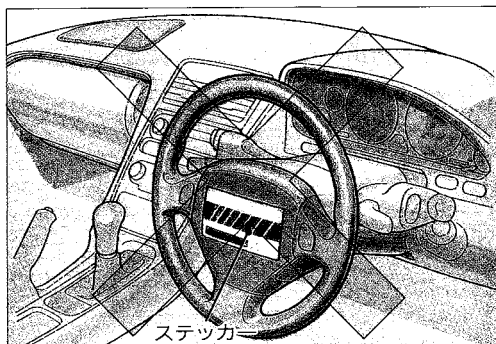
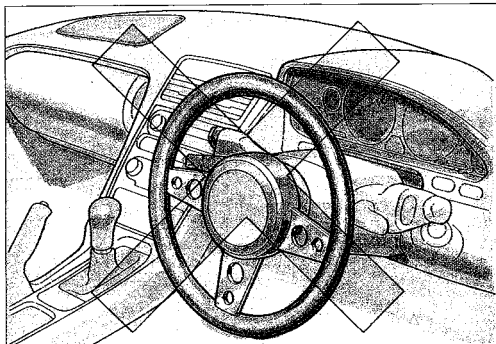
①ハンドルまわりの修理

②センターコンソール付近の修理

③カーステレオ等用品の取り付け

④ダッシュボード周辺の板金塗装および修理

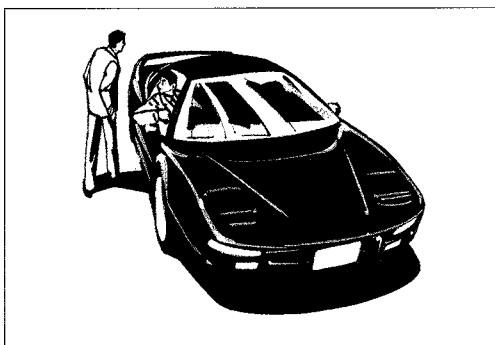
⑤インストルメントパネルまわりの修理



## 発進するときは、まわりの状況に十分注意して。

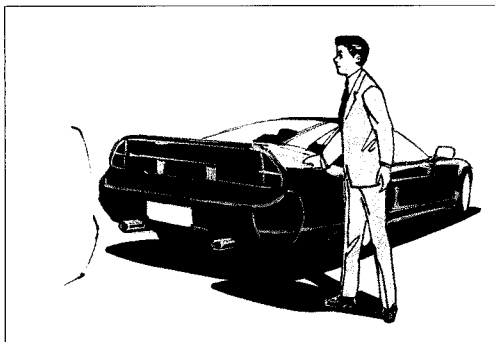
車のまわりには運転席から見えないところ(死角)があります。発進するときは子供や障害物など車のまわりの状況に十分注意してください。

- 駐車後に発進するときは、車のまわりの安全確認を十分に行ってください。

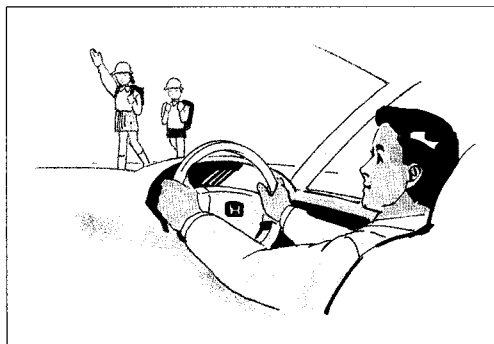


- 後退するときに十分な視界が得られない場合は、車から降りて後方を確認してください。

・バックミラーでは確認しきれない死角(車の直後など)があります。



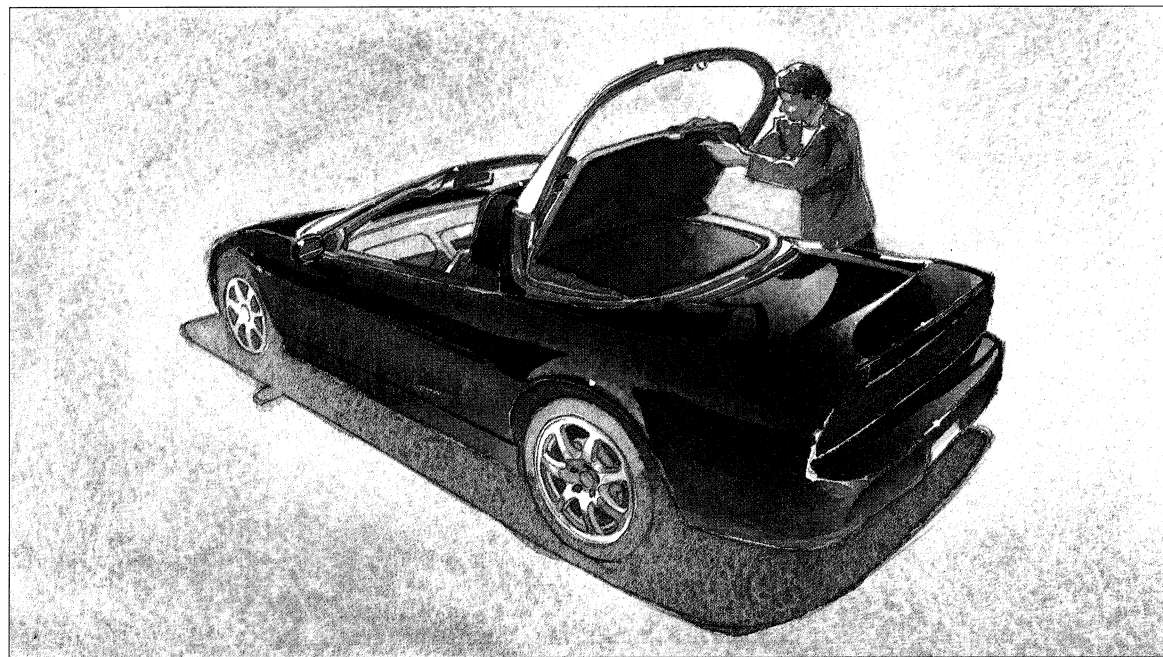
- 信号待ちなどの停車後に発進するときは、つねにまわりの状況に目を配り、安全確認を十分に行ってください。



MEMO

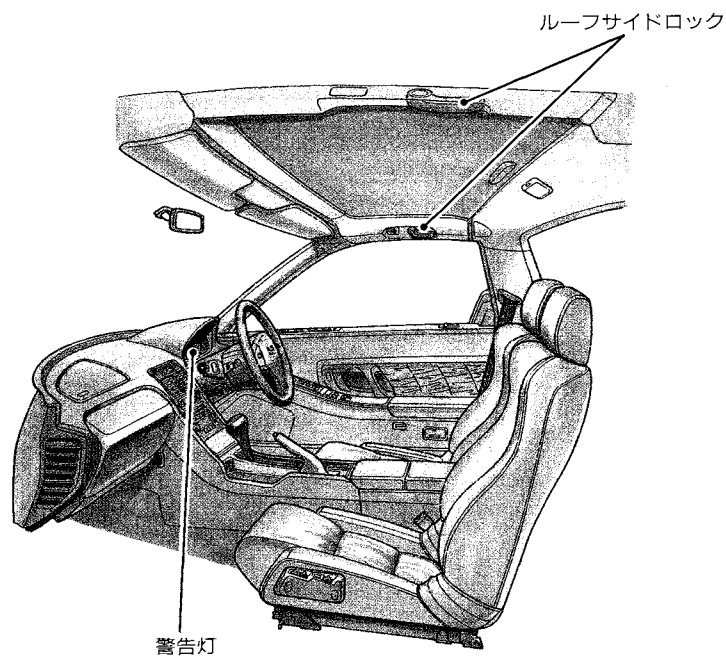
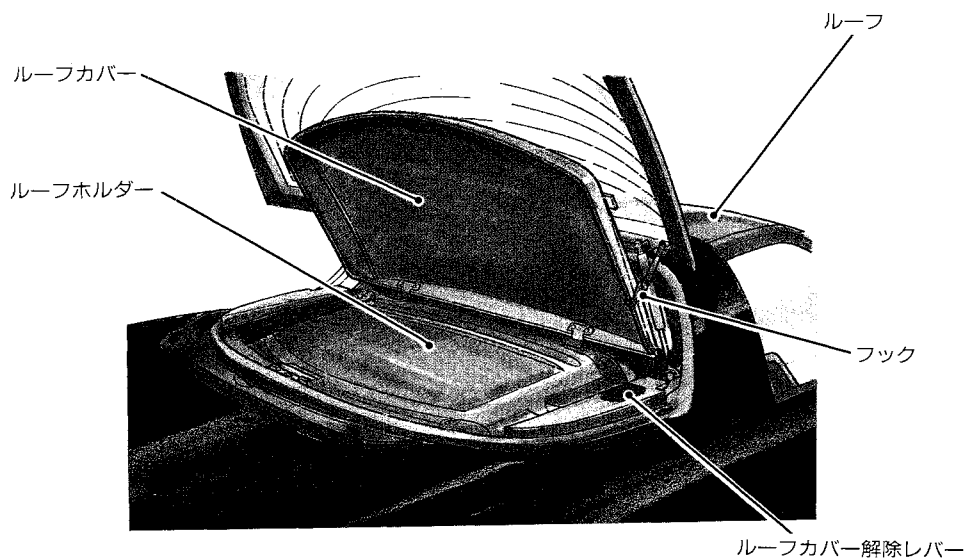
Lined area for writing the memo.

## ルーフの取り扱い type T



|                |    |
|----------------|----|
| 各部の名称 .....    | 32 |
| 脱着のしかた .....   | 33 |
| 取り外しかた .....   | 34 |
| 取り付けかた .....   | 36 |
| ルーフ開閉警告灯 ..... | 38 |

## 各部の名称



## 脱着のしかた

ルーフ両端にあるルーフサイドロックの操作により、ルーフの脱着ができます。取り外したルーフは、ルーフホルダーへ収納できます。

ルーフの脱着は、必ずエンジンを停止し、パーキングブレーキを確実にかけてから行ってください。

取り外しかた .....34ページ

取り付けかた .....36ページ

ルーフ開閉警告灯 .....38ページ

### ▲ 注 意

- 走行中または一時停止時にルーフ開口部から頭や手、物などを出さないでください。  
思わぬ障害物や急ブレーキをかけたときなどに事故につながるおそれがあります。
- ルーフを脱着、収納するときやリヤウィンドーを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。

### 🚗 アドバイス

- ルーフ上に腰かけたり荷物を乗せるなど大きな力を加えないでください。また、ルーフを外したときにフロントビラーに大きな力を加えないでください。破損や変形の原因となります。
- 風の強いときにルーフを脱着する場合は、十分注意してください。風にあおられることがあります。
- ルーフパネルには、スキーキャリアなどをつけないでください。ルーフが変形したり、ルーフサイドロックが破損するおそれがあります。

### 🎓 知 識

- 車は、駐停車禁止区域外の平坦で安全なところに停車し、操作を行う前に必ず周囲の安全を確認してください。
- 炎天下に駐車した場合などは、収納しているルーフが熱くなっていることがありますので、取扱いには気をつけてください。
- 風の強いときにルーフを脱着する場合は、十分注意してください。風にあおられることがあります。
- ルーフを脱着、収納するときは、車体に傷をつけないようにしてください。
- 走行を開始するときは、ルーフサイドロックが確実にロックされていることを確認してください。また、走行中は、ロックを解除しないでください。  
ロックされていないと、ルーフがはずれるおそれがあります。
- ルーフは確実に収納してください。ルーフに傷をつけるおそれがあります。
- 車から離れるときや洗車のときは、ルーフやリヤウィンドーが完全に閉まっていることを確かめてください。
- 降雨後や洗車後は、ルーフ上の水を除去してから操作を行ってください。また、積雪時には、ルーフ上の雪を除去してください。  
室内に水や雪が入るおそれがあります。

## 取り外しかた

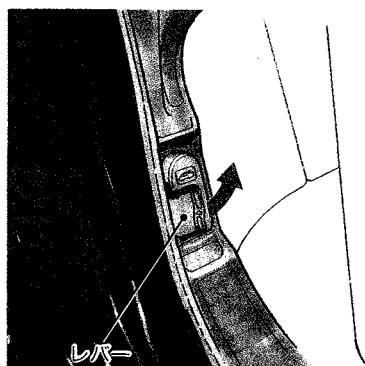
1

運転席および助手席のウィンドーをいっばいに下げます。

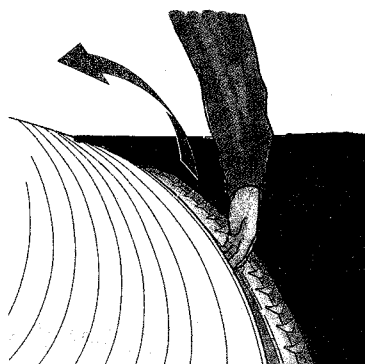
2

リヤウィンドーを開けます。

- ・運転席右後方のレバーを引きます。



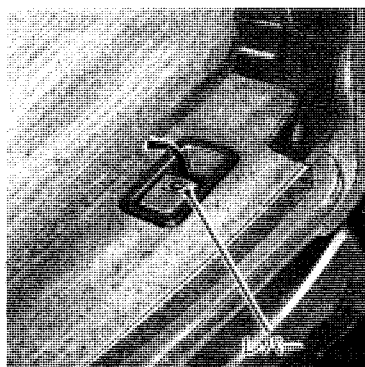
- ・リヤウィンドー後部が少し浮き上がるので、そのまま持ち上げます。



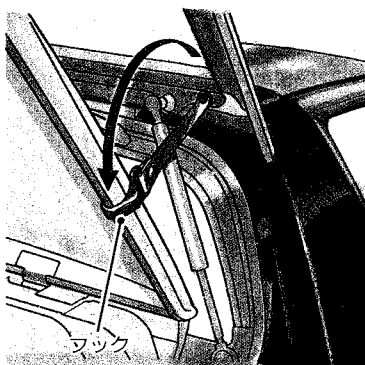
3

ルーフカバーを開けます。

- ・ルーフホルダー右側のレバーを引きます。



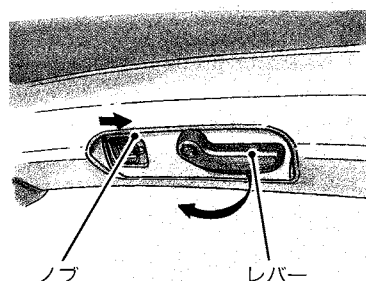
- ・ルーフカバーを開けて、リヤウィンドーにあるフックを外し、ルーフカバーに引っ掛け固定します。



4

ルーフを取り外します。

- ・ルーフサイドロックを左右共解除します。ノブを矢印のほうへ押しながら、レバーを下げます。

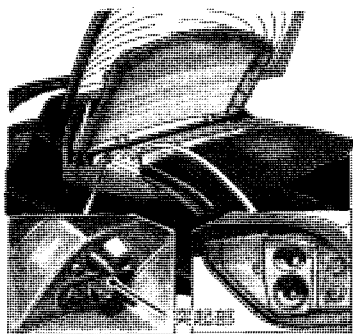


- ・ルーフを持ち上げ取り外します。

# 5

ルーフをルーフホルダーに収納します。

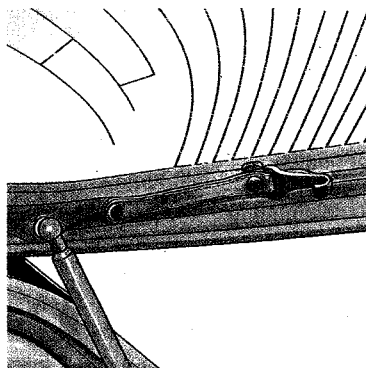
- ・ルーフの後側を前向きにしてセットし、ルーフホルダーの突起部がルーフの穴に入るようにします。



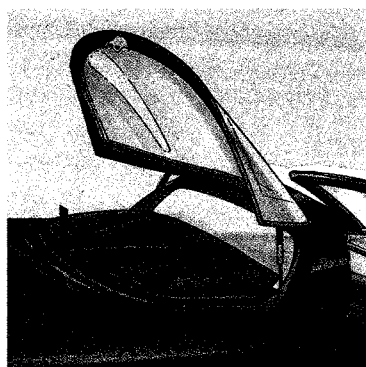
# 6

ルーフカバーを閉めルーフを確実に固定します。

- ・ルーフカバーからフックを外し元の位置に固定します。



- ・ルーフカバーを閉めルーフを確実に固定します。



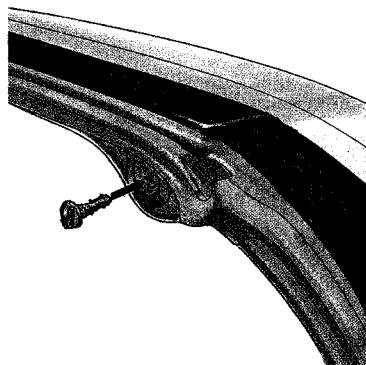
# 7

リヤウィンドーを閉めます。

# 8

リヤピラーの左右のルーフキャッチャーにカバーをします。

- ・グローブボックスにあるカバーを取り付けます。  
風切音の低減に効果があります。



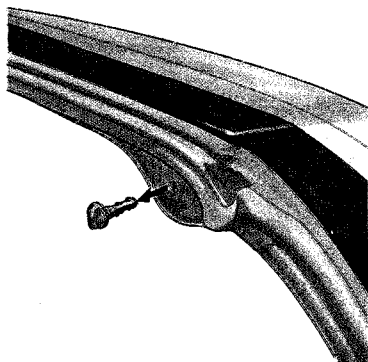


## 取り付けかた

1

リヤピラーの左右のルーフキャッチャーからカバーを外します。

- ・カバーを外してグローブボックスに収納します。



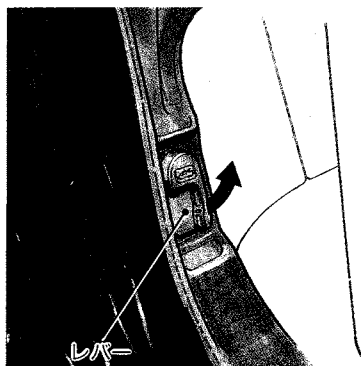
2

運転席および助手席のウィンドーをいっぱいに下げます。

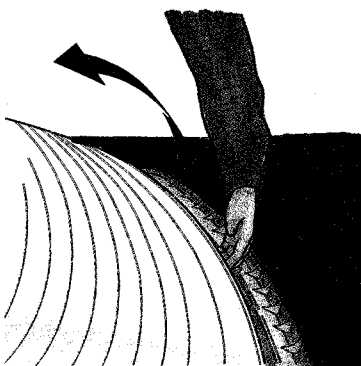
3

リヤウィンドーを開けます。

- ・運転席右後方のレバーを引きます。



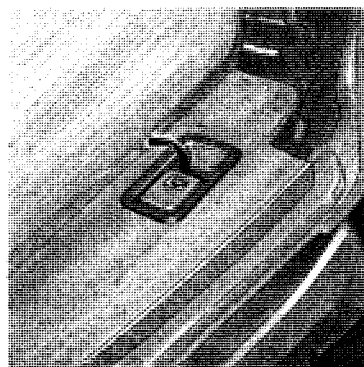
- ・リヤウィンドー後部が少し浮き上がるので、そのまま持ち上げます。



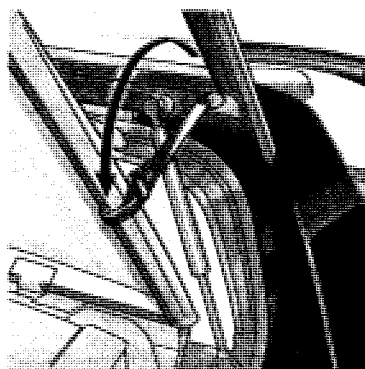
4

ルーフカバーを開けます。

- ・ルーフホルダー右側のレバーを引きます。



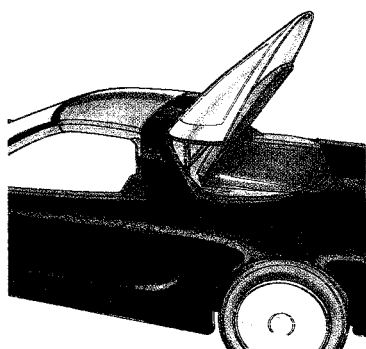
- ・ルーフカバーを開けて、リヤウィンドーにあるフックを外し、ルーフカバーに引っ掛け固定します。



# 5

ルーフを車体に取り付けます。

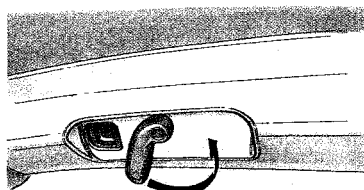
- ・ルーフをルーフホルダーから取り出し、ルーフサイドロックが解除されていることを確認して車体へ確実にセットします。



# 6

ルーフサイドロックを左右共ロックします。

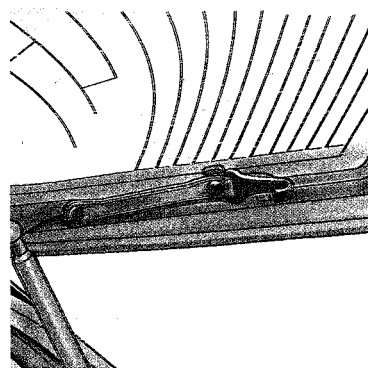
- ・ノブの赤色のマークが消えるまでレバーを確実に押し上げます。



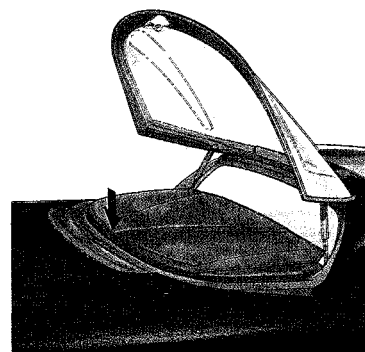
# 7

ルーフカバーを閉めます。

- ・ルーフカバーからフックを外し元の位置に固定します。



- ・ルーフカバーを閉めます。



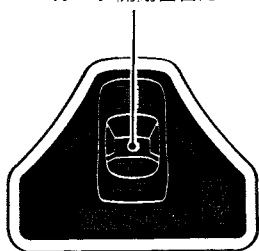
# 8

リヤウィンドーを閉めます。

### ルーフ開閉警告灯

ルーフを取り付けたときにルーフサイドロックが完全にロックされていないとセーフティインジケーター内の警告灯が点灯します。

ルーフ開閉警告灯



警告灯が点灯しているときは、必ず最後まで確実にロックしてください。

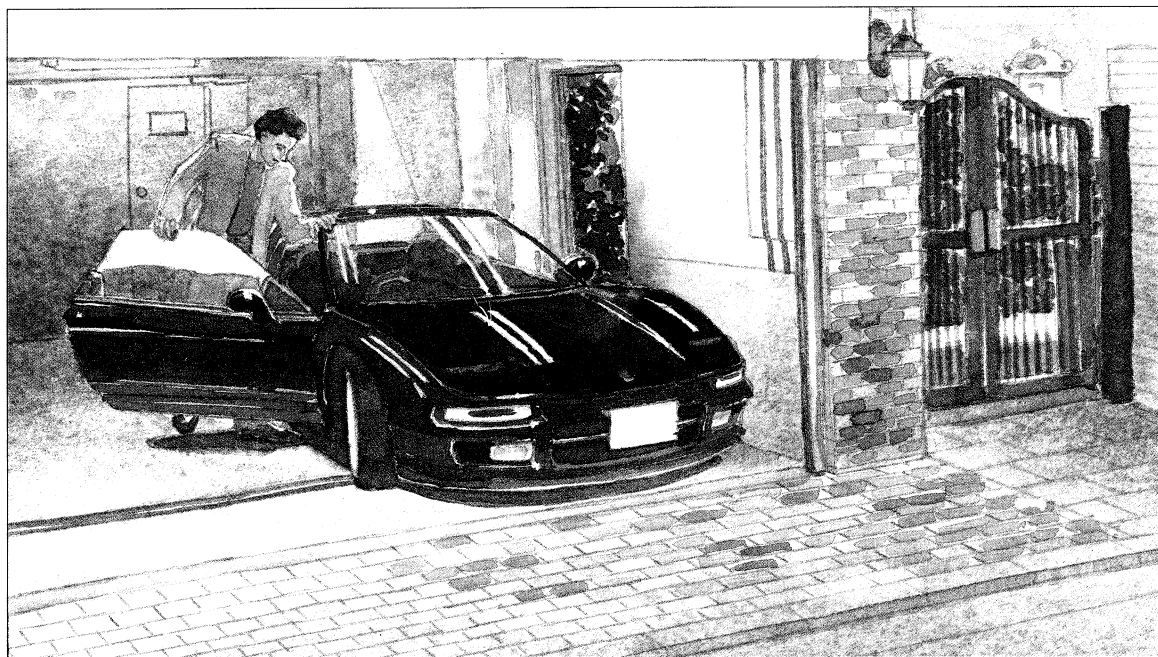
### 知 識

- ルーフを取り外したときは、ルーフをルーフホルダーに収納していないと警告灯が点灯します。

# NSX

# 1

## 車を運転する前に



### 各部の開閉

|          |    |
|----------|----|
| キー       | 40 |
| ドアの施錠・解錠 | 40 |
| ボンネット    | 42 |
| トランク     | 43 |
| エンジンルーム  | 44 |
| 燃料補給口    | 45 |
| パワーウィンドー | 46 |

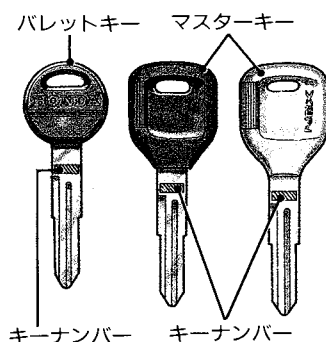
### 各部の調節

|                   |    |
|-------------------|----|
| 正しい運転姿勢           | 47 |
| シート               | 48 |
| チルト/テレスコピックステアリング | 49 |
| バックミラー(後写鏡)       | 50 |
| シートベルト            | 51 |

## 各部の開閉

### キー

キーは、エンジンの始動、停止のほかにドアやグローブボックスの施錠・解錠、トランクの解錠に使えます。



バレットキーではグローブボックスの施錠・解錠、トランクの解錠はできません。

バレットキーは、駐車場などで車を預けるときにお使いください。

### 知 識

- キーナンバーを控えておいてください。キーを紛失したときは、キーナンバーをホンダベルノ店へご連絡いただければ、購入することができます。

### ドアの施錠・解錠

#### ⚠ 注 意

- ドアは確実に閉めてください。半ドアでは、走行中にドアが開き、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

#### 知 識

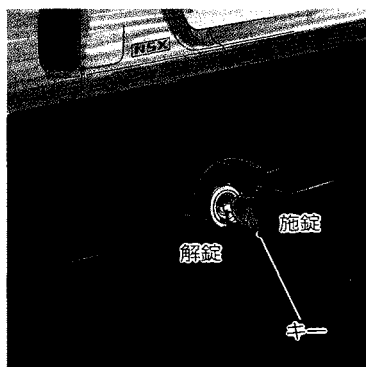
- 車外からドアを開めるときは、ドアハンドルを押して閉めます。ドアパネルやガラスを押さないでください。
- 強風時にドアを開閉するときは、風にあおられないよう注意してください。
- ドアは不用意に開けると後続車などがぶつかることがあるので周囲の安全を確かめてから開けてください。
- 車から離れるときは、エンジンを止めドアを必ず施錠してください。  
また、車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- ドア、トランク、ボンネット、リヤウィンドー、ルーフ(またはルーフを取り外した状態)が閉まった状態で運転席ドアをキーで施錠すると、約15秒後にセキュリティシステムが自動的に作動します。

セキュリティシステム

→118ページ

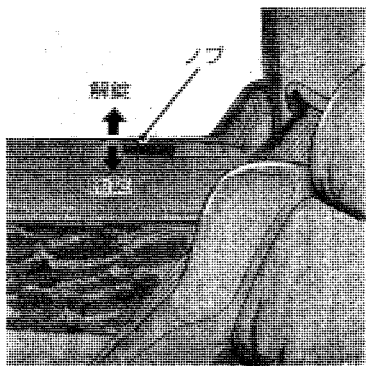
### ●車外から行う場合

キーを確実に差し込んで回します。  
運転席ドアを施錠(解錠)すると、助手席ドアも同時に施錠(解錠)します。

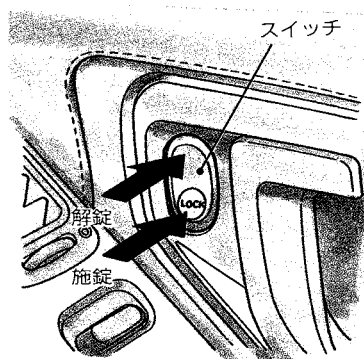


### ●車内から行う場合

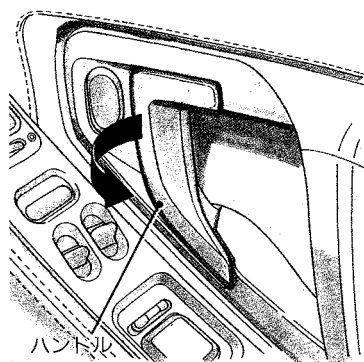
ノブを矢印の方向に動かすことにより、施錠(解錠)できます。



運転席ドア部のスイッチを操作すれば両方のドアの施錠(解錠)ができ、ノブの操作では施錠のみ連動します。助手席ドア部のノブまたはスイッチを操作した場合は、助手席ドアのみの施錠(解錠)ができます。



運転席ドアは内側のハンドルを引くと解錠されます。



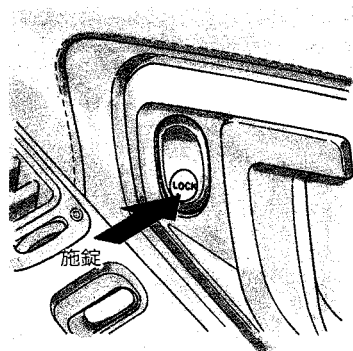
### ●キーを使わないで施錠する場合

#### 知 識

- キー閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

#### 運転席ドア

- ①ノブまたはスイッチを施錠の方向に動かします。



- ②ドアを閉めます。

運転席ドアを施錠すると、助手席ドアも同時に施錠されます。

#### ●キー閉じ込み防止装置

キーがエンジンスイッチに差し込まれたままだと、施錠できません。

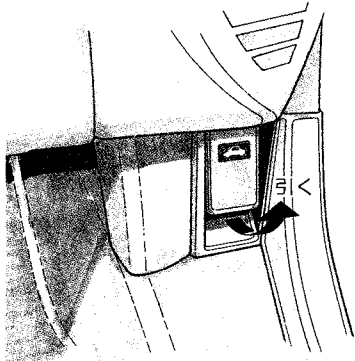
#### 助手席ドア

ノブまたはスイッチを施錠の方向に動かしてドアを閉めると施錠できます。

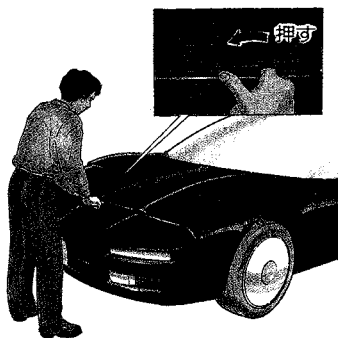
### ボンネット

#### ●開けかた

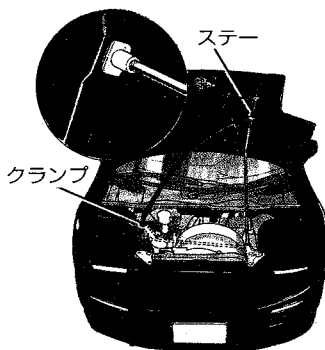
運転席足元のノブを引きます。



ボンネット前部が少し浮き上がるので、レバーを左へ押しながら開けます。



必ずステーを確実にかけ、固定します。



#### ●閉めかた

ステーを外し、クランプに納めます。ボンネットを静かに下げ、半開の位置から手を離します。ボンネットが完全に閉まっていることを確認します。

### ⚠ 注意

- ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。

### 📖 知識

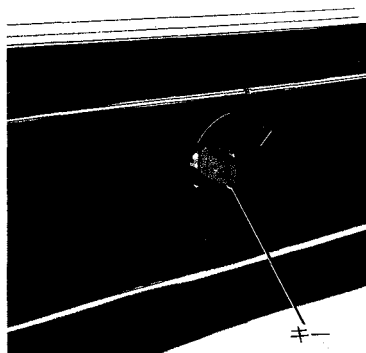
- ボンネットを開けているとき、風にあおられてステーが外れることがあります。特に風の強いときは、ご注意ください。
- ボンネットが完全に閉まっていないまま走行すると開くことがあります。走行前に必ず確認してください。

## トランク

### ●解錠

#### 車外から行う場合

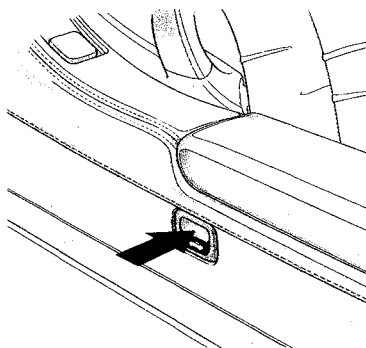
マスターキーを確実に差し込んで矢印の方向に回します。バレットキーでは解錠できません。



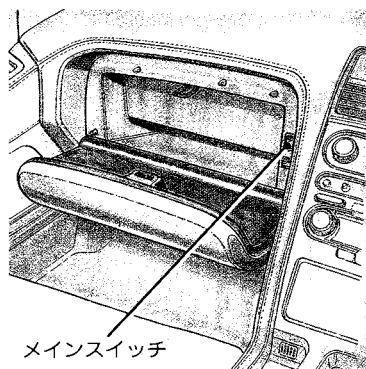
#### 車内から行う場合

#### (電動トランクオープナー)

運転席ドアにある解錠ボタン(電動トランクオープナー)を押します。

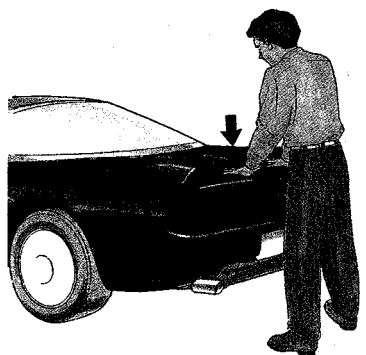


電動トランクオープナーは、グローブボックス内のメインスイッチを“OFF”にすると、作動しません。バレットキーを預けるときなどに、お使いください。



### ●施錠

スポイラーを持たずに静かに下げ、上から手で押さえつければ施錠できます。



## ▲注 意

- トランクを開めるときは、手などをはさまないように注意してください。
- エンジンかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないでください。  
やけどなど思わぬけがをすることがあります。
- トランクルーム内には人を乗せないでください。  
ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
- トランクは中から開けることはできません。  
お子さまが入らないよう注意してください。

## ◆知 識

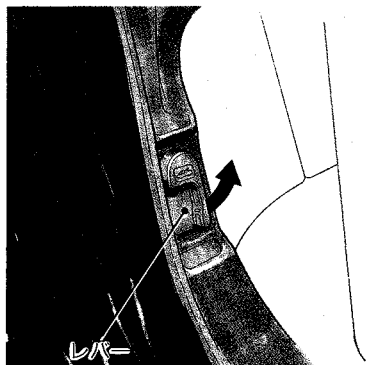
- トランク内は高温になることがあります。熱に弱いものは入れないでください。
- トランクを閉めるときは次のことに気をつけてください。
  - ・ キーをトランク内に置き忘れないようにしてください。
  - ・ トランクスポイラーやトランク上面を強く押えないでください。
- トランクを開けたまま走行しないでください。



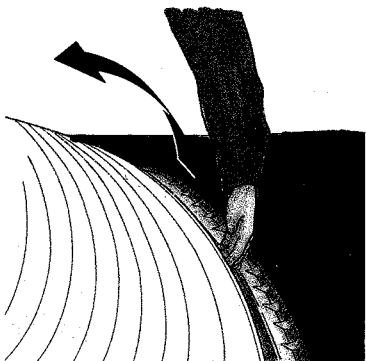
## エンジンルーム

### ●開けかた

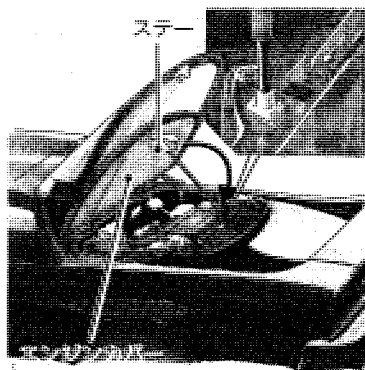
運転席右後方のレバーを引きます。



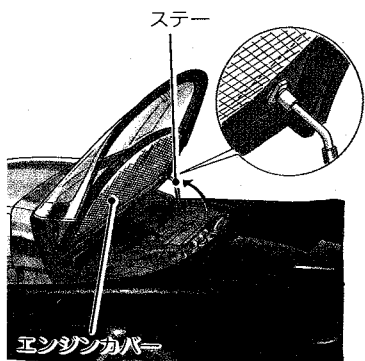
リヤウィンドー後部が少し浮き上がるので、そのまま持ち上げます。



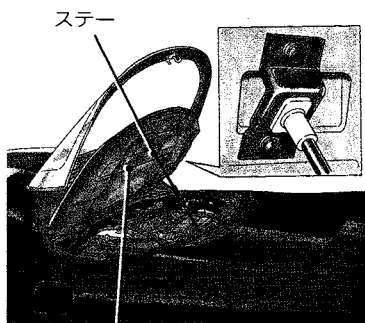
エンジンカバー(type Tはルーフホルダー)を開け、ステーを確実にかけ、固定します。



type S



type T



ルーフホルダー

### ●閉めかた

ステーを外し、クランプに納めます。

エンジンカバー(type Tはルーフホルダー)を閉めます。

リヤウィンドーを降ろし、後部を押さえつけて閉めます。

## ▲注意

- エンジンカバー、リヤウィンドーを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。

## 🚗アドバイス

- リヤウィンドーに強い衝撃を与えると、ガラスが破損するおそれがあります。

## 📖知識

- エンジンカバーを開けているとき、風にあおられてステーが外れることがあります。特に風の強いときは、ご注意ください。
- リヤウィンドーが完全に閉まっていないまま走行すると、開くことがあります。走行前に必ず確認してください。
- エンジンカバーの上に物を置かないでください。  
後方視界を妨げるばかりでなく、急ブレーキのときなど思わぬ危険物となります。
- Type T  
ルーフを収納している状態でルーフホルダー全体を持ち上げステーをかけて固定しないでください。  
ステーが外れるおそれがあります。

## 燃料補給口

燃料補給口は車の左側後方にあります。

使用燃料：無鉛プレミアムガソリン  
(無鉛ハイオク)

タンク容量：70ℓ

- 燃料補給時は火気厳禁です。  
燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
- ・エンジンは必ず止めてください。
- ・タバコなどの火気を近づけないでください。

## アドバイス

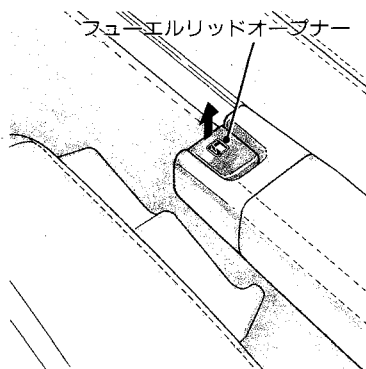
- 有鉛ガソリンを使うと、触媒装置などを損ないます。また、粗悪ガソリンや不適切な燃料添加剤を使うと、エンジンなどに悪影響を与えます。

## 知識

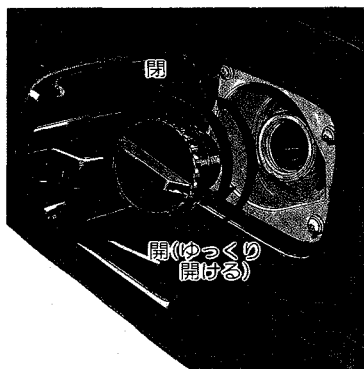
- 無鉛プレミアムガソリンが入手できない場合には、無鉛レギュラーガソリンをお使いになることもできますが、この場合エンジン性能を十分に発揮できません。

### ●開けかた

- ①運転席右下にあるフューエルリッドオープナーを引き上げてリッドを開けます。



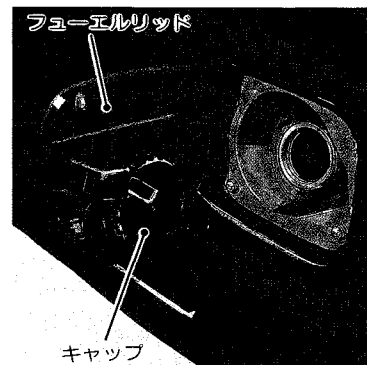
- ②キャップをゆっくり回して開けます。



## ▲注意

- キャップはゆっくり開けてください。急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

外したキャップはフューエルリッドの裏側に置けます。



### ●閉めかた

キャップを“カチッ”という音が2回以上するまで締め付けます。フューエルリッドは手で押さえつければ閉まります。

## ▲注意

- キャップが確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと走行中に燃料がもれ、火災になるおそれがあります。

### パワーウィンドー

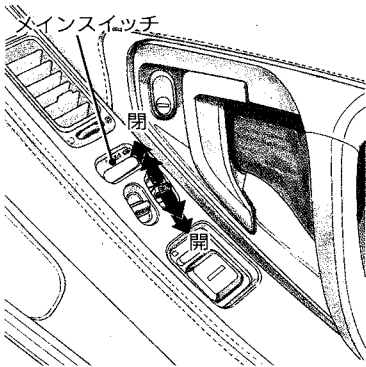
エンジンスイッチが“II”のとき、ウィンドーの開閉ができます。開閉は、それぞれのドアにあるスイッチで操作します。

- ・運転席スイッチは、助手席ウィンドーも操作できます。

#### ●運転席ウィンドーの開閉

スイッチを軽く操作している間、作動します。

強く操作すると、自動で全開(全閉)します。

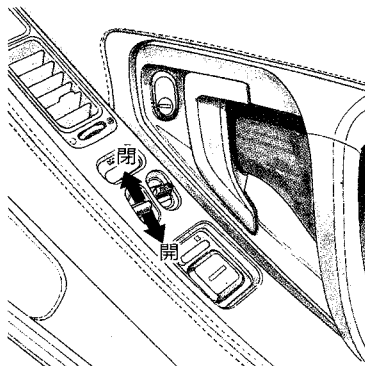


自動開閉中にウィンドーを停止させるときは、スイッチを作動方向とは逆へ軽く操作します。

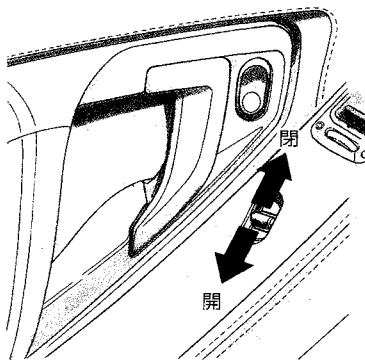
#### ●助手席のウィンドーの開閉

メインスイッチを“ON”にしてから、スイッチを操作します。スイッチを操作している間、作動します。

#### 運転席ドアスイッチ



#### 助手席ドアスイッチ



#### 助手席ウィンドーを動かなくしたいとき(メインスイッチ)

メインスイッチを“OFF”にしておけば、助手席ウィンドーは作動しません。

### 警告

- パワーウィンドーを閉めるときは、手やくびなどをはさまないようにしてください。  
ドアガラスにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。  
特にお子さまには気をつけてください。

### 注意

- 車から離れるときはキーを抜き、お子さまも一緒に連れて行ってください。  
いたずらなど誤った操作をして思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 知 識

- ウィンドーの開閉はお子さまではなく大人が操作するようにしてください。
- 小さなお子さまが同乗しているときはお子さまが誤って操作をしないよう、メインスイッチを“OFF”にしておきましょう。

## 各部の調節

### 正しい運転姿勢

運転者は正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。

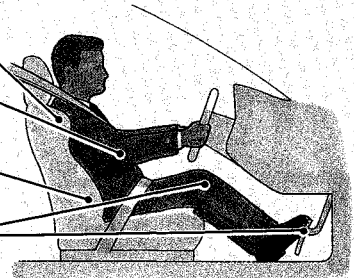
正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分踏み込め、ハンドルが楽に操作できる姿勢をいいます。

背すじをのばし背もたれにか  
かるくつける

ひじがわずかに曲がる

シートに深く腰かける

ブレーキペダルを右足で(マニュアル車は、クラッチペダルを左足で)いっばいに踏み込んだときにひざがわずかに曲がる



同乗者も、シートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。また、インストルメントパネルに顔や胸が必要以上に近づかないように、シートを後ろに下げます。

### ▲ 警 告

- シートに深く腰かけてください。また、背もたれは必要以上に倒さないでください。寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **SRSエアバッグシステム装備車**  
エアバッグに必要以上に近づくと、エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 運転者は正しい運転姿勢がとれる範囲で、シートを後ろに下げてください。
- 助手席同乗者はインストルメントパネルに近づかないように、シートを後ろに下げてください。

### ▲ 注 意

- 背もたれと背中の中にクッションなどをいれないでください。  
正しい運転姿勢がとれないばかりか、シートベルトなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- シートを操作するときは、操作する人やまわりの人の手や足などをはさまないように十分注意してください。
- シートの下に物を置かないでください。  
物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

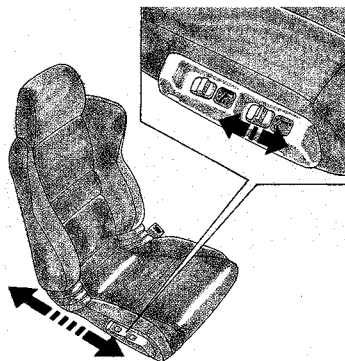
## 知識

- シートの調節は走行する前に行ってください。
- シートの後部に、お子さまを乗せたり、後方視界をさまたげるような物を置かないでください。

## シート

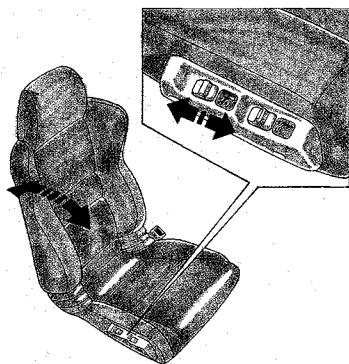
### ● 前後位置の調節

スイッチの操作により、シートの前後位置を調節できます。



### ● 背もたれの調節

スイッチの操作により、背もたれの角度を調節できます。

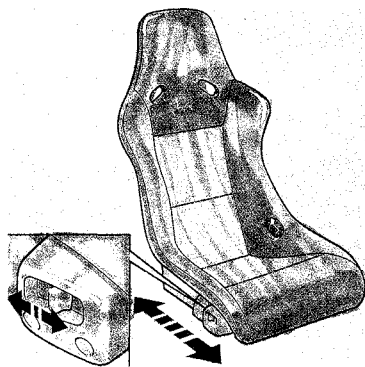


## type S

### ● 前後位置の調節

タイプ別装備

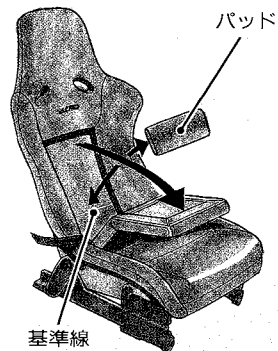
スイッチの操作により、シートの前後位置を調節できます。



### ● ランバーサポート

背もたれ腰部のパッドを出し入れすることにより、腰部の硬さを調節することができます。

お好みの硬さでお使いください。パッドを取り付けるときは、背もたれにある基準線にパッド下部を合わせて取り付けてください。



## チルト/テレスコピックステアリング

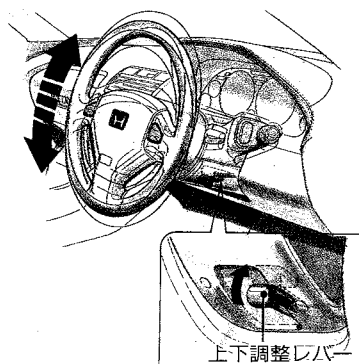
ハンドルの高さおよび前後位置を適切な位置に変えることができます。

### ▲注意

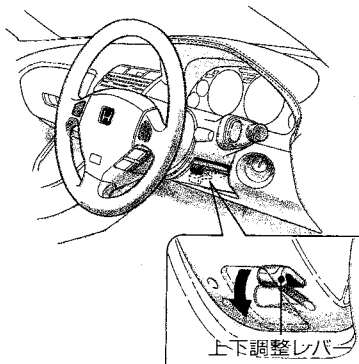
- 走行中に調節するとハンドルが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、ハンドルに上下前後方向の力を加え固定されていることを確認してください。

### ●上下の調節

ハンドルコラムの下にある上下調整レバーを、矢印の方向に引きます。レバーを引いている間、ハンドルの高さを変えることができます。

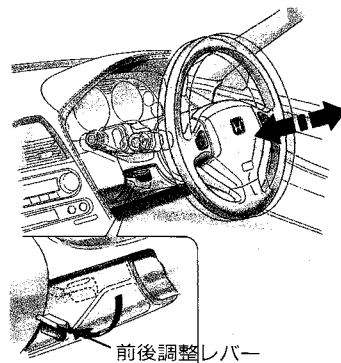


ハンドルを適切な高さにしたら、上下調整レバーを離し、ハンドル高さを固定します。

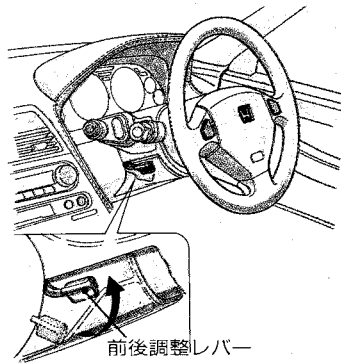


### ●前後の調節

ハンドルコラムの左にある前後調整レバーを押し下げると、ハンドルの前後位置を変えることができます。



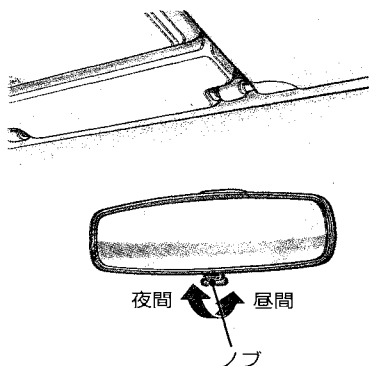
ハンドルを適切な位置にしたら、そのままハンドルを押さえながら、レバーを元の位置まで確実に引き上げ、ハンドル位置を固定します。



## バックミラー(後写鏡)

### ●ルームミラー(防眩式 室内後写鏡)

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。ノブを動かして切り換えます。



角度調節はノブを昼間の位置にして行ってください。

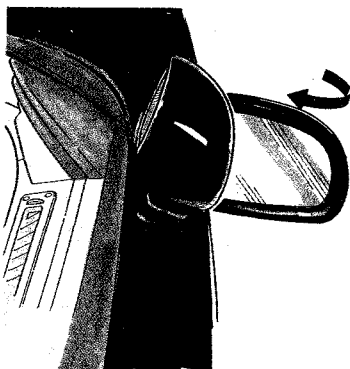
### 🎓 知 識

- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

### ●ドアミラー

#### 格納

ミラーを折りたたむことができます。狭い所へ駐車をするときなどに便利です。走行するときは、必ず元に戻してください。



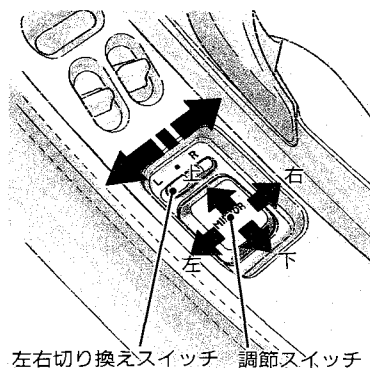
### 🎓 知 識

- ミラーを格納したまま走行しないでください。また、走行中はミラーの調節を行わないでください。
- ミラーを格納するときは、周囲の人の手などをはさまないようにしてください。

### 角度調節

エンジンスイッチが「II」のときスイッチを操作すると、ミラーの角度調節ができます。

- ①左右切り換えスイッチを、調節したい方に動かします。
- ②調節スイッチで角度を調節します。



直接手で鏡面を動かして角度を調節することもできます。

# シートベルト

シートベルトは、車を運転するまえに、運転者は正しい運転姿勢で着用し、同乗者にも必ず着用させてください。

法律でも義務づけられています。



- シートベルトは全員が着用してください。  
着用しないと、衝突したときなどに重大な傷害を受けたり死亡することがあります。
- シートに深く腰かけてください。また、背もたれは必要以上に倒さないでください。  
寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んで、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまにもシートベルトを着用させるか、チャイルドシートなどをお使いください。  
お子さまを抱えていても、衝突したときなどに支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けたり死亡するおそれがあります。

## ▲ 注 意

- シートベルトを正しく着用していないと本来の機能をはたさず、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
  - ・ ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にぴったり着用してください。  
ベルトが腰骨からずれていると腹部などに強い圧迫を受けます。
  - ・ ベルトはねじれがないように着用してください。  
ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、局部的に強い力がかかります。
  - ・ ベルトがくび、あご、顔などに当たらないように着用してください。
  - ・ 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。
  - ・ 三点式シートベルトは腕の下に通して着用しないでください。  
ベルトが肩に十分かかっていないと前方に投げ出されるおそれがあります。
  - ・ ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけないでください。
- 妊娠中の女性や疾患のあるかたのベルトの着用は、万一のとき腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがありますので、医師にご相談ください。

## ● 三点式シートベルト

体の動きにあわせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

### シートベルト警告灯

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまでメーター内のシートベルト警告灯が点灯し続けます。



### ●お子さまを乗せるときは

お子さまにもシートベルトを着用させてください。

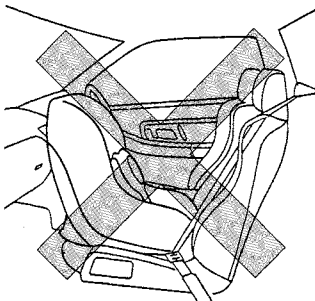
ただし、装備されているシートベルトは大人用ですので、ベルトが首やあごにあたる場合や腰骨にかからない場合は、チャイルドシートやジュニアシートを、ひとりですわることのできない小さなお子さまはベビーシートを使います。

- ・シートベルトをそのまま使うと、衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。

### 知 識

- NSXの場合、タイプによってベビーシートやチャイルドシートなどを取り付けられない場合がありますので、ご購入、ご使用に際してはホンダベルノ店にご相談ください。

- SRSエアバッグシステム装備車の助手席にはベビーシートを取り付けしないでください。また、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。エアバッグが膨らむ際、ベビーシートやチャイルドシートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。



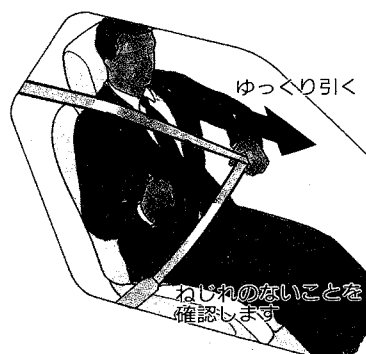
- シートベルトが正しく着用できないようなお子さまと一緒にときは、ベビーシートやチャイルドシートなどを取り付けられる別の車をお使いください。

### ●シートベルトの取り扱い、手入れ

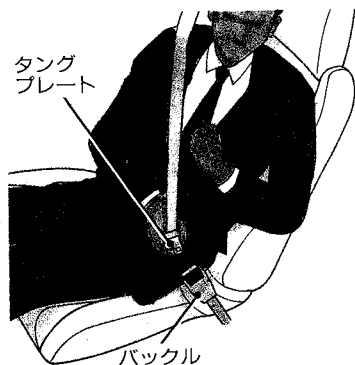
- ・シートベルトを着用した状態で万一、事故にあった場合は機能を損なっている可能性があるため、ベルト一式を交換してください。シートベルトは、助手席に乗員がいなくてもエアバッグが作動するような事故にあった場合は、プリテンショナーも作動するため、ベルト一式を交換してください。また、ベルトにほつれ、すりきれ、破れなどができたときも交換してください。
- ・シートベルトを十分に機能させるために、バックルおよび自動巻取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。
- ・ベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に布をひたしてふき取り乾かしてください。薬剤を使ったり漂白や染色は絶対しないでください。ベルトを弱めます。

## ●着用のしかた

- ①正しい運転姿勢でシートにすわります。(→47ページ)  
 ②タングプレートをつかみ、ゆっくり引き出します。



- ③ベルトにねじれがないようにし、タングプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



- ④ベルトがねじれたり、引っかかりたりしていないかを確認します。

- ⑤ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかかるように引き、たるみがないように身体に密着させます。



- ⑥外すときはバックルの“PRESS”ボタンを押します。ベルトが自動的に収納されますので、引っかかりたり、ねじれたりしていないかを確認します。



MEMO

# NSX

## 2

### 車を運転するときに



メーター .....56

表示灯 .....58

警告灯 .....60

#### スイッチの使いかた

エンジンスイッチ .....64

ライトスイッチ .....65

ヘッドライト昇降スイッチ .....67

方向指示器(ウィンカー)スイッチ .....67

非常点滅表示灯(ハザード)スイッチ .....67

ワイパー/ウォッシャースイッチ .....68

リヤデフロスタースイッチ .....69

イルミネーションコントロールツマミ .....70

フォグライトスイッチ .....70

ホーンスイッチ .....70

#### 運転のしかた

エンジンのかけかた .....71

パーキングブレーキ .....72

チェンジレバーの操作 .....73

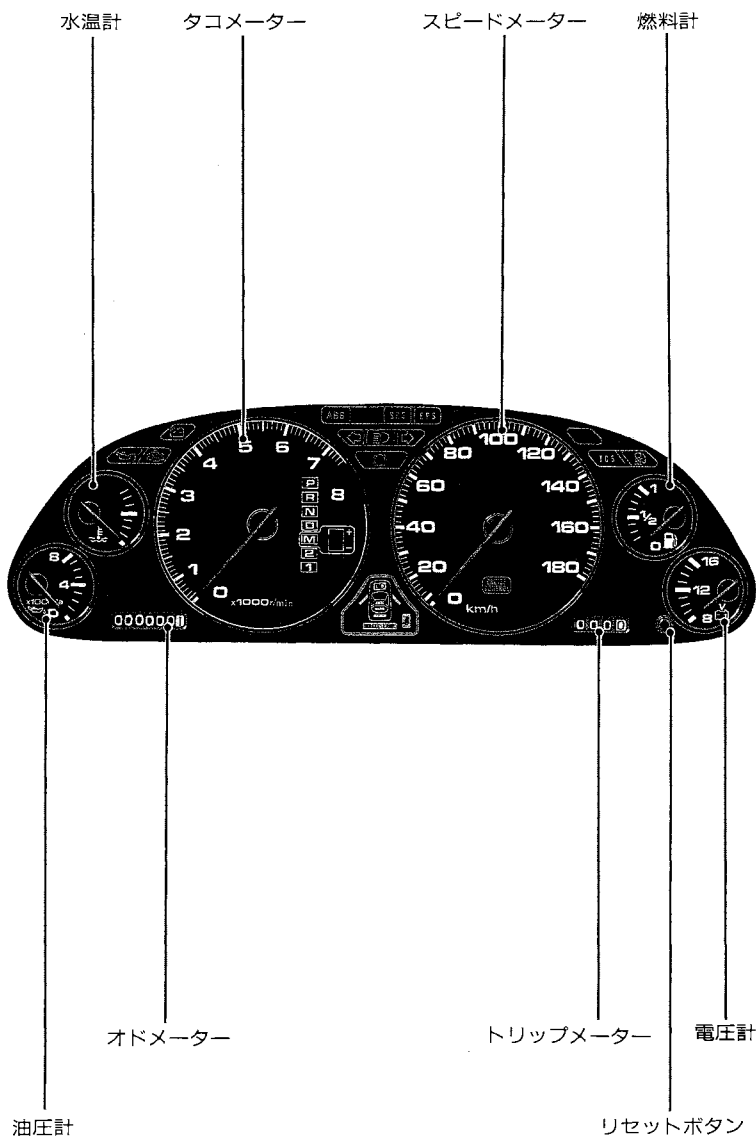
セレクトレバーの操作 .....74

オートマチック車の運転のしかた .....78

クルーズコントロール .....82

## メーター

イラストは代表例を掲載しています。



## スピードメーター

走行速度をkm/hで示します。

## タコメーター

1分間あたりの、エンジン回転数を示します。

### アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、下表の限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。

| タイプ      | 限界回転数(rpm) |
|----------|------------|
| マニュアル車   | 8,000      |
| オートマチック車 | 7,500      |

- オートマチック車  
停車中の空ぶかしは、エンジン回転数が5,000rpmになると燃料供給が停止されます。

## オドメーター

走行距離の累計をkmで示します。

## トリップメーター

区間距離(km)を知りたいとき、リセットボタンを押して“0”に戻して使います。

右端の数字は100m単位です。

## 燃料計

エンジンスイッチの位置に関係なく常に燃料の残量を示します。

“0”に近づいたら、早めに補給してください。

燃料補給について →45ページ

### 知 識

- 燃料補給後、エンジンスイッチを“II”にしてから正しい量を示すまで、しばらく時間がかかります。

## 水温計

エンジン冷却水の温度を示します。

走行中は、目盛の赤いマークより下側をさすのが正常です。

### アドバイス

- 針が赤いマークに入った場合はオーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停めてエンジンを冷やしてください。そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となります。

オーバーヒートしたとき

→140ページ

## 電圧計

バッテリーの充電状態を示します。

走行中は、12～15Vの間をさすのが正常です。

### アドバイス

- 11V以下をさす場合は、バッテリーや充電系統の異常が考えられます。ホンダベルノ店で点検を受けてください。

## 油圧計

エンジン回転中のエンジン内部を潤滑しているオイルの圧力を示します。

圧力は、冷機時や高回転時は高めになり、暖機時や低回転時は低めになります。

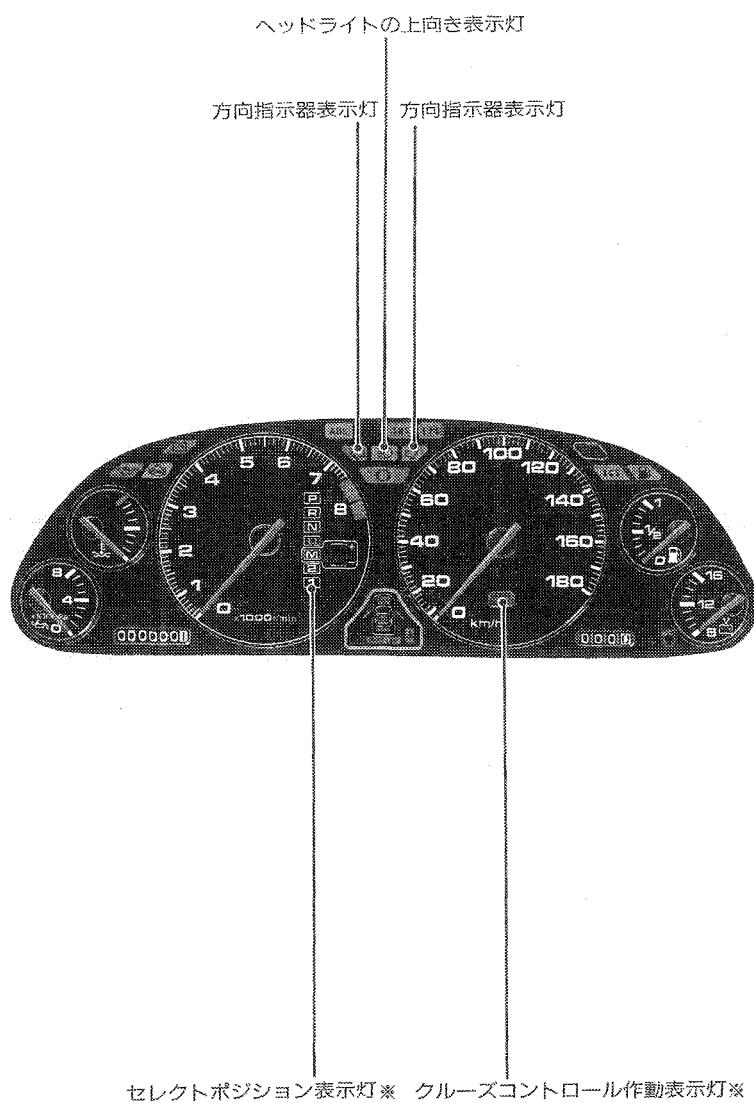
### アドバイス

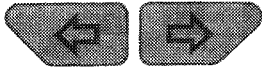
- エンジン回転を上げても針が動かないときは、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。エンジンオイルが減っていないのに針が動かないときや、エンジンオイルを補給しても針が動かないときは、ただちにホンダベルノ店へご連絡ください。

## 表示灯

イラストは代表例を掲載しています

※：タイプにより装備の有無があります。





### 方向指示器表示灯

方向指示器のランプの点滅状態を表示します。

#### 知 識

- 電球が切れたときや、ワット(W)数の違ったものを使ったときは、表示灯の点滅周期が異常になります。  
電球(バルブ)の交換 →144ページ  
電球(バルブ)のワット数 →169ページ



### ヘッドライトの上向き (ハイビーム)表示灯

ヘッドライトが上向きのときに点灯します。



### クルーズコントロール

#### 作動表示灯

タイプ別装備

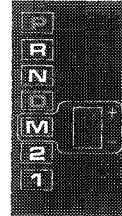
自動定速走行しているときに点灯します。

クルーズコントロール

→82ページ

### セレクトポジション表示灯 (トランスミッション警告灯兼用)

オートマチック車



使用中のセレクトレバー位置が表示されます。

Ⓔレンジ使用中は右側にギヤの位置も表示されます。

トランスミッションが異常のときには、Ⓔが点滅します。

トランスミッション警告灯

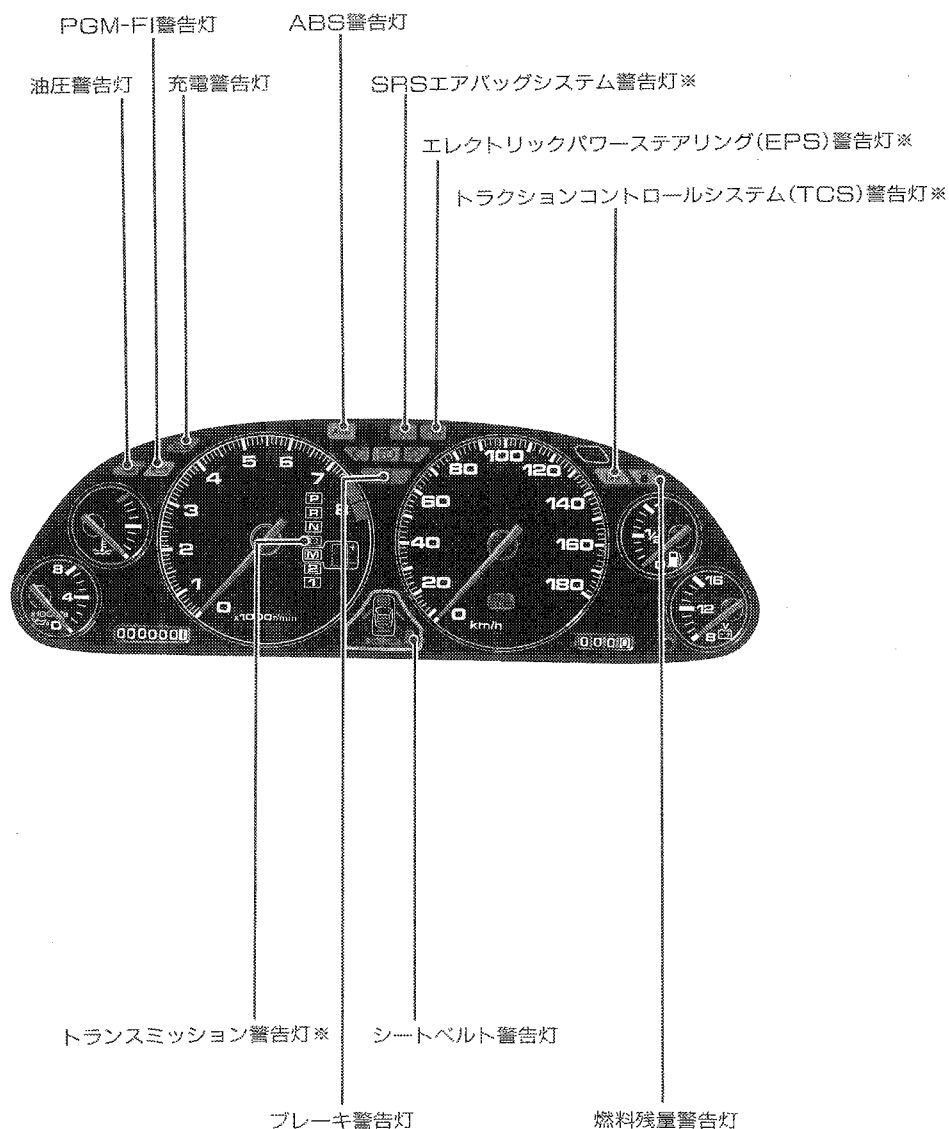
→61ページ

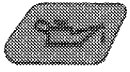


## 警告灯

イラストは代表例を掲載しています。

※：タイプにより装備の有無があります。





### 油圧警告灯

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。

#### 点灯したときは

エンジン回転中に点灯した場合は、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。

エンジンオイルが減っていないのに点灯したときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、ただちにホンダベルノ店へご連絡ください。



### アドバイス

- 点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。



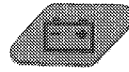
### トランスミッション警告灯 (セレクトポジション表示灯兼用)

オートマチック車

トランスミッションが異常のときに  が点滅します。

#### 点滅したときは

運転中に点滅した場合は、急発進、急加速を避けて、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。

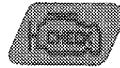


### 充電警告灯

充電系統が異常のときに点灯します。

#### 点灯したときは

運転中に点灯した場合は、電気の消費を減らすため、ヒーター・エアコンスイッチ、リヤデフロスタースイッチを“OFF”にして、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。



### PGM-FI警告灯

エンジン制御システムが異常のときに点灯します。

#### 点灯したときは

運転中に点灯した場合は、高速走行を避けて、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。



## ブレーキ警告灯

パーキングブレーキレバーが完全に戻っていないときやブレーキ液量がいちじるしく減少しているときに点灯します。

### 点灯したときは

走行中点灯したときやパーキングブレーキを解除しても消灯しないときは、

- ①ブレーキ液量を点検します。
- ②下限より下がっていたらただちにホンダベルノ店へご連絡ください。ブレーキ液量が下限以下になっていないのに点灯するときや、パーキングブレーキをかけても点灯しないときは、お早めにホンダベルノ店で点検を受けてください。



## シートベルト警告灯

エンジンスイッチを「II」にすると、運転席シートベルトを着用するまで点灯し続けます。



## 燃料残量警告灯

燃料タンク内のガソリン残量が1/4前後になったときに点灯します。

燃料の補給 →45ページ



## エレクトリックパワー ステアリング(EPS)警告灯

**パワーステアリング装備車**

EPSが異常のときに点灯します。

### 点灯したときは

運転中に点灯したとき(安全な場所に停車してからエンジンを再始動し、その後走行中に消灯していれば正常です。)は、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。

### 知 識

- 警告灯が点灯しているときは、パワー装置のはたらきを制限するので、ハンドル操作が重くなります。
- 停車中または極低速でハンドル操作をくり返したときなどシステムの温度が上昇すると、システム保護のためパワー装置のはたらきを制限するので、ハンドル操作が徐々に重くなります。システムの温度が下がると復帰します。システム保護がはたらくような使いかたを連続的にくり返すと、システム破損の原因となります。



## SRSエアバッグシステム 警告灯

**SRSエアバッグシステム装備車**

SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。

SRSエアバッグシステム警告灯

→91ページ



## トラクションコントロール システム (TCS)警告灯

**TCS装備車**

TCSが異常のときに点灯します。また、TCSを「OFF」にしたときにも点灯します。

TCS作動中は、点滅します。

→96ページ

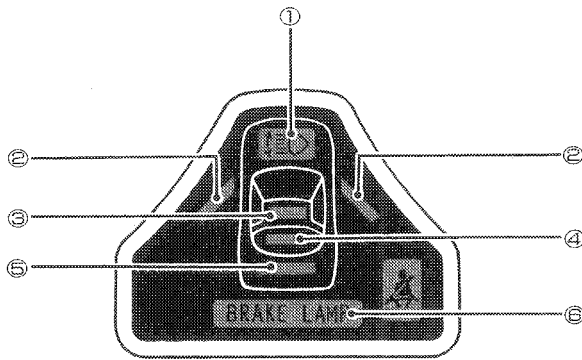


## アンチロックブレーキ システム(ABS)警告灯

ABSが異常のときに点灯します。

→95ページ

## セーフティインジケーター



## ①ヘッドライト昇降装置警告灯

昇降装置の作動中に異常があると点灯します。

原因として凍結、異物のかみ込みが考えられます。

ヘッドライトが昇降しないとき  
→149ページ

## ②ドア開閉警告灯

ドアが完全に閉まっていないときに点灯します。

ドアを完全に閉めてください。

## ③ルーフ開閉警告灯

type T

ルーフサイドロックが完全にロックされていないときに点灯します。ルーフサイドロックを確実にロックしてください。

## 知 識

- ルーフを取り外したとき、ルーフをルーフホルダーに収納していないと点灯します。

## ④リヤウィンドー開閉警告灯

リヤウィンドーが完全に閉まっていないときに点灯します。

リヤウィンドーを完全に閉めてください。

## ⑤トランク開閉警告灯

トランクが完全に閉まっていないときに点灯します。

トランクを完全に閉めてください。

## ⑥制動灯電球切れ警告灯

制動灯の電球切れのときに点灯します。

点灯したときは、ホンダベルノ店で点検を受けてください。

電球の交換 →144ページ

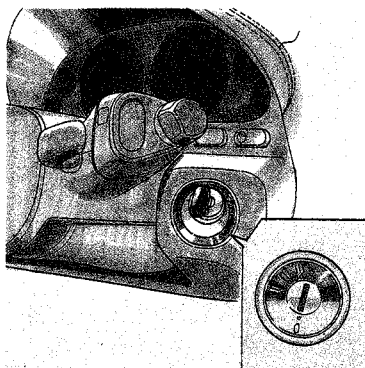
## 警告灯の電球切れの点検

エンジンスイッチを“II”にしたとき、下記の警告灯類が点灯するのが正常です。点灯しないときは、ホンダベルノ店へご連絡ください。

- 油圧警告灯  
(エンジン始動後消灯)
- トランスミッション警告灯  
(数秒後消灯)
- 充電警告灯  
(エンジン始動後消灯)
- PGM-FI警告灯  
(数秒後消灯)
- ブレーキ警告灯  
(パーキングブレーキレバーを完全に戻すと消灯)
- エレクトリックパワーステアリング (EPS) 警告灯  
(エンジン始動後消灯)
- SRSエアバッグシステム警告灯  
(約 6 秒後消灯)
- トラクションコントロールシステム (TCS) 警告灯  
(エンジン始動後消灯)
- アンチロックブレーキシステム (ABS) 警告灯  
(数秒後消灯)
- セーフティインジケーター内の警告灯  
(数秒後消灯)

## スイッチの 使いかた

### エンジンスイッチ



0

キーを抜き差しする位置です。

I

エンジンをかけずにラジオなどのアクセサリを使用するときの位置です。

II

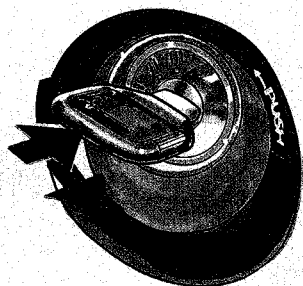
運転するときの位置です。

III

エンジン始動位置です。始動したら、キーから手を離してください。自動的に“II”に戻ります。

### キーを抜くとき

- ・オートマチック車は、セレクトレバーを $\textcircled{R}$ に入れます。
- ・“I”でキーを押し込んで“0”まで回してキーを抜けば、ハンドルは固定されます。



### 知 識

- キーを抜くとハンドルがロックされます。
- オートマチック車**  
セレクトレバーが $\textcircled{R}$ 以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことはできません。

### “0”から“I”にキーが回らないとき

ハンドルを左右に回しながらキーを回せば容易に回ります。

- 走行中はエンジンを止めないでください。
- マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にするとキーが抜けることがあり、ハンドルがロックされ、思わぬ事故につながります。

### 知 識

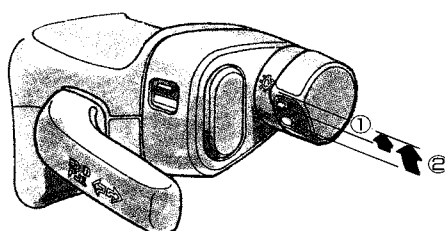
- エンジンを止めた状態で“II”のまま、長時間放置しないでください。バッテリー容量が低下し、エンジンがかからなくなることがあります。
- 車から離れるときは、バッテリー保護のため必ず“0”にしてください。

# ●キー抜き忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”でキーを差し込んだまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りキーの抜き忘れを知らせます。

## ライトスイッチ

### ●ライトの点灯・消灯



エンジンスイッチの位置に関係なく、次のように点灯、消灯します。

| スイッチ位置 |   | ヘッドライト | 車幅灯、尾灯、番号灯、計器類照明灯 | 前照灯位置 |
|--------|---|--------|-------------------|-------|
| OFF    |   | 消 灯    | 消 灯               |       |
| ●      | ① | 消 灯    | 点 灯               |       |
| ●      | ② | 点 灯    | 点 灯               |       |
| ●      | ① | 消 灯    | 点 灯               |       |
| OFF    |   | 消 灯    | 消 灯               |       |

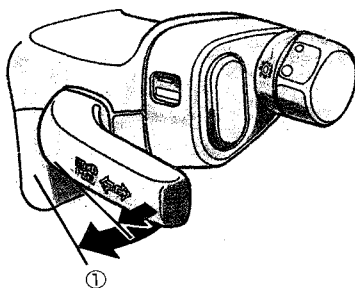
## 知識

- ヘッドライト昇降スイッチが働いていると、ヘッドライトは下がりません。ライトスイッチを"OFF"にしてもヘッドライトが下がらない場合は、ヘッドライト昇降スイッチ(→67ページ)を押してみてください。
- エンジンが止まっている状態で、ライト類を点灯したままにしないでください。  
バッテリーあがりの原因となります。
- ヘッドライトの付近に人がいないことを確認してから、ライトスイッチを操作してください。  
ヘッドライトの上昇、下降時に手をはさむおそれがあります。
- 寒冷地や雪道走行などで、ヘッドライトの昇降装置が凍結するおそれがある場合は、凍結してもライトが使えるよう、あらかじめヘッドライト昇降スイッチ(→67ページ)で上げておいてください。また昇降装置が凍結したときは、スイッチ操作をする前に必ず氷を解かしてください。
- 万一、ライトスイッチを操作してもヘッドライトが昇降しない場合は、手動操作をしてください。  
ヘッドライトが昇降しないとき  
→149ページ

## ●ライト消し忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが"1"または"0"で、ライトを消し忘れたまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りライトの消し忘れを知らせます。

## ●ヘッドライトの上向き(ハイビーム)と下向き(ロービーム)の切り換え



レバーを①の位置まで引くと上向き下向きの切り換えができます。上向きのときは、メーター内の表示灯が点灯します。

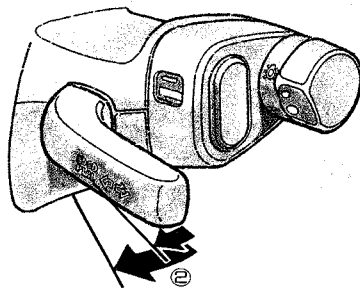
ヘッドライトの上向き(ハイビーム)表示灯

→59ページ

## 知識

- 対向車のあるときや市街地走行など、上向きが不適切なときは下向きにします。

## ●追越合図(パッシング)

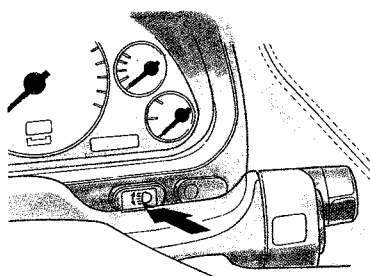


レバーを軽く②の位置まで引いている間、ヘッドライトは上昇して点灯し、先行車に合図を送れます。レバーをはなすとヘッドライトは消灯し、数秒後に自動的に下降します。

## 知識

- ヘッドライトが上昇する間にレバーから手をはなすと、ヘッドライトは点灯しません。
- ヘッドライトが上向き(ハイビーム)のときは作動しません。

## ヘッドライト昇降スイッチ



スイッチを押すと、ライトが消灯したままヘッドライトが上がり、もう一度押せば下がります。レンズを清掃するときや、昇降装置が凍結するおそれのあるときなど、あらかじめヘッドライトを上げておきたいときに使用します。

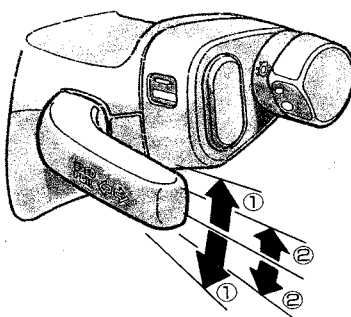
### 知 識

- ヘッドライトの付近に人がいないことを確認してから、ヘッドライト昇降スイッチを操作してください。ヘッドライトの上昇、下降時に手をはさむおそれがあります。
- ヘッドライト昇降スイッチを押してもヘッドライトが下がらない場合は、ライトスイッチ(→65ページ)が“OFF”位置にあるか確認してください。ライトスイッチが“OFF”でなければヘッドライト昇降スイッチを押しても、ヘッドライトは下がりません。
- 昇降装置が凍結したときは、スイッチを操作する前に必ず氷を解かしてください。
- 万一、ヘッドライト昇降スイッチを操作してもヘッドライトが昇降しない場合は、手動操作をします。

ヘッドライトが昇降しないとき

→149ページ

## 方向指示器(ウィンカー)スイッチ



エンジンスイッチが“II”のとき使えます。

ふだんは①の位置で使います。

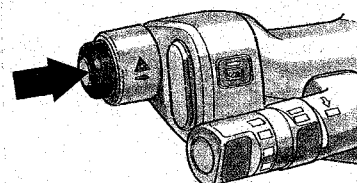
この位置ではハンドルの切り角が小さいときには戻らない場合もあります。戻らないときは手で戻してください。

車線変更などでは②の位置に軽く手で押さえながら使います。

## 非常点滅表示灯(ハザード)スイッチ

スイッチを押すとすべての方向指示器のランプが点滅します。

故障でやむを得ず路上駐車するとき使います。



### 知 識

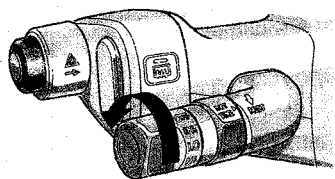
- 非常時にのみお使いください。完全充電の新しいバッテリーでも約3時間以上使うとバッテリー容量が低下し、エンジンの始動ができなくなります。



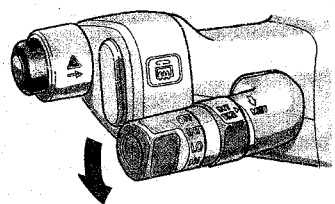
## ワイパー/ ウォッシャースイッチ

エンジンスイッチが“II”のとき使えます。

### ●ワイパースイッチ



OFF .....停止  
INT(間欠) .....雨量の少ないとき  
LO(低速) .....普通雨量のとき  
HI(高速) .....雨量の多いとき

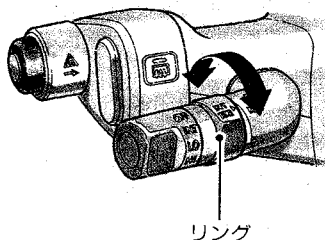


### MIST

レバーを押し下げている間、HI(高速)で作動します。

霧や小雨のときなどに使うと便利です。

### 間欠時間の調節

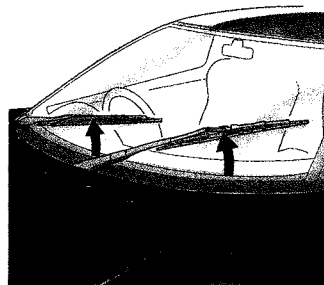


ワイパーの間欠作動の間隔を約2秒から12秒の範囲で調節できます。間隔のセットはリングを回して行います。

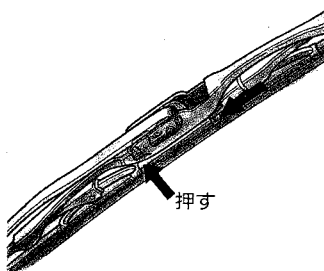
スイッチを“INT”位置にすると、あらかじめセットされた間隔でワイパーが作動します。

### 知 識

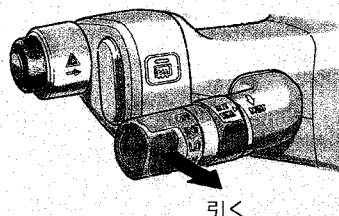
- ワイパーブレードドラバーを交換するときはワイパースイッチを“ON”にしエンジンスイッチを“II”にして、ワイパーを動かします。ワイパーアームが上がった位置でエンジンスイッチを“0”にし、ワイパーアームを持ち上げます。



ワイパーブレードをアームから取り外して交換します。



## ●ウォッシャースイッチ



レバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射します。レバーを引いている間はワイパーが作動し、レバーを離した後さらに2～3回作動します。

## ▲注意

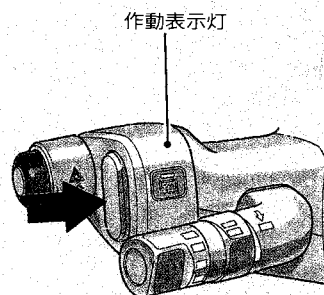
- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。ウォッシャー液が凍りついて視界のさまたげとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ◆知識

- 空ぶきをしないでください。ガラス面に傷をつけたり、ブレード(ゴム部)を傷めたりします。
- ウォッシャー液が出ないときはウォッシャースイッチを切ってください。ウォッシャー液がないまま動かすとポンプの故障の原因となります。
- 寒冷時、ブレード(ゴム部)がガラス面に張りつくことがありますのでヒーターでフロントガラスを暖めてください。凍りついたまま動かすとブレード(ゴム部)を傷めたり、ワイパーモーターの故障の原因となります。

デフロスター →102、106ページ

## リヤデフロスタースイッチ



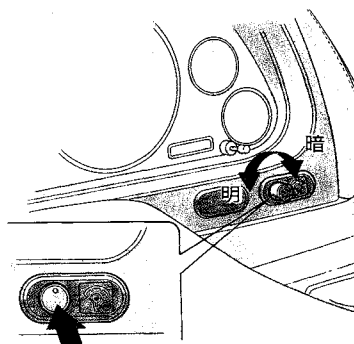
リヤガラスを暖め、曇りを取ることができます。

エンジンスイッチが“II”のときスイッチを押すと“ON”になり、同時に作動表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと“OFF”になり、作動表示灯は消灯します。

## ◆知識

- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたら“OFF”にしてください。“ON”のままであっても、約25分経過後自動的に“OFF”になります。また、エンジンの回転が低いとき長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。
- リヤウィンドーの内側に電熱線が装着されています。電熱線は傷つきやすいので清掃のときは電熱線に沿ってやわらかい布でふいてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。

## イルミネーション コントロールツマミ



ライトが点灯しているとき、ツマミを回すとメーター照明灯の明るさが調節できます。

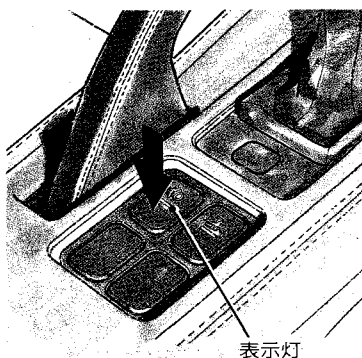
ツマミは押してとび出した状態で調節します。

もう一度押すと、元の位置にもどります。

夜間、車外の明るさに応じて調節してください。

## フォグライトスイッチ

タイプ別装備



スイッチを押すとフォグライトが点灯します。同時にスイッチ内の表示灯が点灯します。

もう一度押すと消灯します。

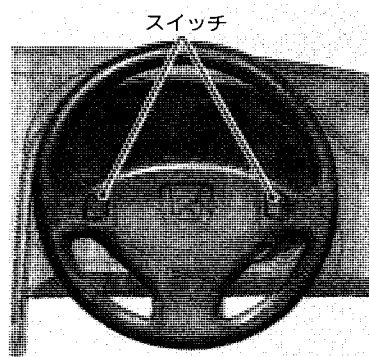
## 知 識

- スイッチを押すと、次のライトも同時に点灯します。
  - ・ 車幅灯
  - ・ 尾灯
  - ・ 番号灯
  - ・ メーター照明灯

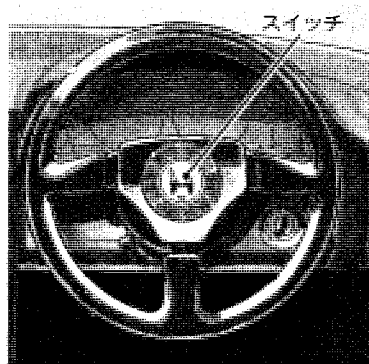
## ホーンスイッチ

ハンドルにあるスイッチを押すとホーンがなります。

SRSエアバッグシステム装備車



SRSエアバッグシステム非装備車



## 運転のしかた

### エンジンのかけかた

- バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動をしないでください。バッテリーが破裂するおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところではエンジンをかけたままにしないでください。車内や屋内などに排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

### 注意

- エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。
- **マニュアル車**  
窓越しにエンジンをかけないでください。  
チェンジレバーがN(ニュートラル)以外に入っていると車が急に動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

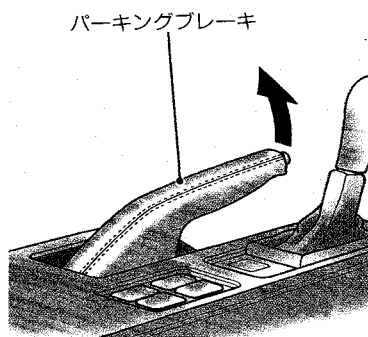
### アドバイス

- 排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は排気系や燃料系の異常が考えられますので、必ずホンダベルノ店で点検を受けてください。

① パーキングブレーキがかかっていることを確認します。

パーキングブレーキの操作

→72ページ

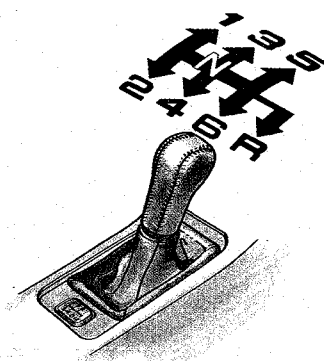


② **マニュアル車**

チェンジレバーをN(ニュートラル)にしてください。

チェンジレバーの操作

→73ページ

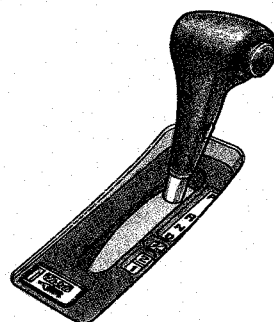


**オートマチック車**

セレクトレバーがPの位置にあることを確認してください。

セレクトレバーの操作

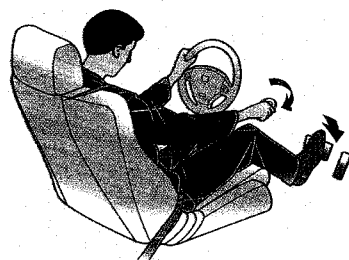
→74ページ



③ ブレーキペダルをしっかりと踏みます。

マニュアル車は、クラッチペダルもいっばいに踏み込んで行います。

④ アクセルペダルを踏まずに、エンジンが始動するまでスターターを回してください。



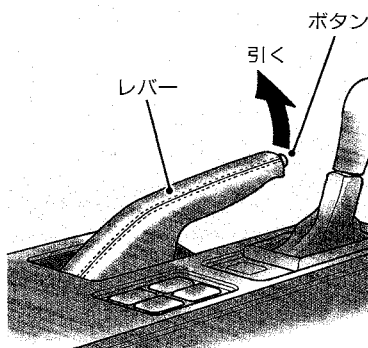
## 知識

- 消費電力の大きいライト類、エアコン、リヤデフロスターのスイッチは“OFF”にした方が始動は容易になります。
- バッテリーあがりを防ぐため、スターターは連続して15秒以上回さないでください。15秒回してもエンジンが始動しなかったときは、一度キーを“L”に戻して10秒以上待ってから再始動してください。
- エンジンがあたたまっていると始動に時間がかかることがあります。アクセルペダルを半分程度踏み込んだまま、スターターを回してください。エンジンが始動したらアクセルペダルを徐々に戻してください。
- エンジン始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転が高くなりますが、自動的に適正回転に下がります。
- エンジン始動時や、エンジンが冷えているときに、エンジンルームからモーター音等が聞こえることがありますが、これは排気ガス制御システムのエアポンプが作動している音で異常ではありません。

## パーキングブレーキ

### かけるとき

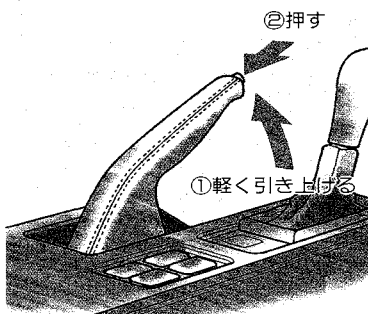
ボタンを押さずにレバーをいっぱいに引きます。



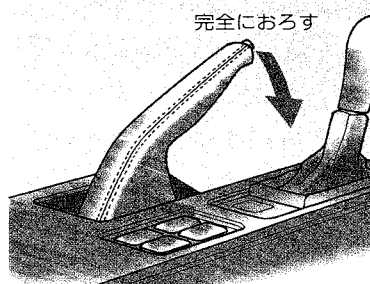
後輪ブレーキがききます。

### 解除するとき

- ①レバーを軽く引き上げながら、ボタンを押します。



- ②ボタンを押したまま、レバーを完全におろします。



## 注意

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し効が悪くなるおそれがあります。

## 知識

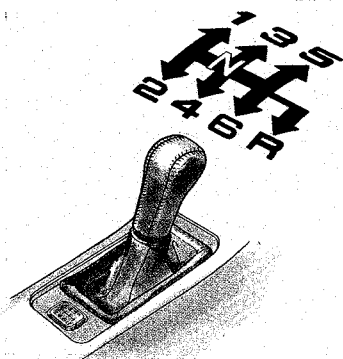
- 駐車するときは、車が動き出さないように必ずパーキングブレーキをかけてください。  
寒冷時のパーキングブレーキの取り扱い

→164ページ

## チェンジレバーの操作

マニュアル車

### ●チェンジレバー



変速するときは、クラッチペダルをいっばいに踏み込んで、チェンジレバーを確実に操作します。

### 知 識

#### ● Type S

- この車のシフトノブはチタン製です。
- 炎天下に長時間駐車すると、シフトノブが熱くなることがあります。
- 外気温が低いときは、シフトノブが冷たくなることがあります。

### Rに入れるとき

停車してからRに入れてください。

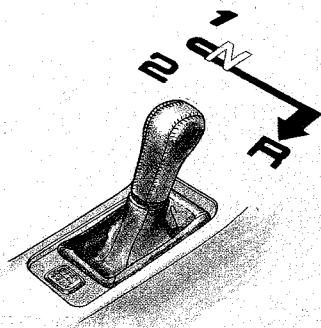
### ⚠️ アドバイス

- 車が完全に止まらないうちはRに入れないでください。トランスミッションの破損の原因となります。

#### ・Rに入らないとき

誤操作を防ぐため、Rへは一定車速以上では入らないようになっています。

停車してもRに入らないときは、チェンジレバーを一度Nへ戻し、1、2側に倒してからRに入れてください。



上記の操作をしてもRに入らないときは

- ①パーキングブレーキをかけてエンジンスイッチを「I」または「0」にします。
- ②クラッチペダルを踏んで、チェンジレバーをRに入れます。
- ③クラッチペダルを踏んだまま、エンジンを始動します。

### ⚠️ アドバイス

- 停車してもRに入らない場合は、故障が考えられますので、すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。

### ●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各チェンジレバー位置での速度範囲を参考に、シフトダウンしてください。

| チェンジレバー位置 | 速度範囲       |
|-----------|------------|
| 1         | 0～65km/h   |
| 2         | 20～100km/h |
| 3         | 25～130km/h |
| 4         | 35～170km/h |
| 5         | 45km/h～    |
| 6         | 55km/h～    |

### ⚠️ 注 意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。シフトダウンする際の車速には十分注意してください。

### ⚠️ アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。限界回転数 .....8,000rpm

### 知 識

- 法定速度を守って走行してください。
- 馴らし運転を十分に行ってください。1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け、5,500rpm以下でのご使用をおすすめします。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じるがありますが、異常ではありません。

セレクトレバーの操作 オートマチック車

●それぞれの位置のはたらき

**P** パーキング

駐車およびエンジンを始動する位置。  
キーを抜く位置。

 知 識

●セレクトレバーがP以外のときは、  
エンジンスイッチが0まで回らないので、キーを抜くことができません。

**R** リバース

車を後退(バック)させる位置。  
ブザーが鳴り、セレクトレバーがRに入っていることを運転者に知らせます。

**N** ニュートラル

中立位置  
(エンジン始動できますが、安全のためNで行ってください。)

**D** ドライブ

通常の走行をする位置。  
(1速から4速まで自動的に変速されます。)

**3/M** サード  
マニュアルモード

上り坂、下り坂に使う位置。  
マニュアルモードとして、シフトスイッチを使って1速から4速までの各ギヤを手動で変速する位置。

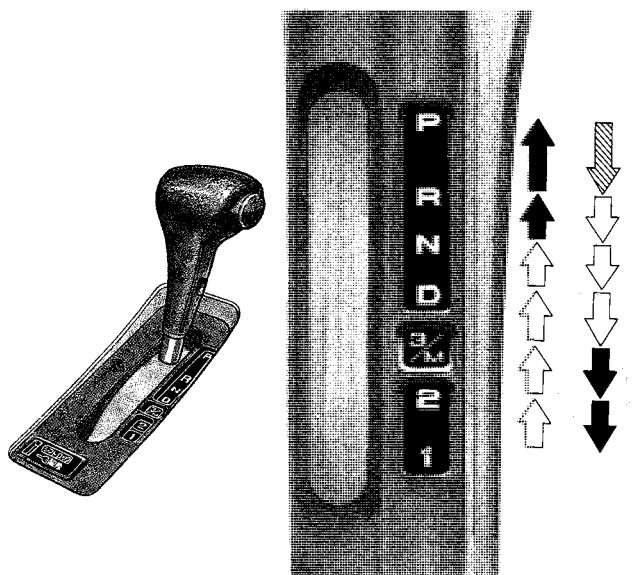
**2** セカンド

エンジンブレーキが必要なときや、雪道などの滑りやすい路面での発進に使う位置。  
(2速のままで変速されません。)

**1** ロー

強力なエンジンブレーキが必要なときに使う位置。  
(1速のままで変速されません。)

# ●セレクトレバーの動かしかた



ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押してレバーを操作します。



ボタンを押さずにレバーを操作します。



ボタンを押してレバーを操作します。

## 知 識

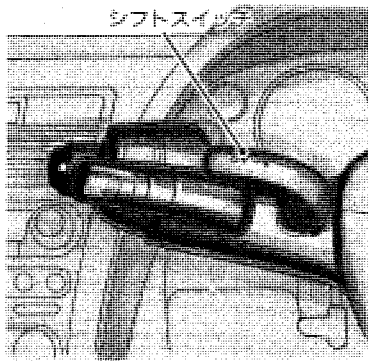
- セレクトレバーの操作は誤操作防止のため各位置ごとに節度をつけ、確実に行ってください。
- P**のときは、ボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- エンジンスイッチが「**I**」または「**0**」のときは、ブレーキペダルを踏んでも**P**から他の位置に切り換えられません。
- いつもボタンを押して操作すると意に反して**P****R****N****D****1**に入れてしまうおそれがあります。△▽の操作は、ボタンを押さずに動かす習慣をつけてください。



### ●マニュアルモード

ステアリングコラム左側にあるシフトスイッチを使ってハンドルから手を離さずに手動で変速できます。

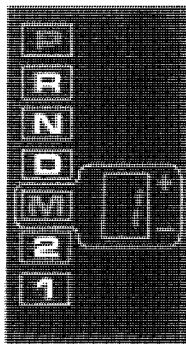
☑レンジのときに、スイッチを上には動かすとシフトアップ(高速ギヤに変速)します。スイッチを下には動かすとシフトダウン(低速ギヤに変速)します。



### 知 識

- シフトスイッチの操作1回で、ギヤが1段ずつ変速します。連続して操作したときは、ギヤを連続して変速します。シフトスイッチを操作したままでは、連続変速しません。続けて変速するときは、一旦シフトスイッチを戻してから操作してください。

マニュアルモードにすると、メーター内にあるセレクトポジション表示灯の横にギヤの位置を表示します。



### 知 識

- 車速によっては、次のようになります。
  - ・自動的に変速することがあります。また、停止時は自動的に1速になります。
  - ・各ギヤの速度範囲を超えている場合などは、スイッチを操作しても変速しないことがあります。
  - ・2速から1速へギヤを落としたとき、下記の場合変速されずメーター内の表示灯が“1”で点滅します。
    - 車速が50km/h以上のとき
    - 車速が17～50km/hでアクセルをまったく踏み込んでいないとき(全閉時)
- 表示灯が“1”で点滅している間(最大約5秒間)に車速が50km/h以下になり再加速のためにアクセルペダルを踏み込むと、1速に変速され表示灯が“1”で点灯します。(マニュアルモードでの1速はエンジンブレーキがきかなくなるため、アクセルペダルをまったく踏み込んでいない時は2速から1速へは変速しません。)
- ☑レンジでは1速または2速で発進できます。

# ●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各セレクトレバー位置での速度範囲内で切り換えを行ってください。

| セレクトレバー位置                                                                         | 速 度 範 囲   |           | 変 速 範 囲                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------|-----------|--------------------------------------------|
|  | 0 km/h～   |           | 1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ 4 速(自動)                        |
|  | 4 速       | 32km/h～   | 1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ 4 速(自動)<br>1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ 4 速(手動) |
|                                                                                   | 3 速       | 18km/h～   |                                            |
|                                                                                   | 2 速       | 0～130km/h |                                            |
|                                                                                   | 1 速       | 0～ 70km/h |                                            |
|  | 0～130km/h |           | 2 速固定                                      |
|  | 0～ 70km/h |           | 1 速固定*                                     |

\*：急激なエンジンブレーキによるショックを避けるため、50km/h以上でへ切り換えた場合は、一旦 2 速に入ります。

## ▲注 意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。  
シフトダウンする際の車速には、十分注意してください。



## アドバイス

- マニュアルモードでは 2 速以上は自動的にシフトアップしません。  
エンジン故障などの原因となりますので、下記の限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。  
限界回転数 .....7,500rpm

## ◆知 識

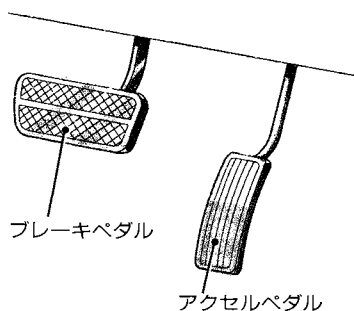
- 法定速度を守って走行してください。
- 馴らし運転を十分に行ってください。  
1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け、5,500rpm以下でのご使用をおすすめします。
- エンジン回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じることがありますが異常ではありません。

### オートマチック車の 運転のしかた

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り換えを自動化したもので、その分、操作の負担が軽くなり、運転が楽になりますが、運転の基本を十分理解し、正しく操作する習慣をつけてください。

### エンジンを かける前に

正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。



#### 知 識

- ペダルの踏みまちがいを防ぐため、ペダルの位置を実際に踏んでみて足におぼえさせておくことが重要です。また、不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。
- 車を少し移動させるときにもペダルが確実に踏めるように、正しい運転姿勢をとりましょう。

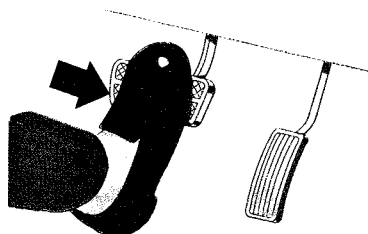
### エンジン始動

- ①パーキングブレーキがかかっていることを確認。
- ②セレクトレバーがPに入っていることを確認。

#### 知 識

- Nでも始動できますが、安全のため駆動輪が固定されるPで行ってください。

- ③ブレーキペダルを右足で踏んで始動。

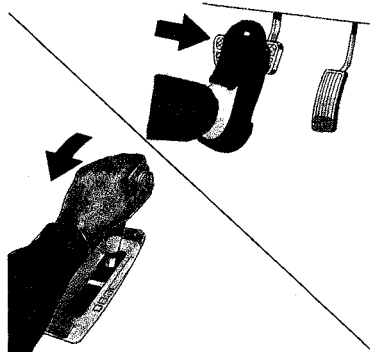


#### 知 識

- 始動時にアクセルペダル操作が必要な場合は、始動後、右足でブレーキペダルを踏んでください。

## 発進

- ①右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを前進は□、後退はⓂに入れる。



## 注意

- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故の原因となります。

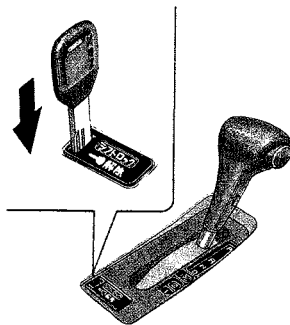
## 知 識

- セレクトレバーをP以外に入れると、クリープ現象により、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。ブレーキペダルを踏んでください。
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がリ、クリープ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかり踏んでください。
- セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。

- ②レバーの位置を目で再確認。  
 ③パーキングブレーキをもどす。  
 ④ブレーキ警告灯が消灯したことを確認。(→61ページ)  
 ⑤ブレーキペダルを徐々に離して、アクセルペダルをゆっくりと踏む。

## 知 識

- マニュアル車は、発進時の速度を、クラッチ操作とアクセル操作を併用して調節しますが、オートマチック車は、アクセル操作のみで行うので、アクセル操作は慎重に行ってください。
- 万一、ブレーキペダルを踏んでもⓂから他の位置に切り換えられないときは、エンジンスイッチからキーを抜き、シフトロック解除穴にキーを差し込み、押しながらレバーを操作してください。



## 急な坂道での発進

セレクトレバーの位置を目で確認し、

- ・パーキングブレーキをかけたままブレーキペダルを離し、
- ・アクセルペダルをゆっくり踏んで、
- ・車が動き出す感触を確認しながら、
- ・パーキングブレーキをもどして発進。

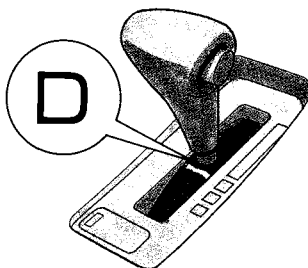
## 走行

走行中はセレクトレバーをNにしないでください。

### 知 識

- Nにするとエンジンブレーキが全くきかなくなるため思わぬ事故の原因になります。またNにしても燃費の差はありません。

## 通常走行



セレクトレバーをDにして走行します。アクセルペダルの踏み加減と走行速度により、1速から4速まで自動的に変速されます。

### 注 意

- 高速走行中に2または1に入れないでください。急激なエンジンブレーキがかかり、タイヤがスリップしたり、エンジンが過回転になり故障することがあります。

#### ・マニュアルモード走行

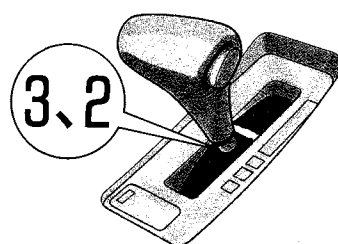
走行状況に合せ、シフトスイッチを使ってギヤの位置を選択して走行します。

マニュアルモード →76ページ

#### 急加速したいとき

アクセルペダルをいっぱい踏み込むと、キックダウンして急加速します。

## 上り坂走行



坂の勾配に応じ、セレクトレバーを3または2にしておくと、エンジン回転数の変化が少ない、なめらかな走行ができます。

## 下り坂走行

下り坂をDのまま走行すると、エンジンブレーキのききが弱く、速度が出すぎてしまうことがあります。このようなときには、セレクトレバーを3または2にします。

さらに強力なエンジンブレーキが必要なときは、1にします。

### 注 意

- フットブレーキを使いすぎるとブレーキが過熱して、ききが悪くなるおそれがあります。長い下り坂や急な下り坂では、必ずエンジンブレーキを併用してください。

エンジンブレーキ →16ページ

### 知 識

- マニュアルモードでの1速は、エンジンブレーキがきかなくなるため、強力なエンジンブレーキが必要なときは必ずセレクトレバーを操作して1で走行してください。

## 停車

①□のままブレーキペダルをしっかりと踏んでおく。

必要に応じてパーキングブレーキをかける。

### 🚗 アドバイス

- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂で□以外に入れた状態で、アクセルをふかしながら車を停止させたりしないでください。  
トランスミッションが過熱し、故障の原因になります。

### 🎓 知識

- 急な上り坂での停車はクリーブ現象で前へ進もうとする力よりも車が後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退することがあります。ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキをかけてください。
- セレクトレバーが□以外でエアコンスイッチが入っている場合などは、エンジン回転数が断続的に高くなりクリーブ現象が強まります。ブレーキペダルを特にしっかりと踏み込んでください。

②停車時間が長くなるときはセレクトレバーを□に入れる。

## ⚠️ 注意

- 停車中、空ぶかしをしないでください。万一、セレクトレバーが□以外入りのとき、思わぬ急発進の原因になります。

### 🎓 知識

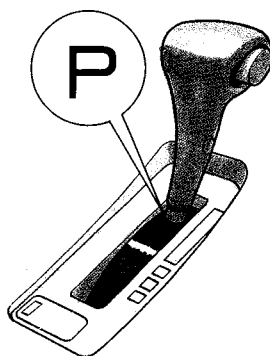
- 停車後、再発進するときは、思い違いないようセレクトレバーが□にあることを確認してください。
- セレクトレバーが□でもエンジンが冷えているときは、トランスミッションオイルの粘性により車がわずかに動き出すことがありますので、ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。

## 駐車

①車を完全に止める。

②ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかける。

③セレクトレバーを□に入れる。



### 🎓 知識

- 駐車の際は、セレクトレバーが必ず□に入っていることを確認してください。セレクトレバーが□のときは、駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。

④エンジンを止める。

## ⚠️ 注意

- エンジンをかけたままにしておくと、万一、セレクトレバーが□以外に入っていたとき、クリーブ現象で車がひとりでに動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み急発進するおそれがあります。

### 🚗 アドバイス

- 車が完全に止まらないうちに□に入れないでください。  
トランスミッション破損の原因となります。

### 🎓 知識

- 環境保護のため駐車時にはエンジンを止めましょう。

## ほかに気をつけたいこと

### 車を少し移動させるとき

このような場合でも、正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

### 車を後退させるとき

この場合、体をうしろにひねった姿勢になり、ペダルの操作がしにくくなります。ブレーキペダルは確実に踏めるよう注意してください。

## クルーズコントロール

タイプ別装備

高速道路または加速、減速の繰り返しの少ない自動車道などを定速で運転するとき、アクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つ装置です。車速は、約30～100km/h、の範囲で希望値に設定できます。(オートマチック車は□または⊗のとき設定できます。)

また、アクセルペダルを踏まずに車速を上げ下げしたり、一時的な減速後、もとの車速に自動的に戻すことができます。

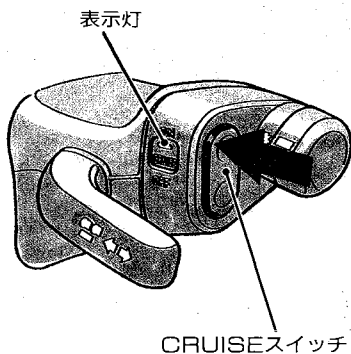
- クルーズコントロールはつぎのような道路では使用しないでください。道路状況によっては、思わぬ事故につながります。
  - ・混んでいて車間距離が十分とれない道路、急カーブのある道路(道路状況にあった速度で走行できません。)
  - ・急な下り坂のある道路(エンジンブレーキが十分効かず、セットした速度を超えてしまうことがあります。)
  - ・凍結や積雪などで滑りやすい道路(タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。)

### 知 識

- 上り坂や下り坂では、条件により、一定車速を保てない場合があります。

### ●希望車速をセットし、定速走行をしたいときの操作

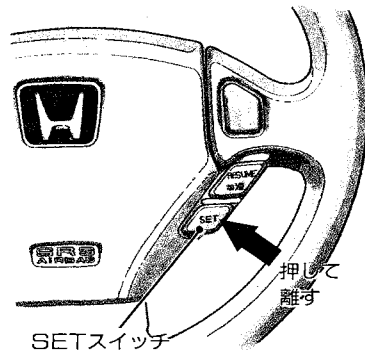
- ① **CRUISE** (クルーズ) スイッチ上部を押して“ON”にします。“ON”のとき表示灯が点灯します。**CRUISE** スイッチ下部を押すと“OFF”になります。



エンジンスイッチを“1”または“0”にすると、**CRUISE** スイッチは自動的に“OFF”になります。クルーズコントロールを使うときは、**CRUISE** スイッチ上部を押して“ON”にしてください。

- ② アクセルペダルを加減して希望の車速になったら**SET** (セット) スイッチを押して離すと、離れたときの車速にセットできます。車速がセットされ自動定速走行になると、メーター内の表示灯が点灯します。

クルーズコントロール作動表示灯  
→59ページ



### 知 識

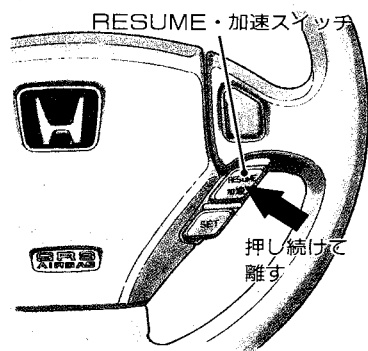
- 自動定速走行をしないときは、安全のため**CRUISE** スイッチを“OFF”にしておいてください。

●設定車速を上げたいときの操作(自動定速走行中)

(RESUME・加速)(リジューム・加速)スイッチによるとき

(RESUME・加速)スイッチを押し続けます。希望車速になったときスイッチを離すと、離れたときの車速にセットされます。

\* RESUME(リジューム)とは英語で“回復する、復帰する”という意味です。



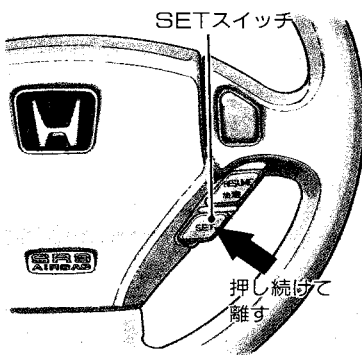
アクセルペダルによるとき

アクセルペダルで加速し希望車速になったとき(SET)スイッチを一度押して離すと、離れたときの車速にセットされます。

●設定車速を下げたいときの操作(自動定速走行中)

(SET)スイッチによるとき

(SET)スイッチを押し続けると減速します。希望車速になったときスイッチを離すと、離れたときの車速にセットされます。



ブレーキペダルによるとき

ブレーキペダルを踏んで希望車速に減速し、ブレーキペダルから足を離してから(SET)スイッチを押して離すと、離れたときの車速にセットされます。

●一時的に加速したいときの操作(自動定速走行中)

アクセルペダルを踏み込むと車速が上がります。アクセルペダルを離すともとの設定車速に戻り、定速走行ができます。

●設定車速を少し上げたいときの操作(自動定速走行中)

(RESUME・加速)スイッチを瞬間的に(約0.5秒間)押して離します。そのときの車速に対して約1.5km/h増速します。

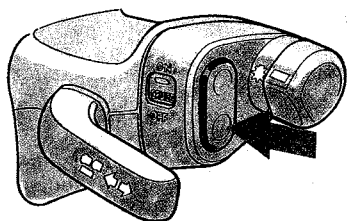
●設定車速を少し下げたいときの操作(自動定速走行中)

(SET)スイッチを瞬間的に(約0.5秒間)押して離します。そのときの車速に対して約1.5km/h減速されます。



### ●自動定速走行状態を解除したいとき

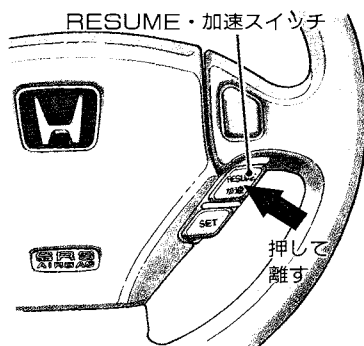
**CRUISE**(クルーズ)スイッチ下部を押して“OFF”にしてください。



次の場合にも解除されます。

- ①ブレーキペダルを踏んだとき
- ②クラッチペダルを踏んだとき  
(マニュアル車)
- ③セレクトレバーを**2**または**N**にしたとき  
(オートマチック車)
- ④車速がセットされた速度より約16 km/h以上下がったとき
- ⑤車速が約30km/hより下がったとき

### ●解除前の設定車速に戻したいとき



前記①、②、③、④いずれかの操作で解除されても車速が、約30km/h以上になっている場合は**RESUME・加速**スイッチを押して離すと、もとの設定車速まで戻り自動定速走行ができます。

### 🚗 アドバイス

- マニュアル車は、ニュートラルのとき**SET**または**RESUME・加速**スイッチを押さないでください。エンジン回転が急激に上がりエンジンに悪影響を与えます。

### 📖 知識

- SET**または**RESUME・加速**スイッチを押しながら前記①、②、③、④いずれかの操作をしたときは**RESUME・加速**スイッチでの車速の復帰はできません。

# NSX

○  
3

## 安全装備



SRSエアバッグシステム ..... 86

シートベルトプリテンショナー ..... 92

アンチロックブレーキシステム  
(ABS) ..... 94

トラクションコントロール  
システム(TCS) ..... 96

その他の安全装備 ..... 98

## SRSエアバッグシステム

(運転席/助手席用シートベルト補助乗員保護装置)

SRSエアバッグシステム装備車

### SRSエアバッグシステムのしくみ

#### ●SRSエアバッグシステムとは

前方向からの衝突により、エアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和する装置です。

SRSエアバッグシステムはシートベルトに代わるものではありません。

必ず、シートベルトを着用してください。

- SRSエアバッグシステム装備車であっても、必ずシートベルトを着用してください。  
シートベルトを正しく着用し、正しい運転姿勢をとらないと衝突などのときにエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

SRS :  
サプリメンタルレストレイントシステム  
(Supplemental Restraint System)  
の略で補助拘束装置の意味

#### ●どのように作動するのか

エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃(正しくシートベルトを着用していてもハンドルに顔面があたり、けがをするような場合)を感知するとシステムが作動し、エアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和します。

### ▲ 注 意

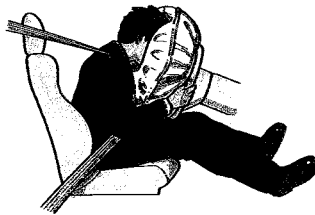
- エアバッグが膨らんだ直後は、エアバッグ構成部品に触れないでください。  
構成部品が熱くなっているため、やけどなど思わぬけがをすることがあります。

## 知 識

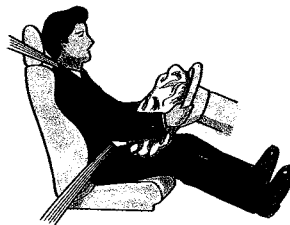
- エアバッグは非常に速い速度で膨らむため、エアバッグとの接触によりすり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。
- 膨らんだエアバッグはすぐにしぼみます。視界をさまたげません。
- エアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響はありません。ただし、残留物(カスなど)が目や皮膚などに付着したときには、できるだけ早く水で洗い流してください。皮膚の弱いかなどは、まれに皮膚を刺激することがあります。
- エアバッグは一度膨らむと再使用できません。ホンダベルノ店で交換してください。

## 運転席用SRSエアバッグシステム

作動時



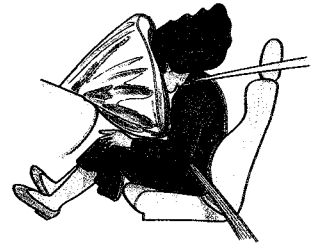
作動後



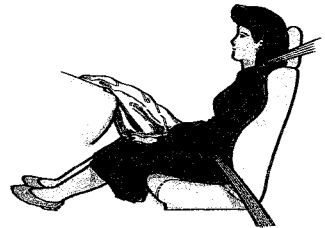
## 助手席用SRSエアバッグシステム

助手席用SRSエアバッグシステムは、同乗者がいなくても作動します。

作動時



作動後



## 作動するとき、しないとき

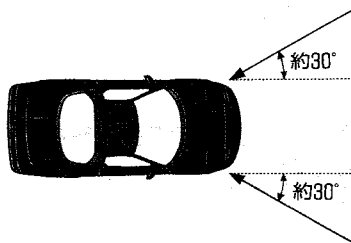
### ●作動するとき

次のような場合に作動します。

20～30km/h以上の速度で、きわめて厚い固定されたコンクリートの壁に真正面から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたとき



車両の前方左右約30度以内の方向から強い衝撃を受けたとき

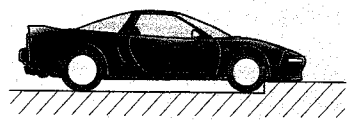


### 知 識

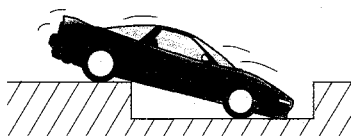
- 衝撃を吸収できるもの(車やガードレールのように変形するもの)に衝突した場合、エアバッグが作動するときの速度(車速)は高くなります。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたときに作動することがあります。車両に衝撃を受けないように十分に速度を落とし障害物をさけて走行してください。

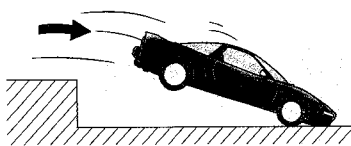
縁石などに衝突したとき



深い穴や溝などに落ちたとき



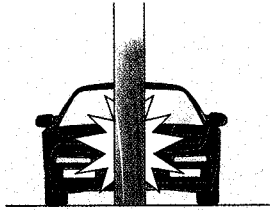
高いところから落ちたとき



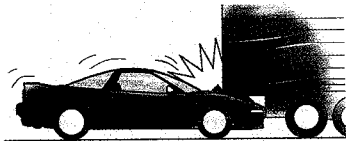
## ●作動しにくいとき

次のような場合、作動しないことがあります。

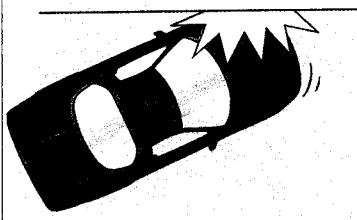
電柱、立木などへの衝突



トラックなどへの潜り込み



部分的な衝突や斜め方向からの衝突



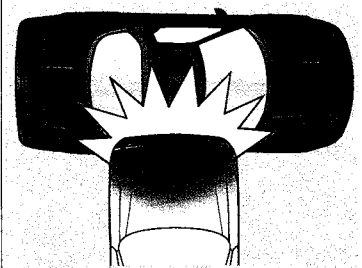
## 知 識

- エアバッグは乗員の受ける衝撃の大きさによって作動するようになっていますので車両の損傷状態の大小とエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

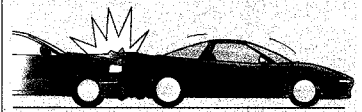
## ●作動しないとき

シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突や次のような場合、エアバッグが膨らんでも乗員保護の効果が無いので作動しません。ただし、状況によってはエアバッグが作動することがあります。

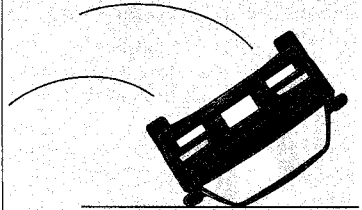
横方向からの衝突



後部からの衝突



横転又は転覆



## SRSエアバックシステムの効果を十分に発揮させるために

### ●正しい乗車姿勢で

#### 運転席

正しい運転姿勢(シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込み、ハンドルが楽に操作できる状態)がとれる状態で、シートを後ろに下げます。



- ハンドルに顔や胸などを近づけていると、エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。

### 助手席

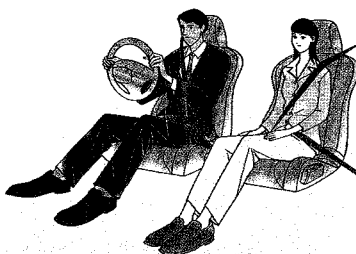
シートを後ろに下げて深く腰かけ、背中を背もたれから離さないようにします。



- インストルメントパネルに顔や胸などが近づかないようにシートを後ろに下げてください。また、インストルメントパネルに手や足を置かないでください。エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。

### ●シートベルトは必ず着用

このシステムは、シートベルトと併用することでその効果を発揮します。必ず、シートベルトを着用してください。



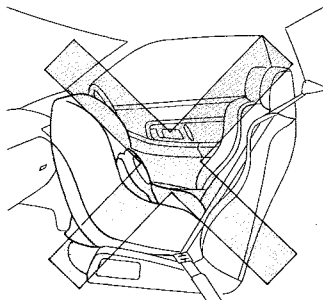
## お子さまを乗せるときは

お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。

正しく着用できない小さなお子さまは、体格に合わせてチャイルドシートなどをお使いください。

### ●チャイルドシートなどの取り付けについて

- 助手席にはベビーシートを取り付けしないでください。また、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けたりしないでください。エアバッグが膨らむ際、ベビーシートや、チャイルドシートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。



- シートベルトが正しく着用できないようなお子さまと一緒に乗るときは、ベビーシートやチャイルドシートなどを取り付けられる別の車をお使いください。

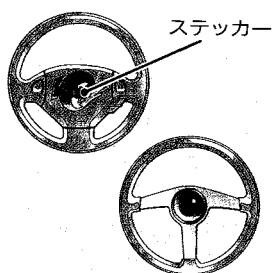
## 知 識

- NSXの場合、タイプによってベビーシートやチャイルドシートなどを取り付けられない場合がありますので、ご購入、ご使用に際してはホンダベルノ店にご相談ください。

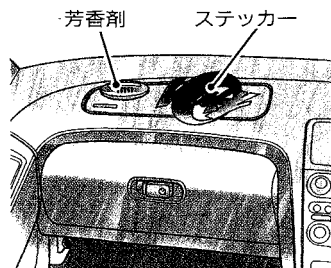
## 取り扱いについて

### ▲ 注 意

- エアバッグの取り外し、分解などはいけません。  
不適切に行くと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。
- ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりすると正常に機能しなくなります。



- インストルメントパネル上面にステッカー類を貼ったり、アクセサリや芳香剤など物を置かないでください。  
フロントガラスにアクセサリなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。  
また、エアバッグと乗員との間にテレビなどの用品を取り付けたり、物を置いたりしないでください。  
正常に機能しなくなり、作動時にこれらの物がとぶことがあります。



### 知 識

- ハンドルまわり、インストルメントパネルまわりやセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよびダッシュボード周辺の板金塗装および修理をする場合は、SRSエアバッグシステムに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずホンダベルノ店にご相談ください。
- SRSエアバッグシステム装備車を廃棄するときは必ずホンダベルノ店にご相談ください。正しく取り扱いしないとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。
- サスペンションの改造をしないでください。車高やサスペンションの硬さが変わるとエアバッグの誤作動につながります。(ホンダ純正品を除く)

### ● SRSエアバッグシステム警告灯

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。

SRSエアバッグシステム警告灯



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒点灯して消えるのが正常です。

### 🚗 アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。
  - ・運転中に点灯した。
  - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき  
必要なときにエアバッグが膨らまないおそれがあります。



# シートベルト プリテンショ ナー

## シートベルト プリテンショナーの しくみ

### ●シートベルト プリテンショナーとは

前方向からの衝突により、シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高める装置です。

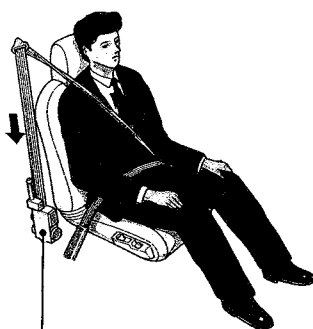
SRSエアバッグシステムと同じ条件で作動します。

SRSエアバッグシステム

→86ページ

### ●どのように作動するのか

エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃を感知するとシステムが作動し、シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高めます。



シートベルトプリテンショナー

## ▲注 意

- シートベルトを着用するときは、必ず次のことをお守りください。  
守らないとプリテンショナーが十分に効果を発揮しません。
- ・シートベルトを正しく着用してください。

シートベルト→51ページ

- ・正しい運転(乗車)姿勢をとってください。

正しい運転姿勢→47ページ

## 知 識

- シートベルトプリテンショナーは一度作動すると、再使用できません。作動するとシートベルトを引き出すことも巻き取ることもできなくなります。ホンダベルノ店で交換してください。

なお、シートベルトを着用していなくても作動しますので、助手席側も同時に交換してください。

**取り扱いについて****▲ 注 意**

- シートベルト引き込み装置の取り外し、分解などはいけません。不適切に扱えば誤って作動したり、正常に機能しなくなります。

**🎓 知 識**

- シートベルト引き込み装置やセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよび修理をする場合は、プリテンショナーに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずホンダベルノ店にご相談ください。
- シートベルトプリテンショナー装備車を廃棄するときは、必ずホンダベルノ店にご相談ください。正しく取り扱わないとプリテンショナーとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。

## アンチロック ブレーキ システム (ABS)

### ABSのしくみ

#### ●ABSとは

急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとする装置です。

#### ●作動について

- ・ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。これはABSが作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。



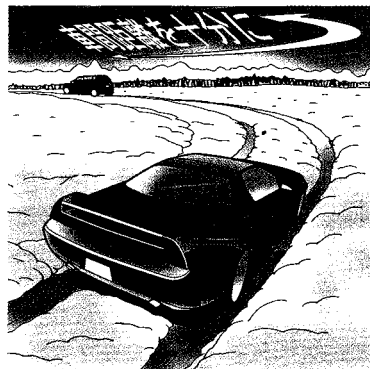
- ・低速(約10km/h以下)ではABSは作動せず、普通のブレーキと同じ作動になります。

#### 知 識

- エンジン始動時や、エンジンが冷えているときの発進時に、フロントコンパートメントからモーター音等が聞こえることがありますが、これはシステムの動作をチェックしている音で異常ではありません。

### 運転しかた

- ・この装置は制動距離を短くするためのものではありません。ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすくなるほど長い制動距離が必要になります。またABSが作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、ハイドロプレーニング現象が起こりやすい雨天時の高速走行などにおいても過信せず、安全運転に心がけてください。
- ・悪路、砂利道、深い新雪などの路面では、ABSの装備されていない車両に比べて制動距離が長くなることがあります。このような道路条件では速度は控えめにし、車間距離を十分にとって運転してください。



## 取り扱いについて

### 知 識

- タイヤは必ず指定サイズのものをお使いください。指定サイズ(外径)以外のタイヤを使用すると、ABSが正常に機能なくなることがあります。

### ●アンチロックブレーキシステム(ABS)警告灯

メーター内に組み込まれており、ABSが異常のときに点灯します。

アンチロックブレーキシステム警告灯



エンジンスイッチを「II」にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。

また、運転中に数秒間点灯してもすぐ消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。

### アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。
    - ・運転中に点灯したとき
    - ・エンジンスイッチを「II」にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき
- なおこの場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。(ABSとしての作動はしません)

## トラクション コントロール システム (TCS)

### TCSのしくみ

#### ●TCSとは

滑りやすい路面などでの駆動輪(後輪)の無駄な空転を防止し、駆動力・操舵能力を確保しようとする装置です。

#### ●作動について

この装置は、エンジンを始動すれば自動的に“ON”になります。

TCSが作動中は、メーター内のTCS警告灯が点滅します。

TCS警告灯



### 運転しかた

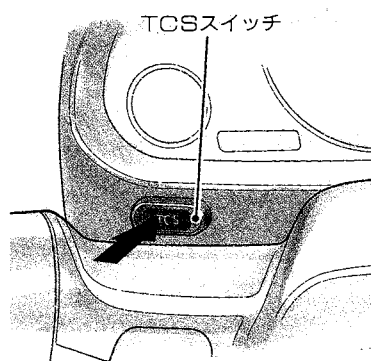
TCSには、積極的にブレーキをかける機能はありません。

TCSが作動していても、これを過信して無理な運転はしないでください。

- ・カーブ等の手前では十分に速度を落としてください。
- ・雪道、凍結路を走るときは、冬用タイヤまたはタイヤチェーンを装着し、ひかえめな速度で運転してください。

### TCSを作動させたくないとき

エンジン始動後に、スイッチを押すとTCSが“OFF”になりメーター内の警告灯が点灯します。



スイッチを押すごとに“OFF”と“ON”をくり返します。

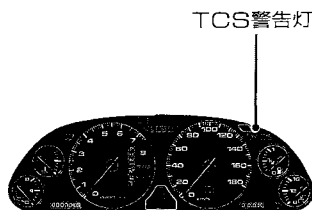
### 知 識

- TCSが作動中には、スイッチを押しても“OFF”にすることはできません。

## 取り扱いについて

### ●トラクションコントロールシステム(TCS)警告灯

メーター内に組み込まれており、TCSが異常のときに点灯します。また、TCSを“OFF”にしたときも点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたときに点灯し、エンジン始動後に消灯するのが正常です。

### 🚗 アドバイス

- TCSが“ON”の状態運転中に点灯した場合は、いったん安全な場所に停車し、エンジンを止めてください。エンジン再始動後、一度点灯し、その後消灯していれば正常です。消灯しないときや走行中再び点灯するときは、通常走行に支障はありませんが、お早めにホンダベルノ店で点検を受けてください。

### 🎓 知 識

- エンジン始動後に、エンジン冷却水の温度が非常に低いときには自動的に“OFF”になることがあり、メーター内のTCS警告灯が点灯しますが、異常ではありません。この場合、エンジンを暖機している間に自動的に“ON”になります。

### その他の安全装備

ほかに、次のような安全装備を採用しています。

#### ●シフトロック装置

オートマチック車

セレクトレバーの誤操作防止を助けます。

(⇒22ページ)

#### ●ハイマウントストップランプ

ストップランプを高い位置にも設置し、後方から見えやすくしています。

#### ●シートベルト警告灯

シートベルトの未着用をランプで知らせ、ベルトの着用を促します。

(⇒62ページ)

#### ●ドアビーム

側面から外力が加わったときに、ドアの変形を抑える効果があります。

#### ●ロールオーバーバルブ

車が転倒したとき、燃料タンクからの燃料流出を防止します。

#### ●難燃性材料使用の内装

フロアカーペットやシートなどには、燃え広がりにくい素材を採用しています。

# NSX

# ○ 4

## ドライブを快適にする装備



### ヒーター・エアコン

|          |     |
|----------|-----|
| 吹き出し風の調節 | 100 |
| オートエアコン  | 101 |
| オートヒーター  | 105 |

### オーディオ

|                                            |     |
|--------------------------------------------|-----|
| 上手な使いかた                                    | 108 |
| アンテナ                                       | 109 |
| AM/FMラジオ一体式カセットステレオ<br>(CDチェンジャーコントローラー内蔵) | 110 |

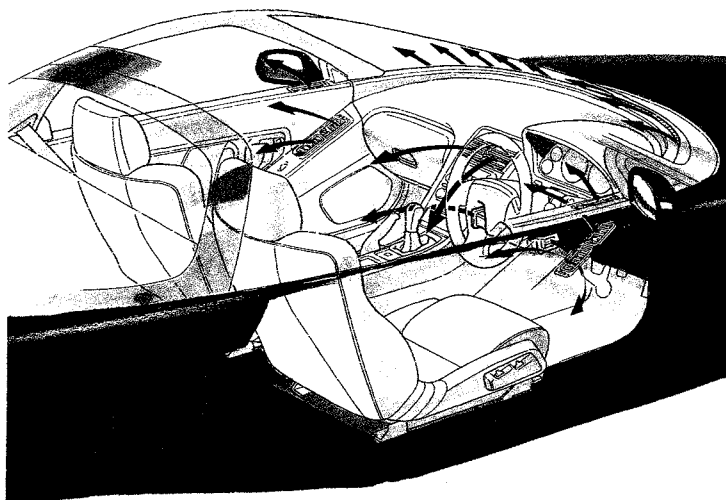
|            |     |
|------------|-----|
| セキュリティシステム | 118 |
|------------|-----|

### 室内装備品

|           |     |
|-----------|-----|
| 時計        | 119 |
| 室内灯       | 120 |
| スポットランプ   | 120 |
| 照明灯       | 120 |
| 灰皿        | 121 |
| シガレットライター | 121 |
| サンバイザー    | 122 |
| 小物入れ      | 123 |
| カップホルダー   | 123 |

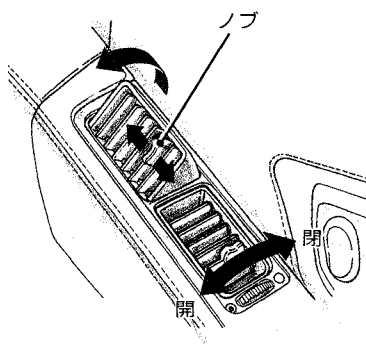


## ヒーター・ エアコン

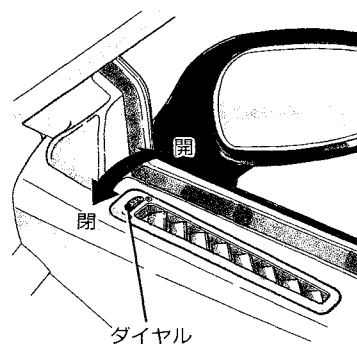


### 吹き出し風の調節

側面の吹き出し口からの送風が必要なときには、ダイヤルを“開”に、不要なときには“閉”にします。



ノブを上下または前後に動かして、吹き出し風の向きを調節します。



### 知 識

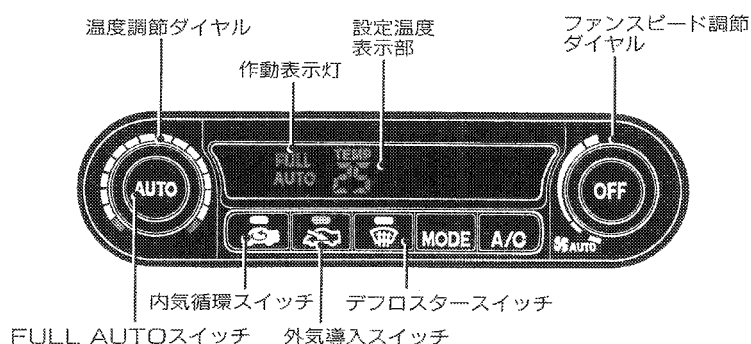
- 側面ガラスが曇ったときは、吹き出し風がガラスに当たるようダイヤルを“開”にすれば、より早く曇りを取ることができます。

## オートエアコン

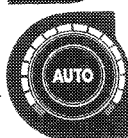
タイプ別装備

このオートエアコンは自動でも手動でも使うことができます。

### ●自動で使う場合



ファンスピード調節ダイヤルを“OFF”にします。



“AUTO”スイッチを押してから温度調節ダイヤルを回して希望する温度を設定します。

設定温度表示部に“18”または“32”の表示を出して使った場合には、自動制御されずに最大冷房または最大暖房のはたらきをします。

### 知 識

- 外気温によっては、冷風の吹き出しを防ぐため、オートエアコン作動後一定時間ファンが回転しないことがあります。
- 希望の温度に設定したら、温度調節ダイヤルをむやみに動かさないでください。設定温度への到達時間が長くなることがあります。
- 長時間、冷風を直接体に当てないでください。冷やしすぎは健康上良くありません。
- 炎天下に駐車していたときは、熱気を追い出すため窓を開け、冷房を開始してください。

### 内外気の切り換え

“FULL AUTO”で使用中、次のスイッチを押すと



内気循環

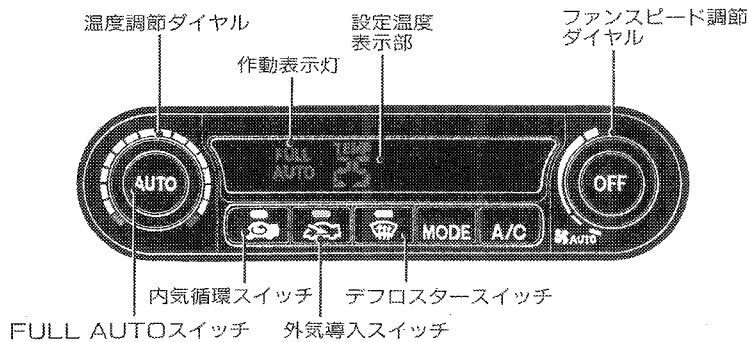


外気導入

になります。このとき“FULL”の作動表示灯は消えますが、内外気を選択以外は自動制御されます。

“FULL AUTO”(自動)に戻したいときは“AUTO”スイッチを押します。

“FULL AUTO”で使用中は、ガラスの曇りを防ぐため、特定の場を除いては外気導入を自動選択しています。トンネルや渋滞地域などで外気が汚れているときに、一時的に内気循環にしたい場合などに“”を押してください。



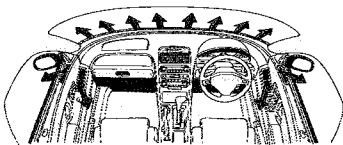
### 前面／側面ガラスの霜取り(デフロスター)、曇り止め

“FULL AUTO”で使用中、

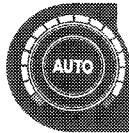


ボタンを押すと、下図の

ように風が吹き出してガラスの曇りを取ります。このとき“FULL”の作動表示灯は消えますが、吹き出し口の選択以外は自動制御されます。



急速に霜を取りたいときは、



温度調節ダイヤルを回して最大温度(32°C)に設定し、



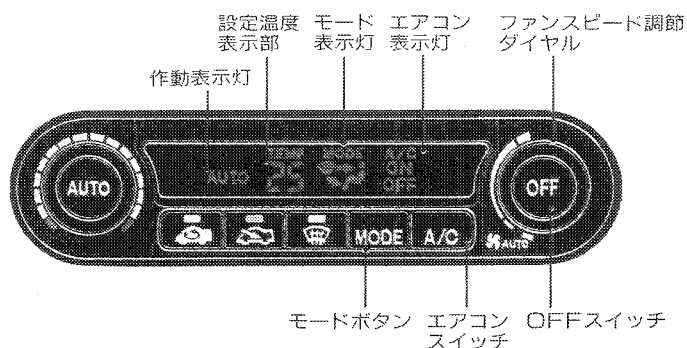
を押して内気循環にします。

“FULL AUTO”(自動)に戻したいときは“FULL AUTO”スイッチを押します。

### 知識

- デフロスタースイッチを入れているときは、設定温度を最大冷房付近にしないでください。冷風が前面ガラスにあたると、ガラスの外側が曇ることがあり、視界のさまたげになります。
- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界のさまたげになります。一度霜を取った後は、外気導入で使ってください。

## ●手動で使う場合



手動で操作したい場合は、パネルの操作ボタンで行います。

“FULL AUTO”(自動)で使用中でも押したボタンの機能が優先されます。このとき“FULL”の作動表示灯は消えますが、押したボタン以外は自動制御されます。

“FULL AUTO”に戻したいときは“AUTO”スイッチを押してください。

## 吹き出し口の切り換え

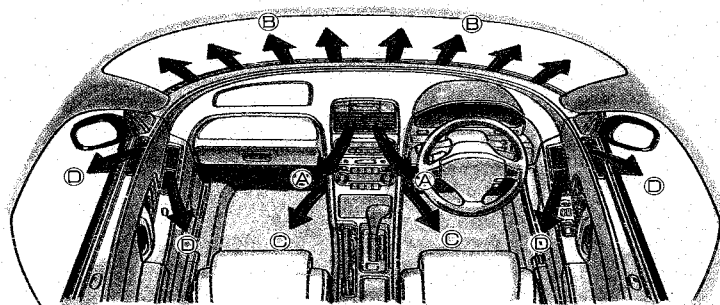
**MODE**

ボタンを押すと、吹き出し口の切り換えができます。

モードボタンを押すたびにパネルの表示が換わり、吹き出し口も下図のようになります。

| 表 示 | 吹き出し口   |
|-----|---------|
|     | ①・②・③   |
|     | ①・③・④   |
|     | ②・③・④   |
|     | ①・②・③・④ |

表示がどの位置でも④からは風が出ます。吹き出し風調節ダイヤルで吹き出し量を調節します。



## エアコンスイッチ

冷房効果や除湿効果を得たいときには“ON”にし、不要のときは“OFF”にします。

**A/C**

スイッチを押すたびに“ON”と“OFF”をくり返します。

## ファンスピード調節ダイヤル



“AUTO”位置から動かして、ファンのスピードを10段階に調節できます。

ダイヤルを“AUTO”に戻すとファンスピードは自動制御に戻ります。

### ●停止するとき



“FULL AUTO”（自動）で使用中でも、手動で使用中でも“OFF”（切）スイッチを押せばすべての機能が停止します。

### ●冷房を常用しない場合の手入れ

装置各部のオイルをきらさないために、ときどきエンジンを低回転させた状態で、数分間冷房または除湿暖房してください。



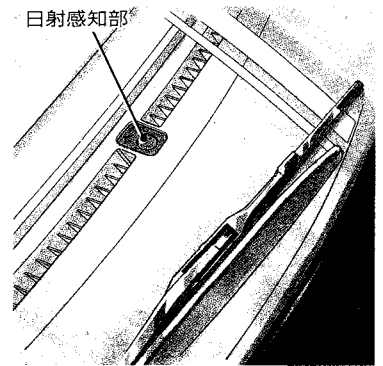
スイッチを押して作動させます。

### 知 識

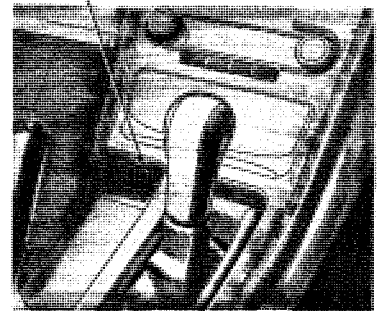
- 室内の温度が低い場合は、エアコンが作動しないことがあります。このような場合は内気循環で室内を暖めてからエアコンスイッチを入れますと作動します。

### ●温度感知装置

オートエアコンには、温度感知装置などのセンサーがついています。日射感知部や車内温度感知部の上に物を置いたり、水をかけたりしないでください。車内温度が設定温度とずれることがあります。



車内温度感知部

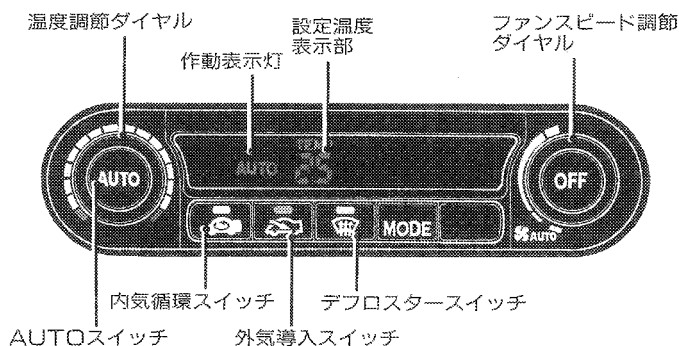


## オートヒーター

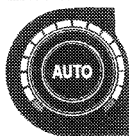
タイプ別装備

オートヒーターは、エアコンが装備されていないので、冷房機能はありません。

### ●自動で使う場合



ファンスピード調節ダイヤルを“OFF”にします。



“AUTO”スイッチを押してから温度調節ダイヤルを回して希望する温度を設定します。

設定温度表示部に“18”または“32”の表示を出して使った場合には、自動制御されずに送風(FAN Lo)またはヒーター能力最大に固定されます。

### 内外気の切り換え

次のスイッチを押すと



内気循環



外気導入

になります。

ガラスの曇りを防ぐため、通常は外気導入を選択してください。急速に暖房したいときや、トンネル・渋滞地域などで外気が汚れているときなど、一時的に内気循環を選択したい場合に“”を押してください。

### 知 識

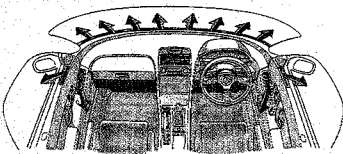
- 外気温によっては、冷風の吹き出しを防ぐため、オートヒーター作動後一定時間ファンが回転しないことがあります。
- 希望の温度に設定したら、温度調節ダイヤルをむやみに動かさないでください。設定温度への到達時間が長くなる場合があります。

**前面／側面ガラスの霜取り(デフロスター)、曇り止め**

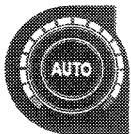


ボタンを押すと、下図の

ように風が吹き出してガラスの曇りを取ります。このとき“AUTO”の作動表示灯は消えますが、吹き出し口の選択以外は自動制御されます。



急速に霜を取りたいときは、



温度調節ダイヤルを回して最大温度(32°C)に設定し、



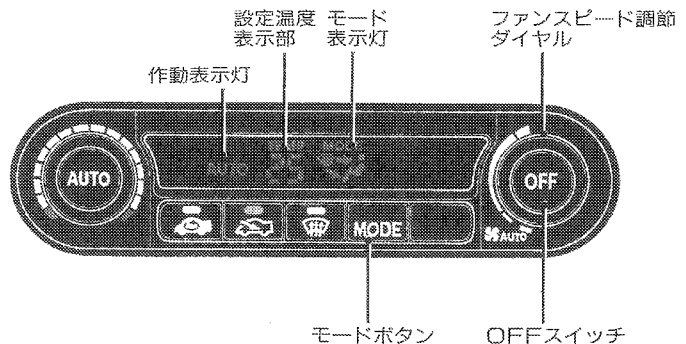
を押して内気循環にします。

“AUTO”(自動)に戻したいときは“AUTO”スイッチを押します。

**知 識**

- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界のさまたげになります。一度霜を取った後は外気導入で使ってください。

**●手動で使う場合**



手動で操作したい場合は、パネルの操作ボタンで行います。

“AUTO”(自動)で使用中でも押したボタンの機能が優先されます。このとき“AUTO”の作動表示灯は消えますが、押したボタン以外は自動制御されます。

“AUTO”に戻したいときは“AUTO”スイッチを押してください。

**吹き出し口の切り換え**

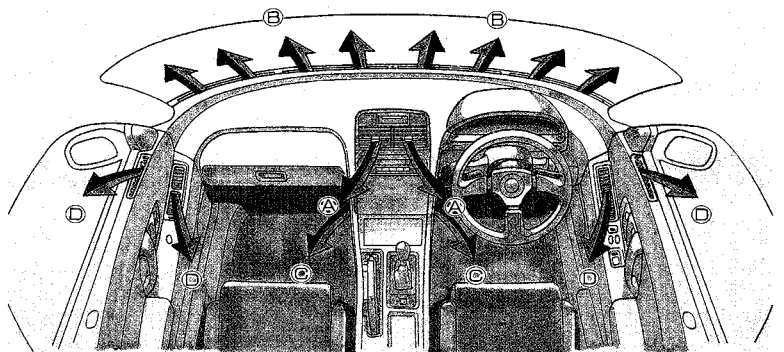


ボタンを押すと、吹き出し口の切り換えができます。

モードボタンを押すたびにパネルの表示が換わり、吹き出し口も下図のようになります。

| 表 示 | 吹き出し口     |
|-----|-----------|
|     | Ⓐ ・ ・ ㉔   |
|     | Ⓐ ・ ㉔ ㉕   |
|     | ・ ・ ㉔ ㉕   |
|     | ・ ㉑ ㉒ ㉓ ㉕ |

表示がどの位置でも㉔からは風が出ます。吹き出し風調節ダイヤルで吹き出し量を調節します。



**ファンスピード調節ダイヤル**

“AUTO” 位置から動かして、ファンのスピードを10段階に調節できます。

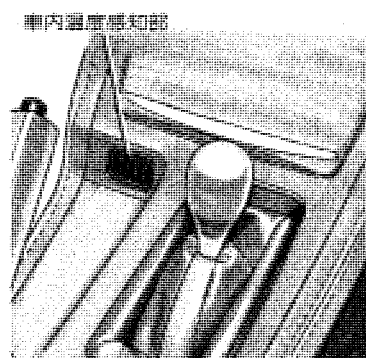
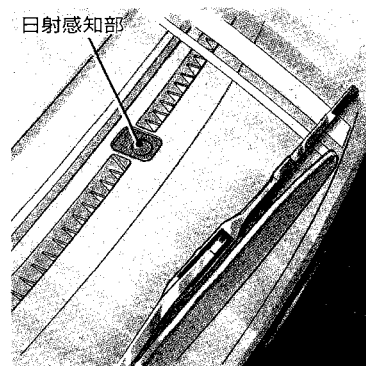
ダイヤルを“AUTO”に戻すとファンスピードは自動制御に戻ります。

**●停止するとき**

“AUTO”（自動）で使用中でも、手動で使用中でも“OFF”（切）スイッチを押せばすべての機能が停止します。

**●温度感知装置**

オートヒーターには、温度感知装置などのセンサーがついています。日射感知部や車内温度感知部の上に物を置いたり、水をかけたりしないでください。車内温度が設定温度とずれることがあります。





## オーディオ

### 上手な使いかた

#### 知 識

- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態では安全運転のさまたげとなります。また、運転中のオーディオ操作は、安全運転に支障がないようにしてください。
- 車内や車の近くで携帯電話や無線機を使うとオーディオに雑音が入ることがあります。

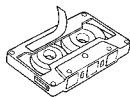
#### ●ラジオについて

ラジオの受信については、車の走行にともない受信状態が刻々と変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

#### ●カセットについて

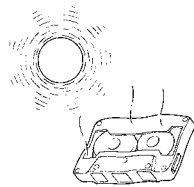
次のようなカセットテープは、故障の原因になりますので、ご使用は避けください。

- ・ラベルがはがれかけていたり変形したカセットテープを使用すると、回転不良を起こしたりテープが取り出せなくなる場合があります。

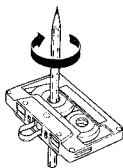


- ・120分以上のテープは非常に薄いため、伸びたり、プレーヤーに巻き付いたりする場合があります。

カセットテープは、変形したり録音が消えてしまわないようにほこり、直射日光や磁気のあるものの近くを避けてケースに入れ保管してください。



カセットテープは、プレーヤーにテープが巻きこまれたりしないように、鉛筆などでたるみをとってから差し込んでください。



音が歪んだり高音が出にくくなった場合は、市販のクリーニングテープなどでプレーヤーの手入れをしてください。

#### ●CDについて

下記のマークのついていないディスクおよび円形以外のディスクは使えません。



ディスクの信号面は直接手で触れないでください。指紋等の汚れが付くと、音とびなどをすることがあります。

ディスクの変形を避けるため、直射日光や高温多湿を避けてケースに入れ保管してください。

悪路走行などで激しく振動した場合、音とびすることがあります。

寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露(水滴)が生じ、正しく作動しなくなることがあります。その場合、ディスクを取り出し、換気または除湿をしてからお使いください。

#### 知 識

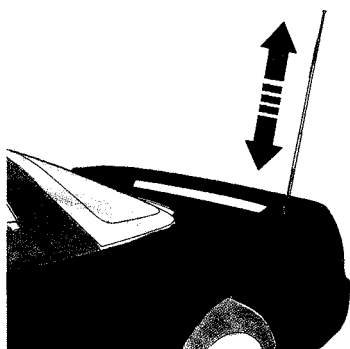
- ディスクは必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因となります。

## アンテナ

タイプ別装備

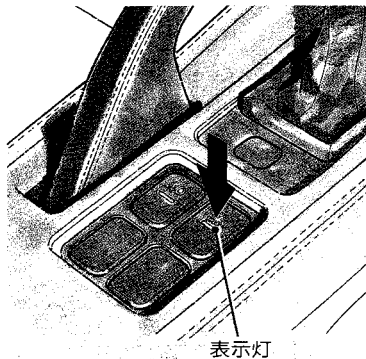
### ●オートアンテナ

エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のとき、ラジオのスイッチを入れるとアンテナが自動的に伸びます。ラジオのスイッチを切るとアンテナは自動的に収納されます。



### ハーフスイッチ

このアンテナは長さを2段階に調節できます。通常は全部伸ばして使います。屋根の低い場所へ入るときなどにはハーフスイッチを押すと、表示灯が点灯し、約20cm縮みます。またハーフスイッチを始めから押しておく、ラジオの電源を入れたときも全部は伸びません。

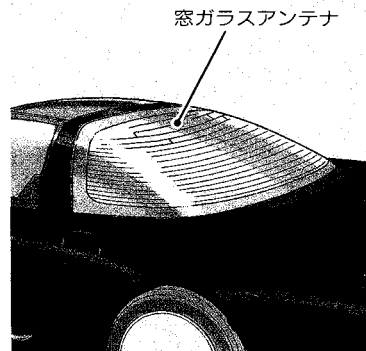


### 知 識

- アンテナの付近に人がいないことを確認してから、アンテナを作動させてください。
- 屋根の低い場所、洗車場などではアンテナを伸ばしたままにしないでください。アンテナを曲げたりすると伸縮性を損います。
- アンテナ表面が汚れていると作動性を損ない故障の原因となりますので、ときどき清掃してください。

### ●窓ガラスアンテナ

リヤウィンドーの内側にアンテナ線があります。



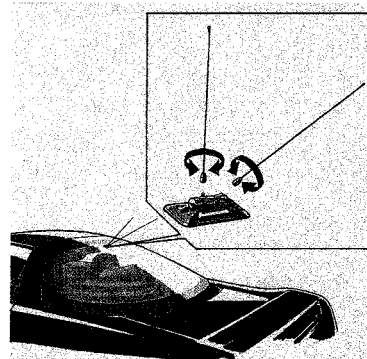
### 知 識

- アンテナ線は傷つきやすいので、清掃のときはアンテナ線に沿って柔らかい布でふいてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。

### ●センターアンテナ

ナビゲーションシステム装備車

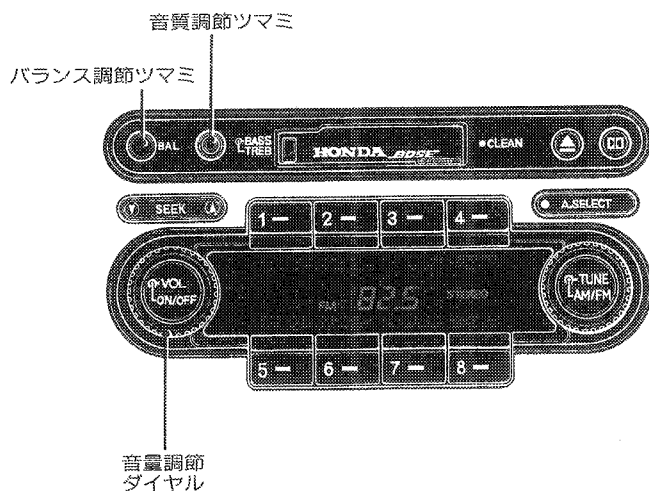
自動洗車機を使う場合や屋根の低い場所などでは、アンテナを外してください。



## AM/FMラジオ体式 カセットステレオ

タイプ別装備

### ●音量、音質、バランス調節のしかた



#### 音量調節



ダイヤルを回して調節します。

音量は右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

#### 音質調節



を押すととび出し、調節できます。

ツマミを左右に回すと、低音と高音の音質が調節できます。ツマミはもう一度押すと元の位置にもどります。



低音調節ツマミ



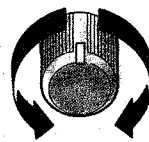
高音調節ツマミ

#### バランス調節



を押すととび出し、調節できます。

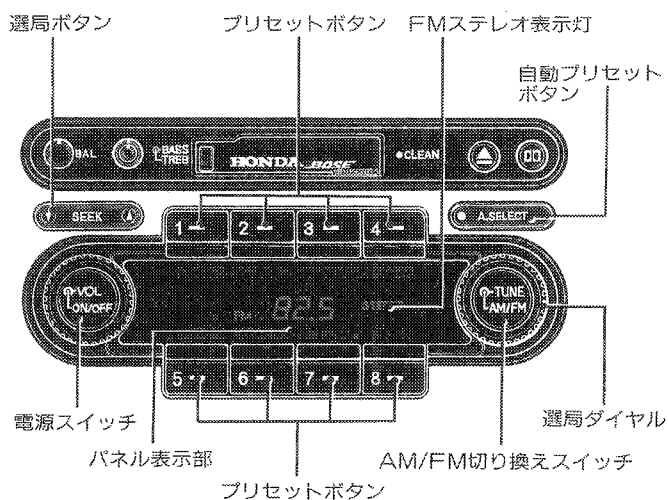
ツマミを左右に回すと、左右スピーカーの音量バランスが調節できます。ツマミはもう一度押すと元の位置にもどります。



夜間、カセットステレオの照明を消灯させたい場合は、ツマミを引いてください。

表示部および機能しているボタンの表示灯を残し、消灯します。

## ●ラジオの使いかた

電源

エンジンスイッチが「I」または「II」のとき、



を押せば電源が入り、もう一度押せば切れます。

AM/FMの切り換え

を押すと、AM/FMが交互に切り換わり、パネル表示部の表示灯「AM」「FM」が点灯します。

FMステレオ放送が感度よく受信できたときは、パネル表示部のFMステレオ表示灯「STEREO」が点灯します。

## 選局のしかた

### ・手動選局



を回すと周波数が少しずつ変わり選局できます。

周波数の高い方へ選局するときは右へ回します。

周波数の低い方へ選局するときは左へ回します。

### ・自動選局



を押すと自動選局し、放送を受信すると止まります。

周波数の高い方へ選局するときは右側(▲)を押します。

周波数の低い方へ選局するときは左側(▼)を押します。

### 知 識

- 受信電波が弱いときは、自動選局できないことがあります。このようなときは手動で選局してください。

### ・ワンタッチ選局



プリセットボタンを押すとあらかじめセットされた放送が受信できます。

#### 〈セットのしかた〉

プリセットボタンにAM/FM各8局まで記憶させることができます。

1.



または

で選局します。

2. プリセットボタンのいずれか一つを“ピッ”という電子音がするまで(約2秒間)押し続けます。

### 知 識

- 一度電源が切れた場合(バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど)、記憶が消去されます。その時は再度記憶操作をしてください。

## 自動プリセット操作

放送局の違う地域へでかけたときなど、セットされた放送局が聞けなくなったときに操作します。



を押すとボタン内の表示灯が点滅し、自動選局を始めます。自動選局された電波の強い放送局が、周波数の低い順からプリセットボタンにAM/FM各8局まで自動的に記憶され、ボタン内の表示灯が点滅から点灯に変わります。

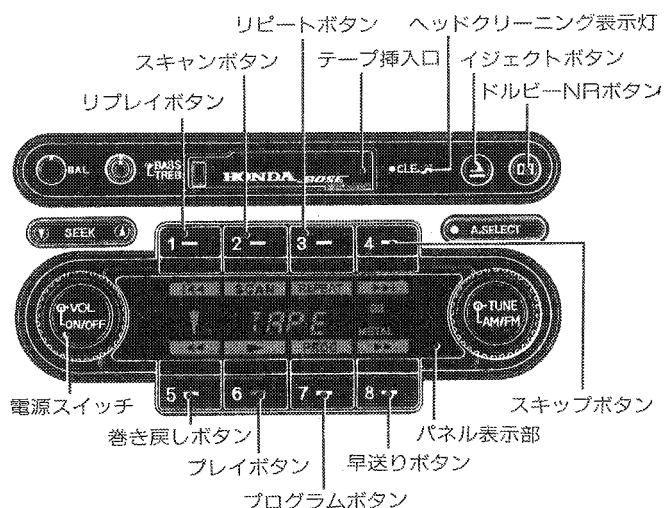


をもう一度押すと、表示灯は消灯し、プリセットボタンの記憶は、あらかじめセットされていた状態にもどります。

### 知 識

- 放送局が8局にみえない場合、残りのプリセットボタンには何も記憶されません。記憶されていないボタンを押すと周波数が“ ”と表示されます。  
(例)  
放送局が6局の場合、1から6のボタンを押すと周波数が表示され、7と8のボタンを押すと、“ ”が表示されます。

## ●カセットプレーヤーの使いかた



### 電源

エンジンスイッチが「I」または「II」のとき、



を押してラジオの電源を入れます。

カセットテープを挿入口に差し込むと、演奏が開始されます。

テープ演奏中は、パネル表示部に「TAPE」と、「▲」または「▼」のテープ走行表示灯が点灯します。

### 演奏の停止



を押してカセットテープを取り出します。

カセットテープを取り出すと、ラジオ放送に切り換わります。

### プログラムの切り換え

テープの片面の演奏が終了すると、自動的にもう一面の演奏を開始します。



を押すと、演奏の途中で切り換えることができます。

## 早送り、巻き戻し

早送り、巻き戻しは、次のボタンを押して操作をします。ボタンを押すと表示灯が点滅します。



早送り



巻き戻し



を押すと早送り、巻き戻しを止め、演奏を再開します。

## リピート



を押すと、ボタン内の表示灯が点灯し、もう一度リピートボタンを押すまで、演奏中の曲を繰り返し聞くことができます。

## 知 識

- 次の場合、リピート機能がはたらかないことがあります。
  - ・ 曲と曲の間の音が無い部分が4秒以下のとき。
  - ・ 曲と曲の間に雑音が入っているとき。
  - ・ 曲の途中で音が無い部分があるとき。

## リプレイボタン



を押すと、ボタン内の表示灯が点滅し、演奏中の曲の初めまで巻き戻され、再度聞くことができます。

## スキップ



を押すと、ボタン内の表示灯が点滅し、曲の途中で次の曲に移ることができます。

## スキャン(頭出し)



を押すと、ボタン内の表示灯が点灯し、テープは早送りされて、曲と曲の間の“あき”(4秒以上音のない部分)を見つけ出し、曲のはじめを10秒間演奏します。

早送りされている間、スキップボタンの表示灯は点滅します。

聞きたい曲であれば、もう一度“SCAN”ボタンを押してください。通常の演奏状態に戻ります。

10秒間演奏した後、さらに早送りされて“あき”を見つけ出して再び10秒間演奏します。表示灯が点灯している間は、この動作が繰り返し行われます。

この機能を解除するときは、もう一度“SCAN”ボタンを押してください。

## 知 識

- 次の場合、スキャン機能がはたらかないことがあります。
  - ・ 曲と曲の間の音が無い部分が4秒以下のとき。
  - ・ 曲と曲の間に雑音が入っているとき。
  - ・ 曲の途中で音が無い部分があるとき。

## オートテープセクター

ノーマルテープ、クロームテープ、メタルテープが使えます。クロームテープ、メタルテープ使用時にはパネルの表示部に“METAL”(メタル表示灯)が点灯します。

## ドルビーNR

ドルビーNR再生をするには、



を押します。ボタンを押すとパネル表示部に表示灯が点灯します。

ドルビーNR録音されたテープを再生する場合、高域雑音の少ない演奏が楽しめます。

ドルビーNR録音されていないテープを再生する場合は、ドルビーボタンを押して表示灯を消灯させ、ドルビーNR再生を解除します。

※ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。  
ドルビー、DOLBY及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの登録商標です。

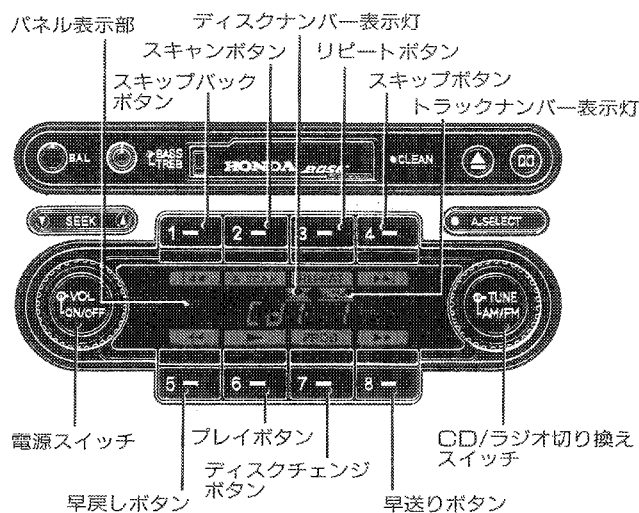
## ヘッドクリーニング表示灯

テープ演奏が50時間を超えると、ヘッドクリーニング表示灯が点灯します。市販のクリーニングテープなどでプレーヤーの手入れをしてください。

ヘッドクリーニング表示灯を3秒以上連続して押せば消灯します。

## ●CDチェンジャーコントローラーの使いかた

CDチェンジャー装備車



## 電源

エンジンスイッチが「I」または「II」のとき、



を押してラジオの電源を入れます。



を押して、パネル表示部に「Cd」を表示させます。

パネル表示部にディスク及びトラックナンバーが表示され、演奏が始まります。

## 演奏の停止



を押すとラジオに切り換わります。



を押すと電源が切れます。

または、エンジンスイッチを切ると電源が切れます。



### ディスクの呼び出し

CDチェンジャー内のディスクマガジンにセットされた6枚のディスクの中から演奏させたいディスクを呼び出すことができます。



を押してディスクを選びます。

パネル表示部にディスクナンバーが表示され、初めの曲から演奏が開始されます。

### 早送り、早戻し



を押し続けると早送りされ、



を押し続けると早戻しされます。

それぞれのボタンを離すと、演奏が再開されます。

### 知 識

- 早送り、早戻しは、1枚のディスクの中だけで機能します。
- 最後まで送ったときや、最初まで戻したときには早送り、早戻しはできません。

### リピートボタン



を押すとボタン内の表示灯が点灯し、演奏中の曲を繰り返し演奏することができます。

もう一度ボタンを押すと、リピート機能は解除されます。

### スキップボタン

曲の途中で始めから聞きたいときや、別の曲に移りたいときに使います。



を押すと、演奏中の曲の初めに戻り、1秒以内にもう1回押すと前の曲になります。

パネル表示部のトラックナンバーが“1”のときは、演奏中のディスクの最後の曲になります。



を押すと、次の曲に移ります。

パネル表示部のトラックナンバーが演奏中のディスクの最後の曲のときは、そのディスクの一曲目になります。

### スキャンボタン

ディスクにどんな曲が入っているのか知りたいときなどに、スキャン機能を使います。



を押すと、各曲の初めの部分を約10秒間、つぎつぎと演奏します。

スキャン機能を解除する場合は、スキャンボタンをもう一度押すか、



を押すと解除され、その曲の演奏を開始します。

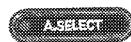
別のディスクをスキャンしたいときは、



を押して、別のディスクを選んでからスキャン操作してください。

### ランダム演奏

1枚のディスクの曲順をランダムに組み替えて演奏させることができます。



を押すと表示灯が点灯し、ランダム演奏が開始されます。

ランダム演奏は演奏中のディスクの中で行われ、演奏が終わると自動的に次のディスクに移り、ふたたびランダム演奏が開始されます。ランダム演奏の機能を解除するには、もう一度ボタンを押します。この場合、演奏中の曲から通常の演奏に戻ります。

**エラーコード**

パネル表示部にエラーコードが表示されたときは、下表にしたがって点検してください。

| エラーコード                                    | 原 因                          | 処 置                                                                                                           |
|-------------------------------------------|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>E-01</b>                               | ディスクチェンジの動作の異常               | ホンダベルノ店で点検を受けてください。                                                                                           |
| <b>E-02</b>                               | ディスクがトランクユニット内部に残っている        | トランクユニットのイジェクトスイッチを押してディスクマガジンを取り出した後、空のディスクマガジンを挿入してディスクを回収します。                                              |
| <b>E-03</b><br><b>E-04</b><br><b>E-05</b> | ディスクチェンジの動作の異常               | 数秒間表示されることがありますが、エラー表示が消えれば問題はありません。表示が消えないときは、ホンダベルノ店で点検を受けてください。                                            |
| <b>E-06</b>                               | ディスクチェンジの動作の異常               | トランクユニットのイジェクトスイッチを押して、ディスクマガジンを取り出します。エラー表示が消えれば問題はありません。表示が消えないとき、またはディスクマガジンが取り出せないときは、ホンダベルノ店で点検を受けてください。 |
| <b>E-07</b>                               | ディスクマガジンがイジェクトできない<br>(装着不良) |                                                                                                               |
| <b>---H</b>                               | 車内温度の上昇を検知                   | 車内温度が適温に戻ると、エラー表示は消えます。                                                                                       |
| <b>E-EE</b>                               | チェンジャーと、CDプレーヤーの通信が不通        | チェンジャーと、CDコントローラーの接続を確認してください。                                                                                |
| <b>----</b>                               | チェンジャーに、ディスクマガジンが入っていない      | チェンジャーに、ディスクマガジンを入れてください。                                                                                     |

## セキュリティシステム

### タイプ別装備

セキュリティ(盗難防止)システムは、お車を盗難から守るための装置です。

このシステムは、キーを使わずにドアを開けたり、ボンネットやトランクなどを開けたりすると警報装置が作動し、ホーンを鳴らし、同時に非常点滅表示灯を点滅させます。

### 警報装置について

警報装置は、システムがセットされているときに次のようなことのいずれかを行うと作動します。

- ・ドアをキーを使わずに開けようとした場合
  - ・トランクをキーを使わずに開けようとした場合
  - ・ボンネットをこじ開けようとした場合
  - ・リヤウインドーをこじ開けようとした場合
  - ・ルーフをこじ開けようとした場合
- また、カセットステレオを取り外そうとしたり、配線を切ったりしたときや、エンジンをかけたときにも作動します。

警報装置が作動すると、ホーンが断続的に鳴り、非常点滅表示灯がすべて点滅します。

警報装置は、システムを止めるまで最大2分間作動します。(ホーンは最大30秒間鳴ります。)

### 知 識

- トランクは、システム作動中でもマスターキーを使えば、警報装置を作動させずに開けることができます。

### ●警報装置の止めかた

キーでどちらかのドアを解錠すればその時点で警報装置は止まります。

### セットのしかた

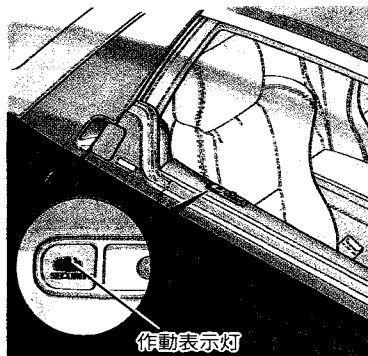
次の操作がすべて行われると自動的にシステムがセットされます。

- ・ボンネット、リヤウインドーを閉める。
- ・トランクを施錠する。
- ・ルーフサイドロックを左右共ロックにする。  
またはルーフを取り外しする。
- ・左右のドアを閉め、運転席ドアをキーで施錠する。

上記がすべて行われると、運転席ドアにある作動表示灯が点滅を始めます。

約15秒後に点滅間隔が変わり、システムがセットされたことを知らせます。

作動表示灯は、システムがセットされている間は、点滅を続けます。



セットを解除するときには、キーでどちらかのドアを解錠します。

### 知 識

- 車から離れるときは、セキュリティシステムがセットされ、作動していることを表示灯で確認してください。
- 作動表示灯が点滅を始めてから約15秒以内(システムがセットされる前)に、トランクを開けるとセットが中断され表示灯が消灯します。  
この場合、トランクを閉めると表示灯が点滅し、自動的にシステムがセットされます。

## 室内装備品

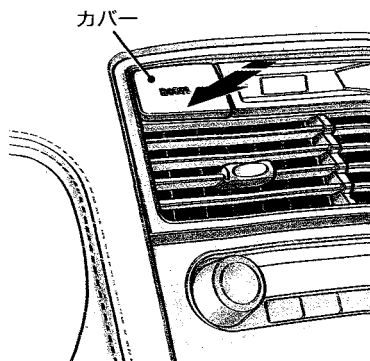
### 時計

ナビゲーションシステム非装備車

#### ●時刻表示

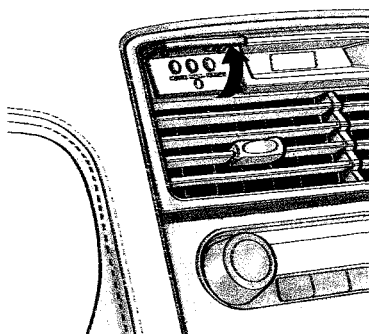
エンジンスイッチが“II”で表示されます。

エンジンスイッチが“0”または“I”では、カバーを押している間、表示されます。



#### ●表示の合わせかた

カバーを開け、エンジンスイッチを“II”にします。



#### 「時」の調整

“HOUR”ボタンを押している間、「時」の早送りができます。

#### 「分」の調整

“MIN”ボタンを押している間、「分」の早送りができます。

#### 「時報合わせ」

時報と同時に“RESET”ボタンを押すと時報に合わせることができます。

(例)

1:01～1:29の場合は1:00

1:30～1:59の場合は2:00

になります。

## 室内灯

### “ON”

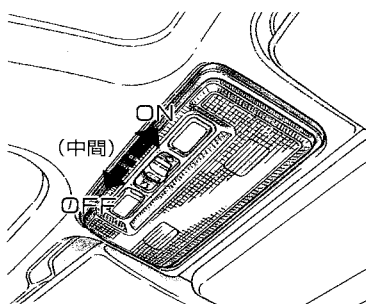
ドアの開閉に関係なく点灯します。

### （中間）

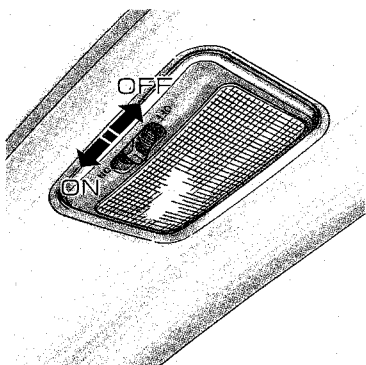
ドアを開いたときのみ点灯します。

### “OFF”

ドアの開閉に関係なく消灯します。



### type T

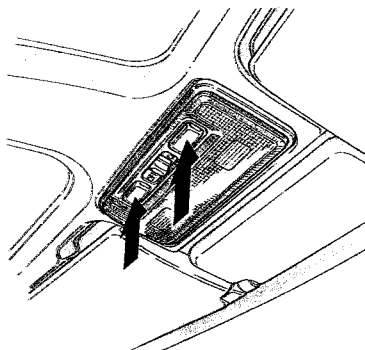


## スポットランプ

タイプ別装備

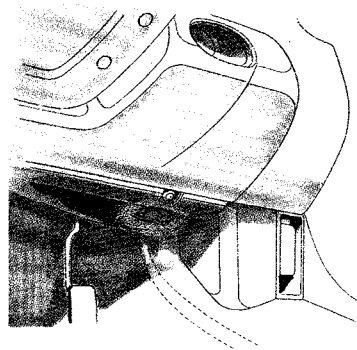
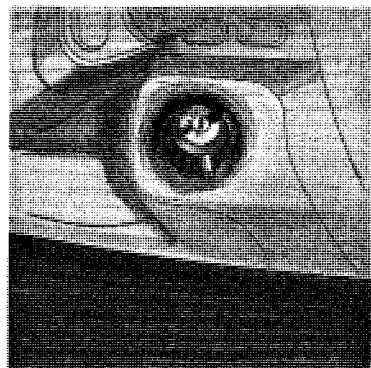
“中間”位置のとき、スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

夜間、車を止めて地図などを見るときに便利です。



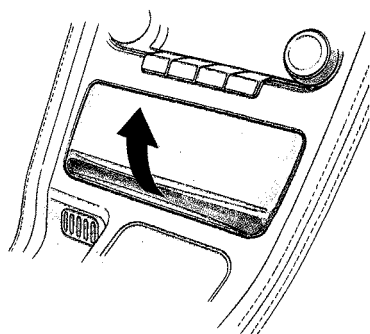
## 照明灯

運転席ドアを開けると、エンジンスイッチと足元の照明灯が点灯します。運転席ドアを閉めると、数秒後に消灯します。

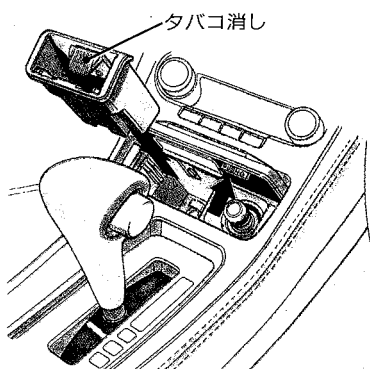


**灰皿**

フタを開けて使用します。



清掃するときは、フタを押して手を離せば、取り出すことができます。



元に戻すときは、灰皿をしっかり押し込んでください。

**▲注意**

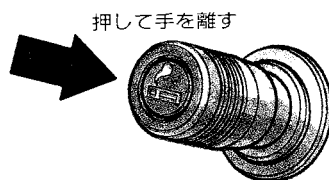
- タバコ、マッチなどは確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。  
また、吸いがらをためすぎたり、紙くずなどの燃えやすいものを入れないでください。  
タバコなどの火が燃え広がるおそれがあります。

**シガレットライター**

灰皿のふたを開けると、シガレットライターがあります。

エンジンスイッチが“I”または“II”のときだけ使えます。

ライターを押し込んで、手を離し、元の位置に戻るまで待ちます。  
ヒーター部が赤熱すると自動的に戻ります。



ライター使用後は灰皿で灰を落としてからすみやかに元に戻してください。

**▲注意**

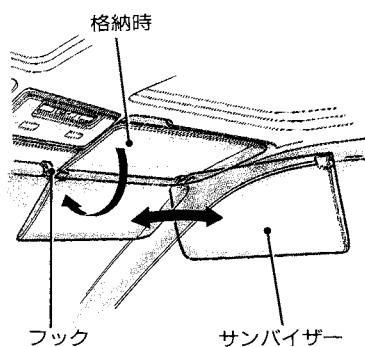
- シガレットライターの金属部分には触れないでください。やけどをするおそれがあります。

**知 識**

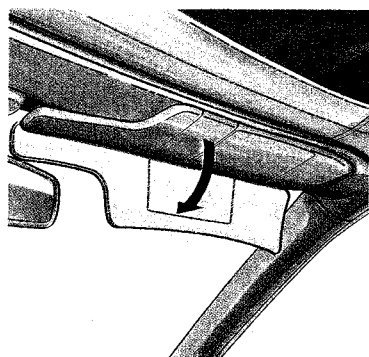
- シガレットライターの損傷を防ぐため、次のことをお守りください。
  - ・ライターを押し込んだあと、押さえ続けしないでください。
  - ・ヒーター部に灰や異物が付着したまま使用しないでください。
  - ・ライターのさし込み口からは、ホンダ純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。
- 他の車のライターを使ったり、自車のライターを修正したりしないでください。戻らなかったり、とび出したりするおそれがあります。
- ライターを押し込んでから、30秒以上たっても戻らないときは、故障のおそれがありますので手で引き出し、ホンダベルノ店で点検を受けてください。

### サンバイザー

サンバイザーを横にするときは、フックから外して行います。



type T



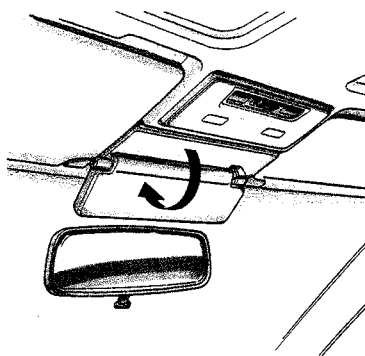
### 知 識

type T

- サンバイザーを横にすることはできません。

### ●センターバイザー

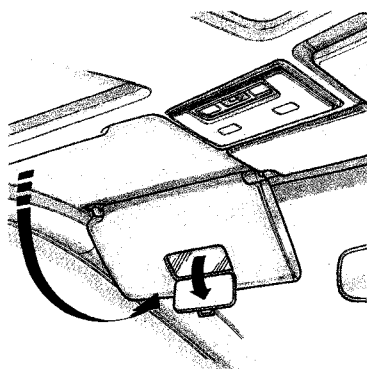
タイプ別装備



### ●バニティミラー(化粧鏡)

タイプ別装備

助手席のサンバイザーに鏡があります。  
お化粧のときなどに便利です。



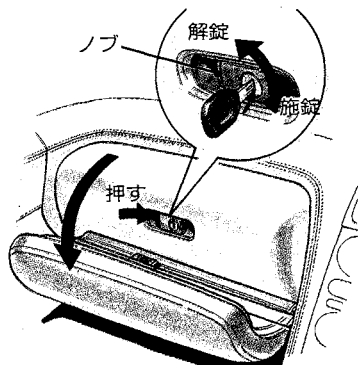
## 小物入れ

### ●グローブボックス

ノブを押すと開きます。

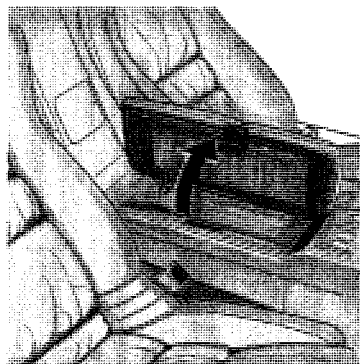
マスターキーを使えば施錠(解錠)できます。

ライトスイッチが"ON"のときグローブボックスのふたを開けると、照明灯が点灯します。

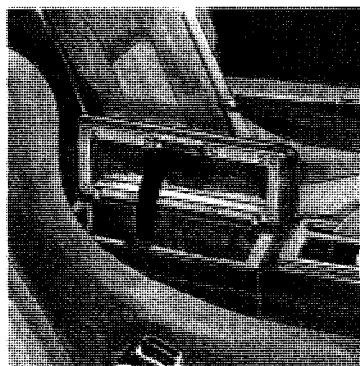


- 走行中は、グローブボックスのふたを必ず閉めてください。グローブボックスのふたが開いていると、衝突したときなどにふたにぶつかったり、内部の物がとび出したりして思わぬ事故につながります。

### ●コンソールボックス

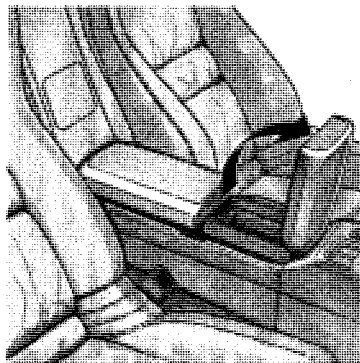


type S



### ●コインホルダー

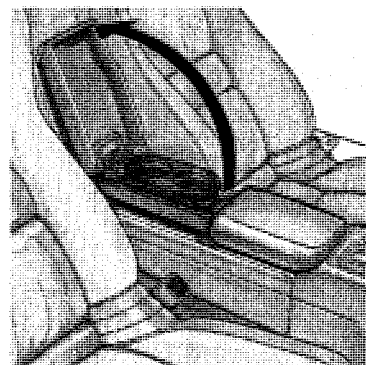
タイプ別装備



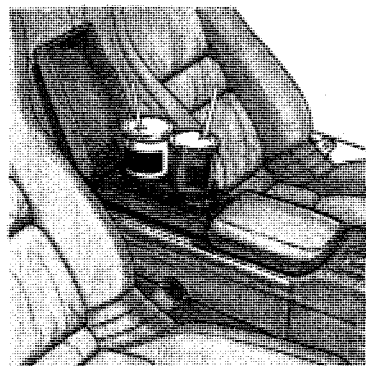
## カップホルダー

タイプ別装備

アームレストの後側を開けると、カップホルダーがせり出てきます。



カップなどを置くときに使います。



格納するときは、ふたを静かに押して閉めます。

### 知 識

- ドアの開閉や走行中の振動、車の動きなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物などはやけどのおそれがありますので注意してください。
- 飲み物がオーディオ等にかかると、故障の原因となりますので注意して下さい。
- カップホルダーを取り外せば、小物入れとして使えます。



MEMO

Lined area for writing the memo.

# NSX

## 5

### 万一のとき



#### 工具・スペアタイヤ・発炎筒

|               |     |
|---------------|-----|
| 格納場所 .....    | 126 |
| 工具の種類 .....   | 127 |
| 発炎筒について ..... | 127 |

#### 故障したとき

|                    |     |
|--------------------|-----|
| 踏切で動けなくなったとき ..... | 128 |
| 高速道路で故障したとき .....  | 128 |
| 道路で動けなくなったとき ..... | 128 |
| 故障の修理について .....    | 128 |

#### 事故が起きたとき .....

#### けん引

|                 |     |
|-----------------|-----|
| ロープ取り付け部 .....  | 130 |
| けん引されるとき .....  | 130 |
| 動けなくなったとき ..... | 131 |

#### パンクしたとき

|                         |     |
|-------------------------|-----|
| ジャッキの取り扱い .....         | 132 |
| 応急用スペアタイヤ(折りたたみ式) ..... | 133 |
| タイヤ交換 .....             | 134 |

#### 警告灯が点灯したとき .....

#### オーバーヒートしたとき .....

#### 電気系統が異常のとき

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| バッテリーあがりのとき .....                   | 141 |
| バッテリーの充電 .....                      | 142 |
| ライト類が点灯しないとき、<br>電気装置が作動しないとき ..... | 143 |
| ヘッドライトが昇降しないとき .....                | 149 |

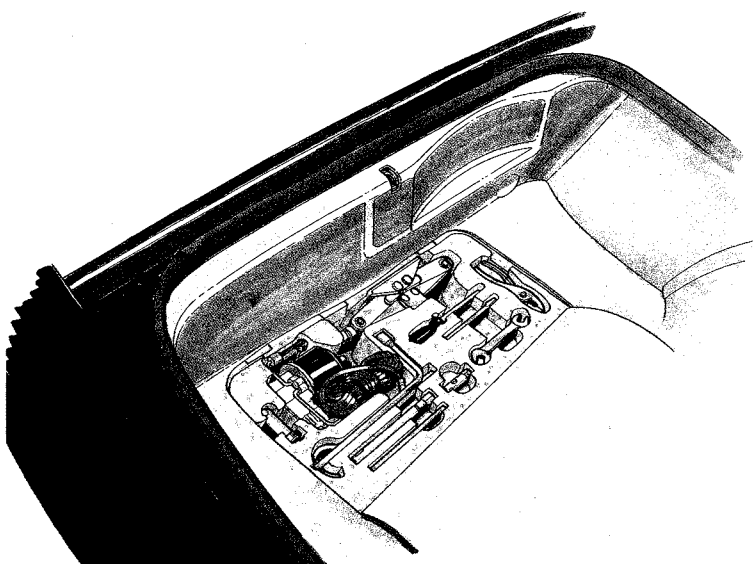
#### こんなことでお困りのとき .....

# 工具 ・ スペアタイヤ ・ 発炎筒

## 格納場所

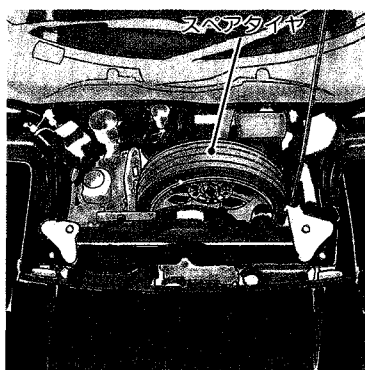
### ●工具

工具類は、トランクルーム内に格納してあります。



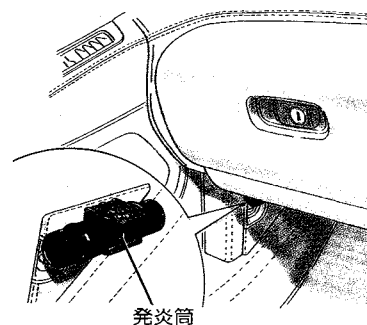
### ●スペアタイヤ

スペアタイヤはフロントコンパートメントに格納してあります。

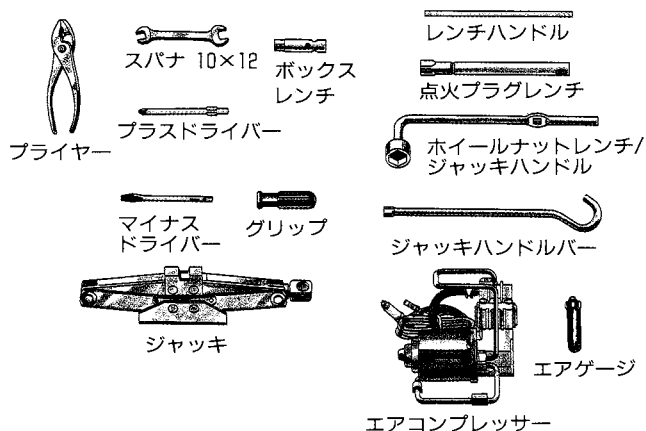


### ●発炎筒

発炎筒は助手席足元にあります。



## 工具の種類



## 知 識

- 工具の種類、ジャッキ、発炎筒の使いかたなどは万一のとき困らないようにあらかじめ確かめておきましょう。
- ジャッキ、工具類は熱くなっている場合がありますので、使用する際は注意してください。
- 応急用スペアタイヤは走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- 高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器材による表示義務がありますので、停止表示板などを常時携帯するようにしましょう。

## 発炎筒について

高速道路、踏切などの危険な場所で故障したときに使います。

発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- 使いかた
- 発炎時間
- 使用上の注意
- 有効期限

## △ 警 告

- ガソリンなどの燃えやすいもののそばでは使わないでください。火災や爆発のおそれがあります。

## △ 注 意

- お子さまにじらせないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故やけどの原因になります。
- 発炎筒を使うとき顔やからだに向けてやけどなどをすることがあるのでおやめください。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

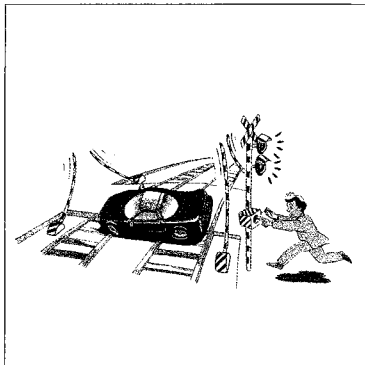
## 故障したとき

車を路肩に停め、非常点滅表示灯を点滅させます。必要に応じて停止表示板(または停止表示灯)、発炎筒を使い、後続する車に故障車とわかるようにします。

### 踏切で動けなくなったとき

脱輪などで踏切内で動けなくなったときは、踏切の非常ボタンを押してください。

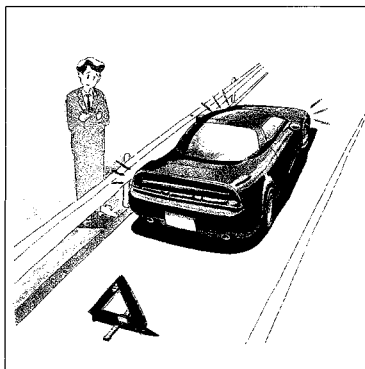
非常ボタンがわからず、緊急を要するときは、発炎筒で合図をしてください。



### 高速道路で故障したとき

車を路側帯に寄せ、非常点滅表示灯を点滅させ、車両後方に停止表示板(または停止表示灯)を置いて表示してください。

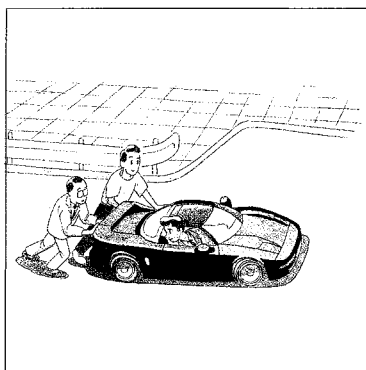
法律で義務づけられています。



人は車からおりて、安全な場所に避難してください。

### 道路で動けなくなったとき

一般道路で動けなくなったときは、付近の人に安全な場所まで押してもらってください。



または、マニュアル車の場合は、ギヤを2に入れて、クラッチペダルを踏まずにスターターを回して移動します。

### 知 識

- オートマチック車はスターターを回して車を動かすことはできません。

### 故障の修理について

ホンダベルノ店へお申しつけください。

お持ちこみいただければ、簡単なものはその場で修理いたします。長くなるものは、予定をお知らせします。お持ちこみのむずかしいときには電話でご連絡ください。

遠出などのときは全国どこでもホンダベルノ店へご連絡ください。

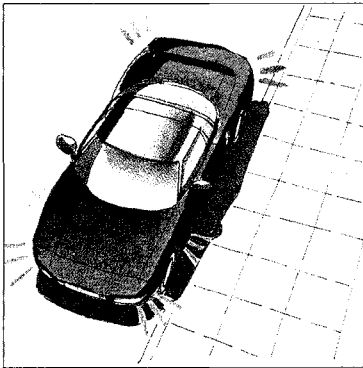
ホンダベルノ店およびJAFの電話番号については別冊の「サービス網一覧」をご覧ください。

## 事故が起きたとき

あわてずに次の処置をとります。

### ①事故の続発を防ぐ。

- ・他の交通の妨げにならないような安全な場所(路肩、あき地など)に車を移動させ、エンジンを止めます。



### ②負傷者がいる場合は、応急手当を行う。

- ・医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

この場合、とくに頭部に傷などがあるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしますが、後続事故の心配があるときは安全な場所に移動させます。

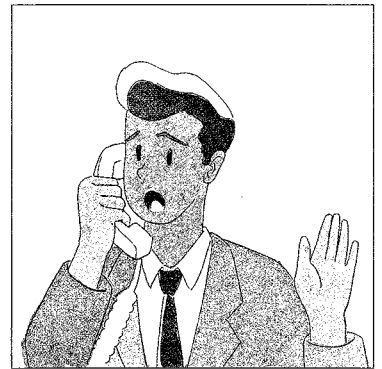


### 知 識

- 外傷がなくても医師の診断を受けましょう。後になってから後遺症が出るおそれがあります。

### ③警察へ連絡する。

- ・事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し、指示を受けます。



### ④相手方、事故の状況をメモする。

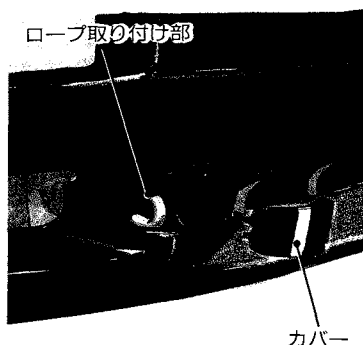
### ⑤ご購入された販売店や保険会社へ連絡する。

## けん引

他車をけん引したり、前輪または後輪を持ち上げてけん引されることはできません。

### ロープ取り付け部

けん引されるときには、カバーを外してロープ取り付け部を利用します。



### 🚗 アドバイス

- ロープ取り付け部にロープをかけるときは、車体やフックの破損・変形を防ぐために次のことに気をつけてください。
  - ・ロープ取り付け部以外のところにロープをかけないでください。
  - ・けん引時にロープ取り付け部に大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。

### 🎓 知 識

- ロープ取り付け部は、けん引されるときにのみお使いください。

### けん引されるとき

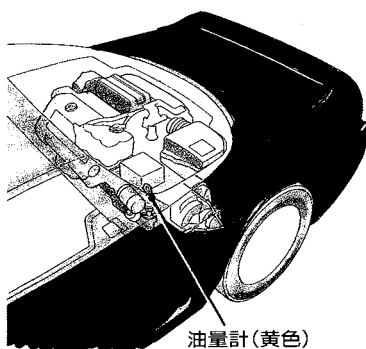
四輪を接地させて、エンジンをかけて次の方法で行ってください。

#### マニュアル車

- ①チェンジレバーをN(ニュートラル)にします。
- ②エンジンを始動します。(エンジンがかからない場合は、エンジンスイッチを“Ⅰ”または“Ⅱ”にします。)
- ③パーキングブレーキを解除し、けん引されます。
- ④速度30km/h以下でけん引してください。

## オートマチック車

- ①トランスミッションオイルの量が目盛りの上限と下限の間にあるかを点検します。



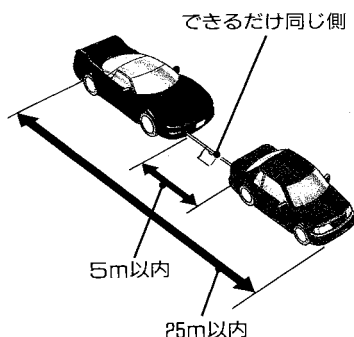
油量計(黄色)

- ②エンジンを始動し、セレクトレバーを一度□にしてから■にします。  
 ③パーキングブレーキを解除し、けん引されます。  
 ④速度30km/h以下、走行距離80km以内でけん引してください。

## アドバイス

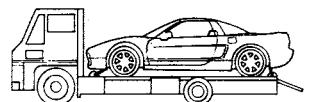
- トランスミッションを破損させないため、必ず②の操作をしてください。エンジンがかからなかったり、セレクトレバーが動かない場合は、けん引しないでください。積載状態で行ってください。

けん引車の制動灯に注意して、ロープをたるませないようにしてください。また、ロープには白い布(0.3m平方以上)を必ず付けてください。



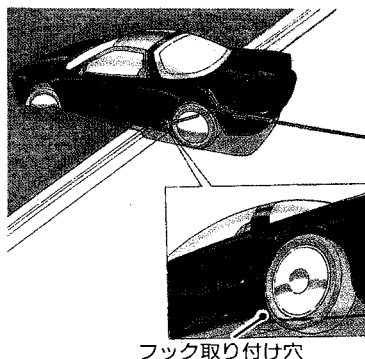
## 知識

- エンジンが停止している状態でのけん引は、次のことに気をつけてください。
  - ・ブレーキの倍力装置がはたらかなくなるので、ブレーキのききが悪くなります。
  - ・パワーステアリング装備車はパワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなるので、ハンドル操作が重くなります。
  - ・マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを"0"にするとキーが抜けることがあり、ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり、事故につながるおそれがあります。
- 長い下り坂では、ブレーキ部の温度が上がりブレーキがきかなくなるおそれがあります。レッカー車にけん引してもらってください。
- 長距離の移動は積載状態で行ってください。

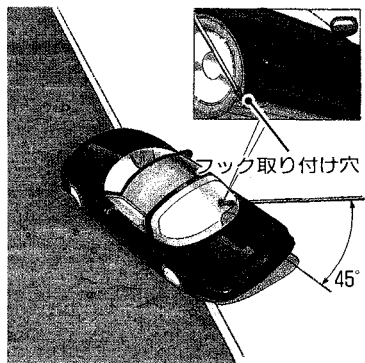


## 動けなくなったとき

脱輪などして後方へ引き出す場合は、フック取り付け穴を使用します。



フック取り付け穴



## 知識

- 他車のけん引には、使用しないでください。



## パンクしたとき

### ジャッキの取り扱い

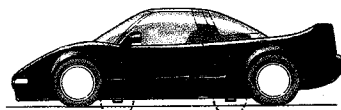
#### ●ジャッキの取り出し

ジャッキは、トランクルーム内に格納してあります。

#### 知 識

- ジャッキ、工具類は熱くなっていることがありますので、使用する際は気をつけてください。

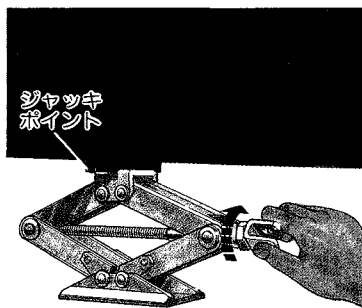
#### ●ジャッキをかける位置



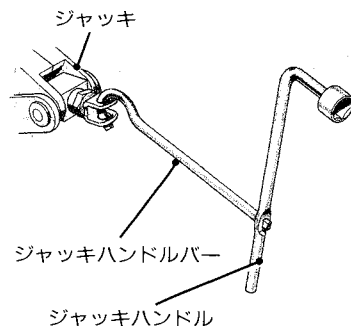
ジャッキポイント

#### ●ジャッキのかけかた

- ①地面が固い平らなところに車を停めます。
- ②パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。
- ③ジャッキを地面に置き、手で回してジャッキの溝がジャッキポイントに入るまで上げます。



- ④ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを使って、タイヤと地面が少し離れるまで車体を上げます。



- 車がジャッキだけで支えられているときは、不安定な状態にあるので車の下に入ったりしないでください。万ージャッキが外れると、思わぬ事故につながります。

### 注意

- ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守ってください。
  - ・エンジンをかけたままにしない。
  - ・地面が固い平らなところ以外では使用しない。
  - ・指定された位置以外にかけない。
  - ・人や荷物をのせたままにしない。
  - ・ジャッキの上や下に物をいれたりしない。
  - ・タイヤ交換やタイヤチェーン着脱以外には使用しない。

#### 知 識

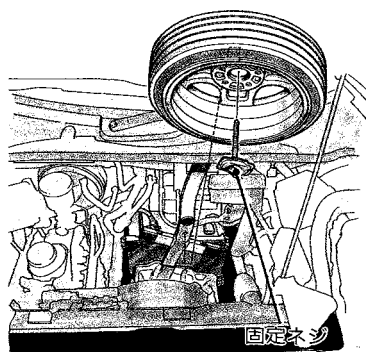
- この車に搭載されているジャッキをお使いください。他のジャッキでは支えられる重量(呼荷重)が不足したり、形状が合わないことがあります。

## 応急用スペアタイヤ (折りたたみ式)

ボンネットを開け、固定ネジをゆるめて取り出します。

### 知 識

- 応急用スペアタイヤは、エンジンが停止した状態で取り出してください。
- 固定ネジ、ホイールは熱くなっている場合がありますので、取り出す際には手袋などをして、やけどに気をつけてください。



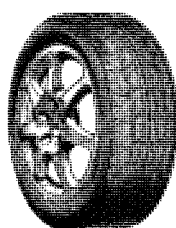
応急用スペアタイヤは、タイヤがパンクしたときの応急用としてのみに使うタイヤです。

応急用スペアタイヤは空気の入っていない状態で格納されています。お使いになるときには、備え付けのエアコンプレッサーで、指定空気圧に調整してください。

応急用スペアタイヤの直径は標準タイヤの後輪と等しく、前輪に対してはやや大きくできています。



応急用  
スペアタイヤ



標準タイヤ

お使いになるときは次のことをお守りください。

### 知 識

- 応急用スペアタイヤは必ずお車に取り付けてから、空気を入れてください。地面に置いたりすると、空気を入れるときにホイールとタイヤの間に石がはさまったりして、空気がもれることがあります。
- 応急用スペアタイヤを装着したときは100km/h以下で走行し、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
- この応急用スペアタイヤとホイールはこのお車の専用品です。他のタイヤやホイールと組み合わせたり、他の車に使わないで下さい。
- 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンは装着できません。
- 応急用スペアタイヤが損傷した場合、修理はできません。必ずホンダベルノ店で交換してください。

## タイヤ交換

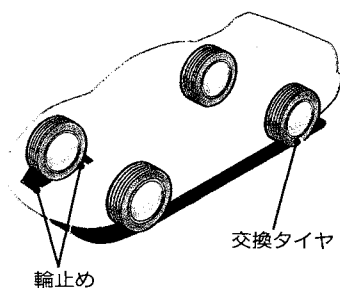
### ●応急用スペアタイヤに交換するとき

- ①車を地面が固く平で安全な場所に停め、工具類、応急用スペアタイヤを取り出します。

#### 知 識

- ジャッキ、工具類、固定ネジ、ホイールは熱くなっていることがありますので、取り出す際には気をつけてください。

- ②パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。



- ③ジャッキをセットします。

→132ページ

- ④ホイールナットをホイールナットレンチで少し(約1回転)ゆるめます。



- ⑤タイヤと地面が少し離れるまで車体を上げます。

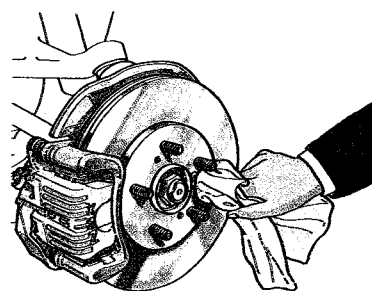
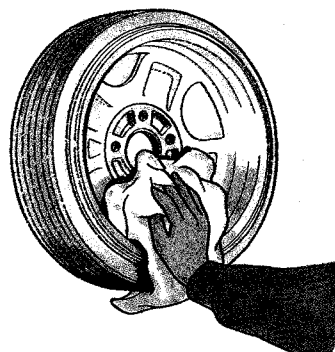


- ⑥ホイールナットを外し、タイヤを外します。

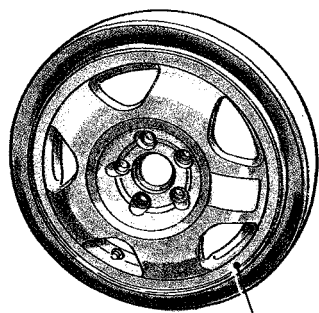
#### 知 識

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

- ⑦応急用スペアタイヤのホイールと、ハブの接触面のよごれをふき取ります。

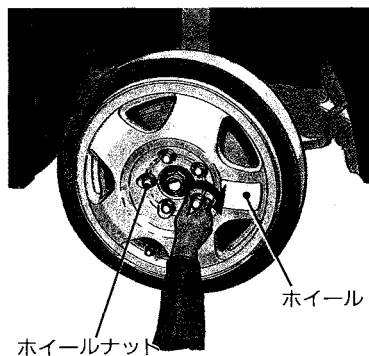


- ⑨タイヤとリムの間に異物がないことを確認してから、取り付けます。



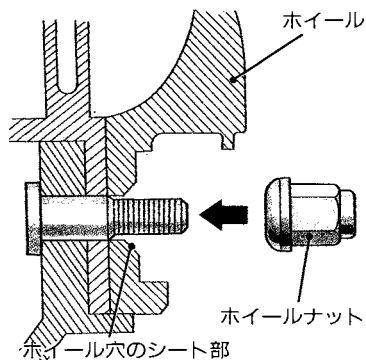
タイヤとリムの間

- ⑩ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。



ホイール

ホイールナット

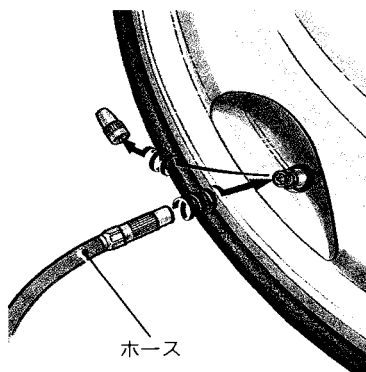


ホイール

ホイールナット

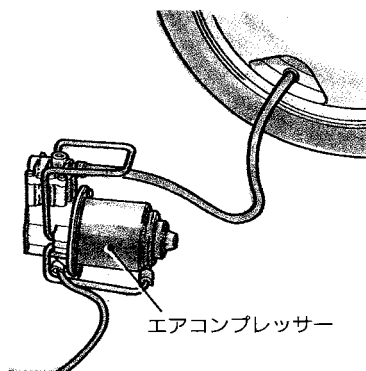
ホイール穴のシート部

- ⑪バルブキャップを外し、バルブにエアコンプレッサーのホースを確実に取り付けます。



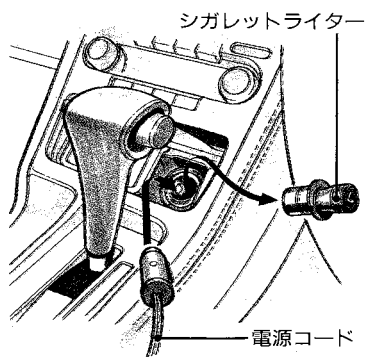
ホース

- ⑫矢印の向きを上にして、エアコンプレッサーを置きます。



エアコンプレッサー

- ⑬エアコンプレッサーの電源コードプラグをシガレットライターソケットに差し込み、エンジンスイッチを「I」にします。



シガレットライター

電源コード

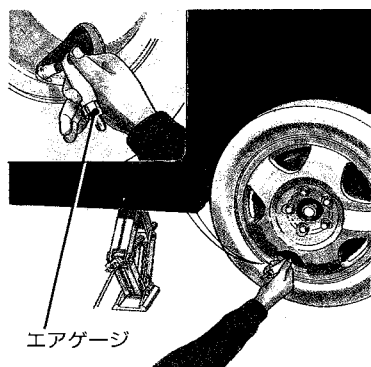
## 知 識

- 備え付けのエアコンプレッサーは、応急用スベアタイヤの空気充填用です。
- エアコンプレッサーの電源は、自動車用12V専用です。他の電源には接続しないでください。
- 無給油設計になっていますので、オイル等を注油しないでください。
- 使用中、エアコンプレッサーの表面が熱くなります。15分以上連続して使用しないでください。再使用する場合は、エアコンプレッサーが冷えてからお使いください。

⑬約5分間で指定空気圧になります。  
エアゲージを使用して、空気圧を  
点検、調整します。

前輪：180kPa(1.8kgf/cm<sup>2</sup>)

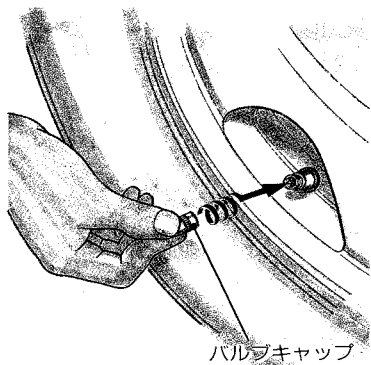
後輪：230kPa(2.3kgf/cm<sup>2</sup>)



エアゲージ

⑭エンジンスイッチを“0”にして、  
エアコンプレッサーの電源コード  
プラグをシガレットライターソケ  
ットから抜きます。

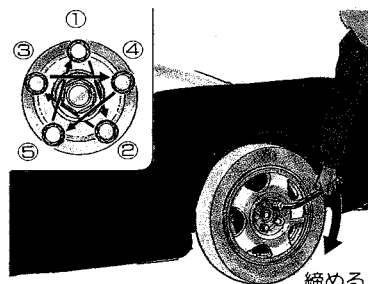
⑮バルブから空気漏れのしないことを  
確認してバルブキャップを締め付  
けます。



バルブキャップ

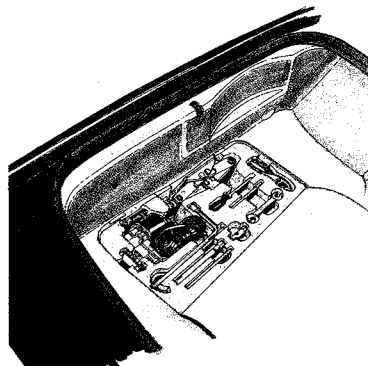
⑯ジャッキをおろし、図の番号順に  
2～3度にわたり、ホイールナット  
をしっかり締め付けます。

ホイールナット締め付けトルク：  
10.0～12.0kgf・m

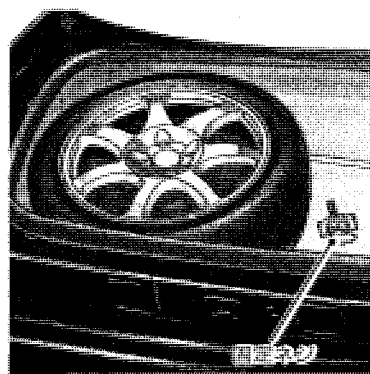


締める

⑰ジャッキを取り外し、エアコンプ  
レッサー、工具類をトランクにし  
まいます。

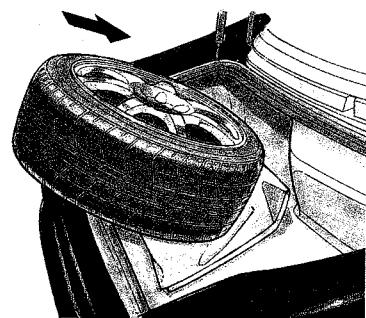


⑱パンクした標準タイヤ、応急用ス  
ペアタイヤ固定ネジはトランクに  
しまいます。



## 知 識

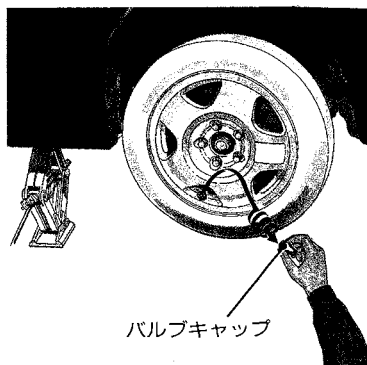
- フロントコンパートメントに、パンクした標準タイヤをしまうことはできません。



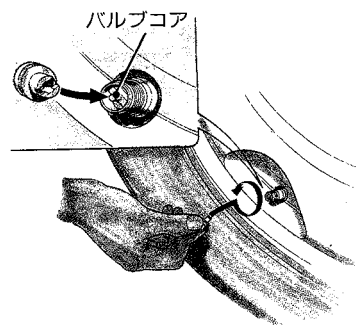
パンクした標準タイヤをトランクに  
しまうには、図のようにタイヤとト  
ランクの接するところに紙などをし  
き、すべり込めると作業が楽にな  
ります。

## ●標準タイヤを取り付けるとき

- ①ホイールナットをゆるめ、車体をジャッキで持ち上げます。
- ②応急用スペアタイヤからバルブキャップを外します。



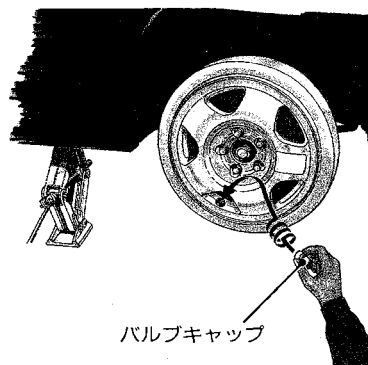
- ③バルブキャップのゴムカバーを外し、“シュー”という音がするまでバルブコアをゆるめて、タイヤが完全に折りたたまれるまで空気を抜きます。



## 知 識

- バルブコアをゆるめすぎると、空気圧でとばされるおそれがあります。バルブコアを紛失しないよう、ゆるめすぎに注意してください。

- ④空気が抜け、タイヤが完全に折りたたまれたらバルブコアを締め付け、バルブキャップを取り付けます。

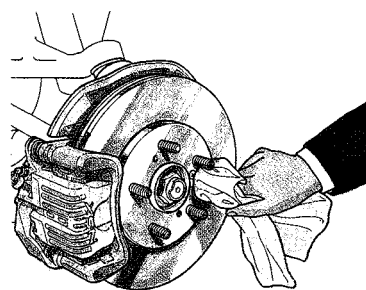
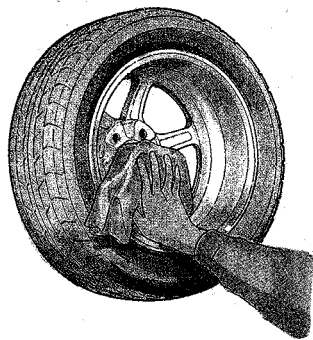


## 知 識

- 折りたたまれるタイヤに、指などをはさまれないように注意してください。

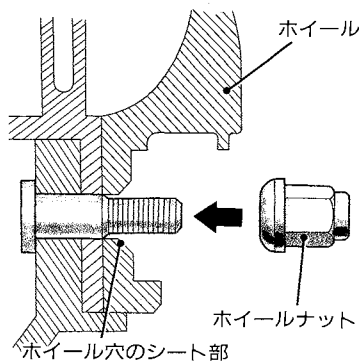
- ⑤応急用スペアタイヤを取り外します。

- ⑥標準スペアタイヤのホイールと、ハブの接触面のよごれをふき取ります。



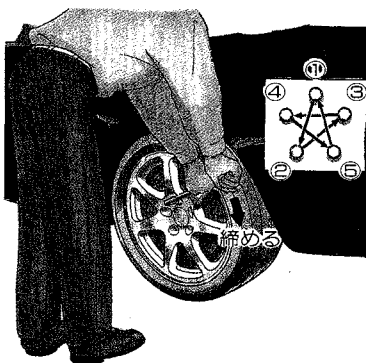
⑦標準タイヤを取り付けます。

⑧ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。

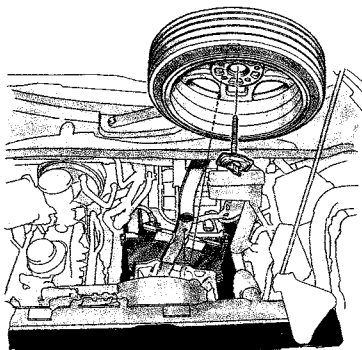


⑨ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっかり締め付けます。

ホイールナット締め付けトルク：  
10.0～12.0kgf・m



⑩取り外した応急用スペアタイヤをフロントコンパートメントにしまい、固定ネジで固定します。

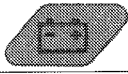
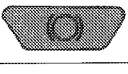
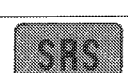
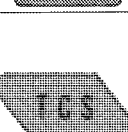


## 知識

- この車専用のタイヤ、ホイールをお使いください。  
専用以外のタイヤ、ホイールを使うと走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。タイヤ、ホイール交換に際しては、必ずホンダベルノ店にご相談ください。
- レンチを足で踏んだり、パイプなどを使って必要以上に締め付けないでください。  
トルクがかかりすぎる場合があります。
- パンク修理、タイヤの摩耗、リムの変形などでホイールバランスが狂うことがあります。車体の振動などの異常を感じたらホンダベルノ店で点検を受けてください。
- タイヤ交換は、安全のため地面の硬い平らな場所で、他の交通に十分注意して行ってください。必要に応じて停止表示板、非常点滅表示灯を使ってください。
- パンク修理などでホイールを取り付け直したときには、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。

## 警告灯が点灯したとき

運転中、警告灯が点灯(点滅)したときは安全な場所に停車して下記の処置を行ってください。

| 警告灯                                                                                 | 警告灯の名称                           | 処 置                                                                                                                        |
|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | 油圧警告灯                            | エンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。<br>エンジンオイルが減っていないのに点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、ただちにホンダベルノ店へご連絡ください。<br>→61ページ                |
|    | トランスミッション警告灯<br>(点滅)             | 急発進、急加速を避けて、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。<br>→61ページ                                                                              |
|    | 充電警告灯                            | エアコン、リヤデフロスタースイッチを"OFF"にして、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。<br>→61ページ                                                               |
|   | PGM-FI警告灯                        | 高速走行を避けて、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。<br>→61ページ                                                                                 |
|  | ブレーキ警告灯                          | ブレーキ液量を点検し、下限より下がっていたらホンダベルノ店で点検を受けてください。<br>→62ページ                                                                        |
|  | エレクトリックパワー<br>ステアリング(EPS)<br>警告灯 | すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。<br>→62ページ                                                                                         |
|  | SRSエアバッグ<br>システム警告灯              | すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。<br>→91ページ                                                                                         |
|  | トラクションコントロール<br>システム(TCS)警告灯     | エンジンを止めてください。<br>エンジン再始動後消灯しないときや走行中再び点灯するときは、お早めにホンダベルノ店で点検を受けてください。<br>(TCSを"OFF"にしたときも点灯します。また、TCS作動中は点滅します。)<br>→96ページ |
|  | アンチロックブレーキ<br>システム(ABS)警告灯       | すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。<br>→95ページ                                                                                         |



## オーバーヒートしたとき

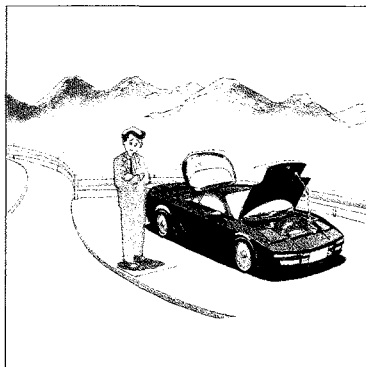
次のようなときは、オーバーヒートです。

- ・水温計の針が赤いマークに入ったり、エンジンの力が急に落ちる。
- ・エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている。

- ▲ 警告**
- フロントコンパートメントやエンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットやエンジンカバーを開けないでください。蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

### ●処置のしかた

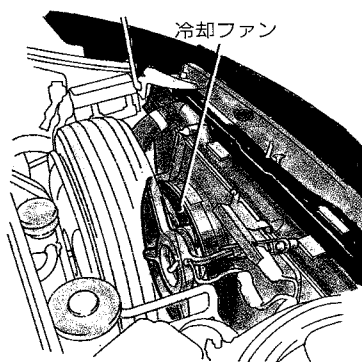
- ①車を安全な場所に停めます。
- ②エンジンをかけたままボンネットとエンジンカバーを開けて風通しをよくします。



### 知 識

- フロントコンパートメントやエンジンルームから蒸気が出ているときは、エンジンを止めます。蒸気が出なくなってからボンネットとエンジンカバーを開け、エンジンをかけてください。

- ③冷却ファンの作動を確認し、水温計の針が下がってきってからエンジンを止めます。冷却ファンが作動していないときはすぐにエンジンを止めてください。



### アドバイス

- 冷却ファンが作動していない場合は、故障が考えられますので、ホンダベルノ店にご連絡ください。

- ④エンジンが冷えてから、冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検します。

- ⑤冷却水量が不足していたらエクスパンションタンクから冷却水を補給します。冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。

- ▲ 警告**
- エンジンが十分に冷え、水温が下がるまで、エクスパンションタンクキャップを外さないでください。冷却水には圧力がかかっているため、蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

### アドバイス

- エンジンが熱いときに冷却水を入れないでください。急に冷たい冷却水を入れると、エンジンが損傷するおそれがあります。冷却水はエンジンが冷えてからゆっくりと入れてください。

- ⑥なるべく早くホンダベルノ店で点検を受けてください。

# 電気系統が異常のとき

## バッテリーあがりのとき

次のようなときは、バッテリーあがりです。

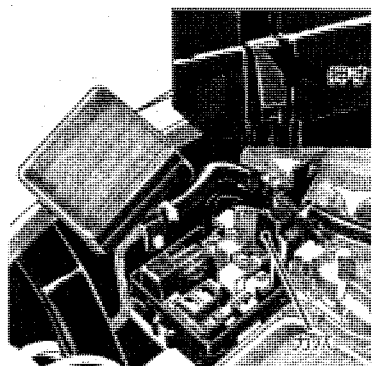
- ・スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからない。
- ・ライトがいつもより極端に暗かったり、ホーンの音が小さい。

### ●処置のしかた

安全のため、押しがけはしないでください。

救援車のバッテリーを利用してエンジンを始動させます。

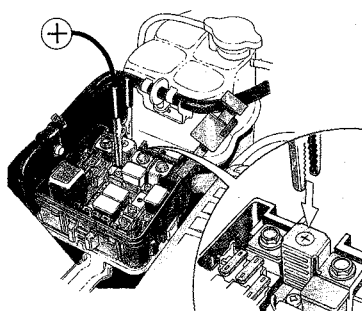
- ①自車のエンジンルーム内にあるヒューズボックスを開け、カバーを外します。



- ②ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

#### 1 本目

- ①ヒューズボックス内の⊕マーク部



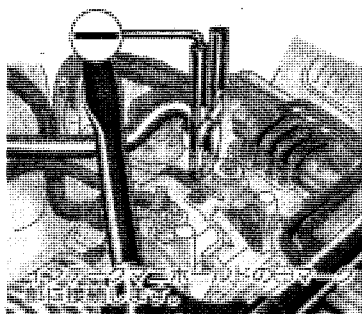
ヒューズボックス内の⊕マーク部に接続します。

- ②救援車のバッテリーの⊕端子

#### 2 本目

- ③救援車のバッテリーの⊖の端子

- ④自車のインテークマニホールドの⊖マーク部



- ③救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにします。

- ④自車のエンジンをかけます。

- ⑤ブースターケーブルをつないだときと逆の順序で外します。

- ⑥ホンダ販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。

- バッテリーを取り扱うときは次のことを必ず守ってください。バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
- ・バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動または充電を行わないでください。
- ・火気を近づけないでください。
- ・帯電した手でバッテリーに触れないでください。
- ・換気に十分注意し、換気の悪い場所では充電を行わないでください。
- ・バッテリーを充電するときは、すべてのキャップを外してください。(密封式バッテリー装備車を除く)
- ブースターケーブルをつなぐときは次のことを必ず守ってください。火花が出て、バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
- ・自車のバッテリーの⊖端子に直接ケーブルをつながないでください。
- ・⊕端子と⊖端子を間違えないでください。
- ・ケーブルの先端どうしを接触させないでください。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に着くとその部分が侵されますので十分注意してください。万一、付着したときはすぐに多量の水ですくなくとも5分間以上洗浄し、飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲んでください。応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

### 知 識

- バッテリー液が不足しているときは、使用しないでください。バッテリー内部の劣化が促進するおそれがあります。
- ブースターケーブルのクリップは、エンジン始動時などの振動で外れたりしないように確実に固定してください。また、ブースターケーブルが冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分気をつけてください。
- 救援車には、12Vのバッテリーを装着している車を使用してください。

## バッテリーの充電

充電は、バッテリーを取り出してから行ってください。

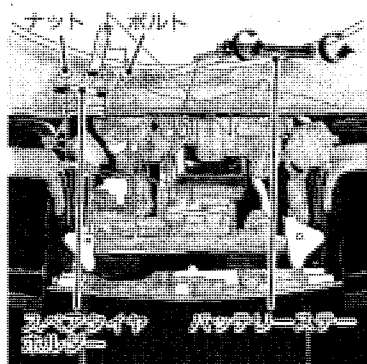
①ボンネットを開けます。

### 知 識

- 固定ネジ、ホイール、スペアタイヤホルダーなどは熱くなっている場合がありますので、取り出す際には手袋などをして、やけどに気をつけてください。

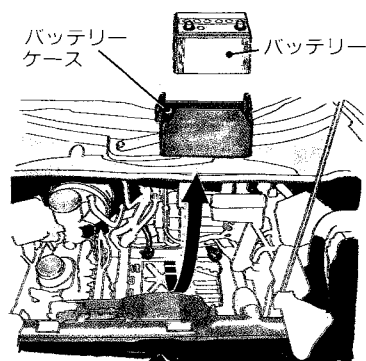
②固定ネジを外し、応急用スペアタイヤを取り外します。

③ナットとボルトを外し、スペアタイヤホルダーとバッテリーステーを取り外します。



④バッテリーの⊖極を外してから⊕極を外します。

⑤バッテリーをケースごと取り出します。



- バッテリーを取り扱うときは次のことを必ず守ってください。  
バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
- バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動または充電を行わないでください。
- 火気を近づけないでください。
- 帯電した体でバッテリーに触れないでください。
- 換気に十分注意し、換気の悪い場所では充電を行わないでください。
- バッテリーを充電するときは、すべてのキャップを外してください。  
(密封式バッテリー装備車を除く)
- コードをつなぐときは次のことを必ず守ってください。火花が出て、バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
- ⊕端子と⊖端子を間違えないでください。
- コードの先端どうしを接触させないでください。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に着くとその部分が侵されますので十分注意してください。  
万一、付着したときはすぐに多量の水ですくなくとも5分間以上洗浄し、飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲んでください。応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

## ライト類が点灯しないとき、電気装置が作動しないとき

バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れや電球(バルブ)切れが考えられます。

①エンジンスイッチを“0”の位置にします。

②ヒューズが切れていないかを点検します。

・故障の状況から点検すべきヒューズをヒューズボックスの表示で確認し、点検します。

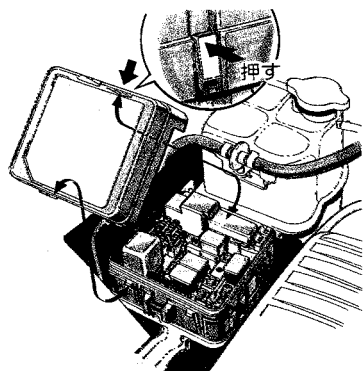
③必要に応じて、ヒューズや電球を交換します。

### ●ヒューズの点検、交換

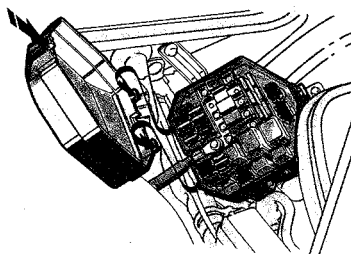
#### ヒューズボックスの位置

ヒューズボックスはエンジンルーム内、フロントコンパートメント内、助手席足元にあります。

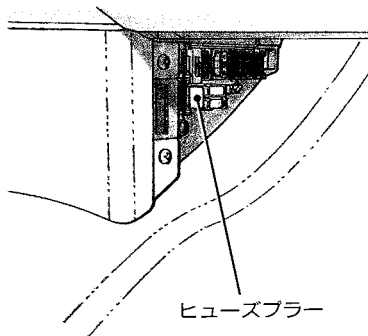
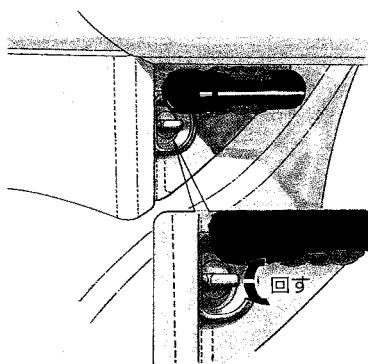
・エンジンルーム内



・フロントコンパートメント内

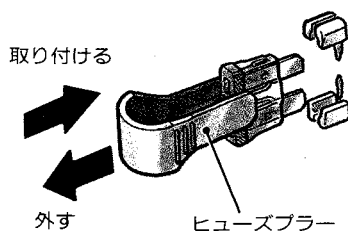


・助手席足元



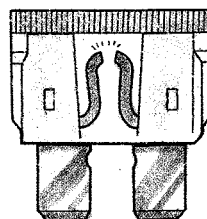
### ヒューズの外しかた

備え付けのヒューズプラーでヒューズを外します。



### ヒューズが切れているとき

切れた状態



ヒューズボックスの表示に従い規定容量のヒューズに交換します。

### ⚠️ アドバイス

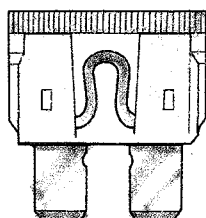
●規定容量のヒューズ以外のものは絶対に使わないでください。  
配線コードなどを焼損させる原因となります。

### 🏠 知 識

●交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダベルノ店で点検を受けてください。

## ヒューズが切れていないとき

切れていない状態



- ライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。  
電球を点検し、切れているときは交換してください。

## 知 識

- 電球が切れていない場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダベルノ店で点検を受けてください。
- ライト類以外の電気装置が作動しないときは、電気系統の異常が考えられますので、ホンダベルノ店で点検を受けてください。

## ●電球(バルブ)の交換

### 知 識

- ランプ本体やレンズを外すときは、ボディに傷を付けないように注意してください。
- 電球を交換するときはワット(W)数の違うものを使わないでください。  
電球のワット数 →169ページ
- ハロゲンバルブはガラス球内部の圧力が高いため、落したり、物をぶつけたり、傷をつけたりすると破損してガラスが飛び散ることがあります。取り扱いには十分に注意してください。また、ハロゲンバルブの電球の表面に手などが、触れないようにしてください。  
使用時電球が高温になるため、油などが付着すると寿命が短くなります。触れた場合は、中性洗剤の薄い水溶液を柔らかい布に含ませてよくふき取ってください。
- レンズを取り付けるときは、ネジを締めすぎないようにしてください。  
レンズを破損するおそれがあります。
- ヘッドライト、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時に窓ガラスが曇るのと同様の現象であり、機能上の問題はありません。ただし、レンズ内面に大粒の水 droplet がついているときやランプ内に水がたまっているときは、ホンダベルノ店にご相談ください。

## ヘッドライトについて

### ディスチャージヘッドライト装備車

ヘッドライトの電球切れの点検、交換は必ずホンダベルノ店で行ってください。

### ▲注 意

- ディスチャージヘッドライトは高電圧を使用しており、不適切な取り扱いや分解を行うと感電するおそれがあります。

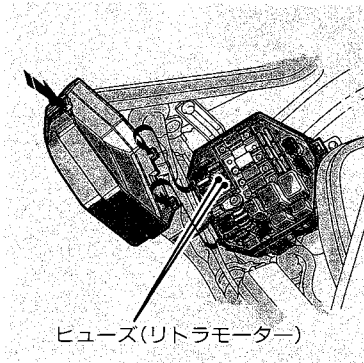
## ヘッドライト

### ハロゲンヘッドライト装備車

ハロゲンバルブを使用していますので、取り扱いに注意してください。

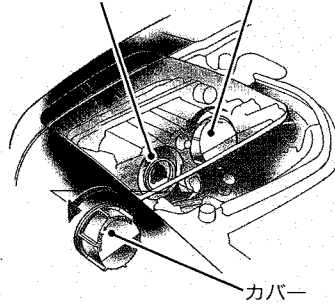
→144ページ

- ①フロントコンパートメント内のヒューズボックスカバーを開き、リトラモーター(15A)のヒューズを外します。

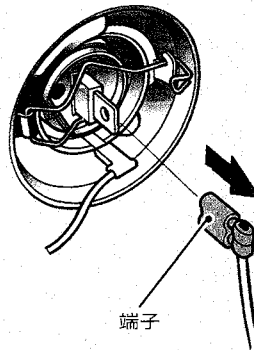


- ②カバーを外します。

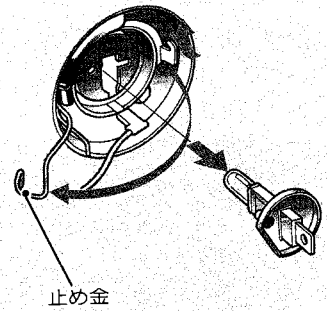
外側(ロービーム) 内側(ハイビーム)



- ③端子を外します。



- ④止め金を外し、電球を外します。



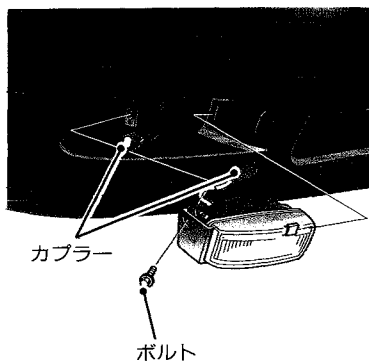
## フォグライト

### タイプ別装備

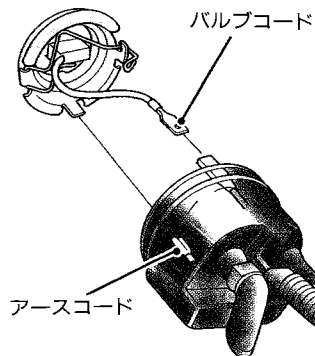
ハロゲンバルブを使用していますので、取り扱いに注意してください。

→144ページ

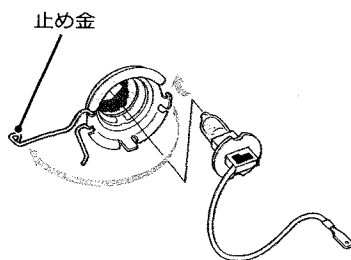
- ①ボルトを外し、カブラーを外して本体を外します。



- ②キャップを外し、バルブコードとアースコードを外します。

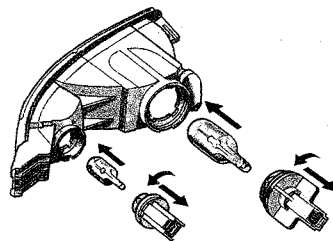
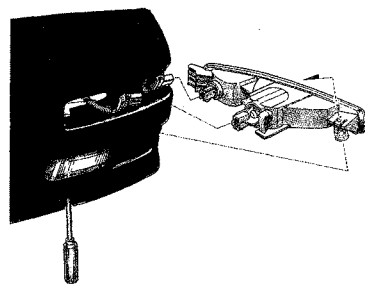


- ③止め金を外し、電球を抜き取ります。



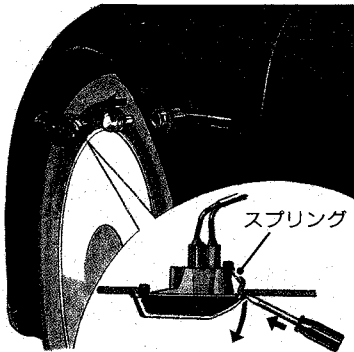
## 前面方向指示器／前面非常点滅表示灯、車幅灯

ネジを外してランプ本体を外します。ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。



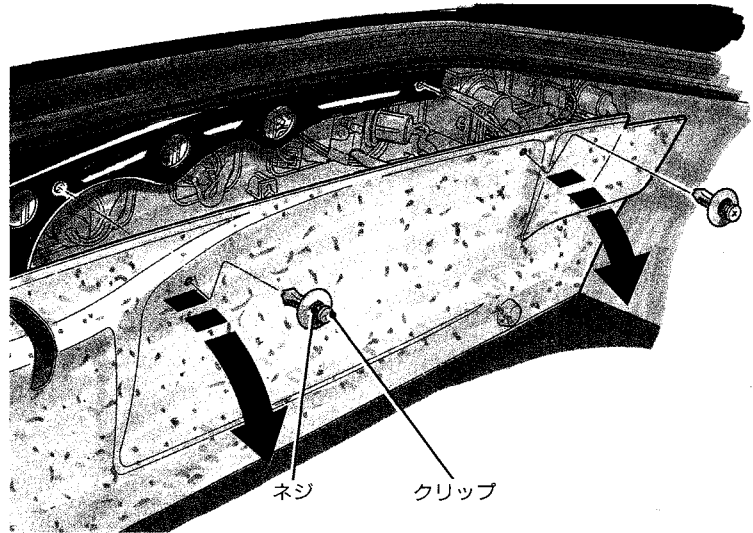
### 側面方向指示器／側面非常点滅表示灯

ドライバー等でスプリングを押しなが  
らランプ本体を外します。  
ソケットを左へ回して外し、電球を  
抜き取ります。

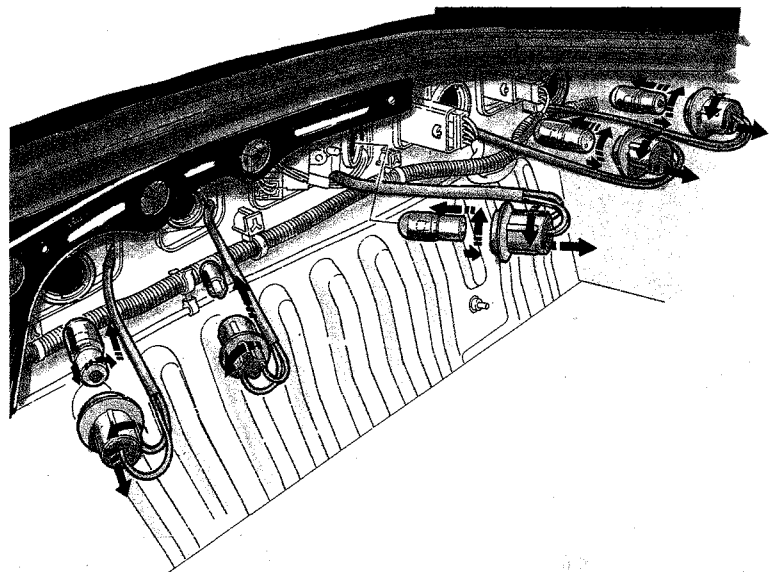


### 制動灯／尾灯、後面方向指示器／後面非常点滅表示灯、後退灯

①ネジをゆるめ、クリップを外し、カバーを開けます。



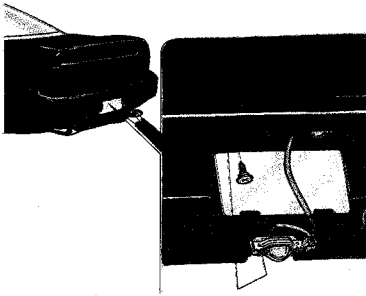
②ソケットを左へ回して外し、制動灯、後面方向指示器／後面非常点滅表示  
灯、後退灯は、電球を押しながら左へ回し抜き取ります。尾灯は、電球を  
抜き取ります。



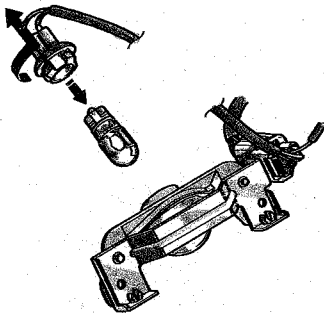


### 番号灯

①ネジを外し、ランプ本体を外します。



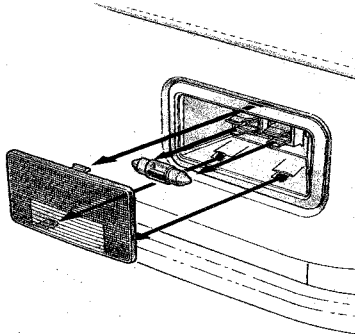
②ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。



### ドア開閉灯

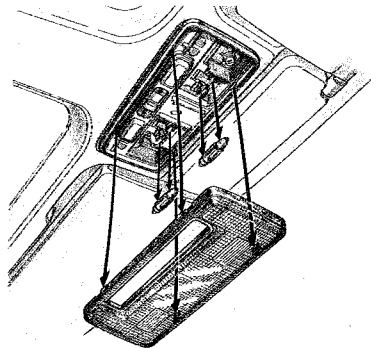
(カーテシーランプ)

レンズを外し、電球を抜き取ります。

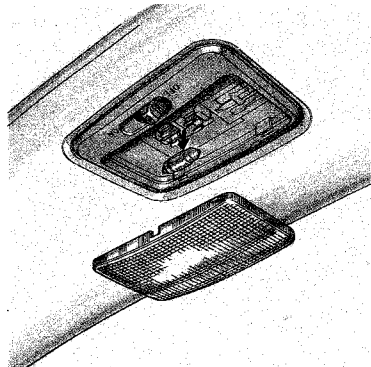


### 室内灯

レンズを外し、電球を抜き取ります。

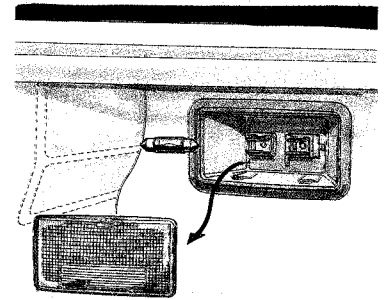


・ type T



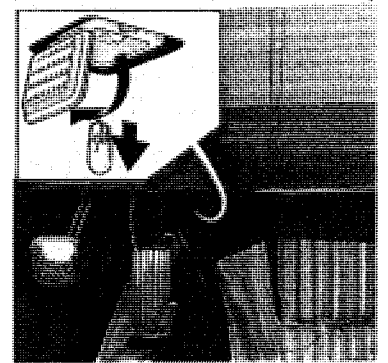
### トランク照明灯

レンズを外し、電球を抜き取ります。



### 足元照明灯

カバーを開け、電球を抜き取ります。



## ヘッドライトが昇降しないとき

フロントコンパースメント内のヒューズを点検してください。

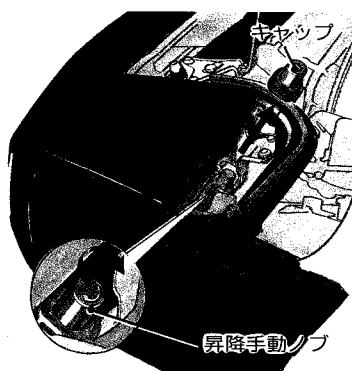
ヒューズの点検・交換 →143ページ  
ヒューズが切れていない場合は、そのままヒューズを外した状態で、次のように手動で操作します。

①昇降しなくなった方の昇降手動ノブのキャップを外します。

### 知 識

- 手動操作をする前に、必ずヒューズを外してください。ヒューズを外さずに行くと、昇降手動ノブが急に回転し、手をはさむおそれがあります。

②ノブを矢印の方向に回して、前照灯を最上部または最下部まで動かします。異物をかみ込んでいたら、いったんノブを逆に回して取り除いてください。



③キャップを元の位置へ確実に取り付けます。

### 知 識

- 異物のかみ込みが原因で作動しなかった場合は、上記の応急処置をした後、取り外したヒューズを元の位置に取り付ければ、ヘッドライトは昇降します。

こんなことでお困りのとき

| 症 状                               | 処 置                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| キーが回せない                           | <p><b>〃 0 〃から〃 1 〃に回らないとき</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ハンドルを左右に動かしながらキーを回してください。<br/>エンジンスイッチ →64ページ</li></ul> <p><b>〃 1 〃から〃 0 〃に回らないとき</b></p> <div>オートマチック車</div> <ul style="list-style-type: none"><li>・ セレクトレバーはPに入っていますか。<br/>キーを抜くとき →64ページ</li></ul> |
| エンジンがかからない                        | <ul style="list-style-type: none"><li>・ オートマチック車は、セレクトレバーがPかNに入っていますか。</li><li>・ ガソリンが入っていますか。<br/>(メーター内の燃料計で確認してください。)</li><li>・ バッテリーがあがっていませんか。<br/>バッテリーあがりのとき →141ページ</li></ul>                                                                                           |
| セレクトレバーがRから動かせない                  | <div>オートマチック車</div> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ブレーキペダルを踏んでから操作していますか。<br/>(操作できないときは、キーをシフトロック解除穴に差し込み、押しながらかセレクトレバーを動かしてください。)</li><li>・ エンジンスイッチを〃 II 〃にしてから操作していますか。<br/>シフトロック装置の正しい理解を →22ページ</li></ul>                                                       |
| ドアを開けるとブザーが鳴る                     | <ul style="list-style-type: none"><li>・ キーをエンジンスイッチに差し込んだままになっていませんか。<br/>キー抜き忘れ警告ブザー →65ページ</li><li>・ ライトを消し忘れたままになっていませんか。<br/>ライト消し忘れ警告ブザー →66ページ</li></ul>                                                                                                                  |
| キーを閉じ込めてしまった                      | <ul style="list-style-type: none"><li>・ ホンダ販売店またはJAFへご連絡ください。</li></ul>                                                                                                                                                                                                         |
| 水温計が赤いマークに入った                     | <ul style="list-style-type: none"><li>・ オーバーヒートのおそれがあります。<br/>(安全な場所に停車して、エンジンを冷やしてください。)</li></ul>                                                                                                                                                                             |
| フロントコンパートメントやエンジンルームから蒸気が立ちのぼっている | <p>オーバーヒートしたとき →140ページ</p>                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がする            | <ul style="list-style-type: none"><li>・ ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっているおそれがあります。<br/>(ホンダベルノ店で点検を行ってください。)</li></ul>                                                                                                                                                                     |
| チェンジレバーがRに入らない                    | <div>マニュアル車</div> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 停車してもRに入らないときは、一度Nへ戻し、1、2 側に倒してからRに入れてください。<br/>Rに入らないとき →73ページ</li></ul>                                                                                                                                             |

# NSX

# 6

## 車の手入れ



点検・整備について .....152

お車を美しく保つために .....153

### 外装の手入れ

洗車のしかた .....154

ワックスをかけるとき .....155

樹脂塗装部品の手入れ .....155

ガラスの手入れ .....155

タイヤについて .....156

アルミホイールについて .....157

### 内装の手入れ

液体芳香剤、

レザークリーナーについて .....158

本革の取り扱い .....158

車にあった部品の使用 .....159

## 点検・整備について

車は走行するにしたがい、また時間が経過するとともに部品の劣化や摩耗などが進んでいき、適切な点検整備を行わないと、安全・快適に乗っていただけなくなるばかりか大気汚染や騒音の増加などを引き起こすことがあります。

このようなことから点検整備が必要であり、ドライバー(運転者)は点検整備を実施することが法律でも義務づけられています。

詳しくは、別冊のメンテナンスノートに記載してありますので、よくお読みになり必ず点検整備を行ってください。

### ●点検整備の種類

#### 日常点検

日常の車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

点検時期の目安としては長距離走行前や洗車時、給油時などに実施します。

#### 法定定期点検

年間走行距離が10,000km程度の標準的な使用を前提に、12か月および24か月毎に実施する点検です。

法律で定められているものと、ホンダが指定するものがあります。

#### その他

新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。

## お車を美しく保つために

### 走行後は

- 塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としましょう。
- とび石などによる塗装面の傷は錆の原因となります。見つけたら早めに補修してください。

### 保管、駐車は

- 風通しのよい車庫や、屋根のある場所をおすすめします。

### 洗車を忘れずに

- 少なくとも月に一度は洗車しましょう。
- 次の場合は、必ず洗車してください。
  - ・ 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき、海岸地帯を走行したとき。  
錆の原因となるので車体の下回り、フェンダーの内側を念入りに洗ってください。
  - ・ コールタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などがついたとき。  
化学変化で塗装面にむらができるので、中性洗剤で洗ってから水で完全に流し、必要に応じてポリシングワックス(ワックス乳液)で磨いてください。  
ポリシングワックスは、ホンダ純正ケミカル用品をお使いください。

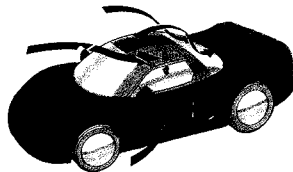
## 外装の手入れ

### 洗車のしかた

- ①十分に水をかけながら、下回り、足まわりの汚れを落とします。
- ②塗装面は屋根から順に下のほうへ水をかけながら、スポンジかセーム皮のような柔らかいもので洗います。
- ③汚れがひどいところは中性洗剤で洗い、さらに水で完全に洗い落とします。
- ④水が乾かないうちに拭き取ります。

#### 知 識

- エンジンフードは、水をかけて洗わないでください。
- ドアガラス周りには、ホースの先端を絞るなどして水を強くかけないでください。  
室内へ水が侵入することがあります。
- 故意に空気取り入れ口やエンジンルーム内の電気部品に水をかけないでください。  
故障のもとになります。



### 自動洗車機を使うとき

- ・アンテナ(センターアンテナを除く)やドアミラーを格納して洗車してください。

#### 知 識

- 自動洗車機を使うと、ブラシの傷がつき光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。
- センターアンテナ装備車は、アンテナを取り外してから洗車してください。

センターアンテナの

外しかた →108ページ

- リヤスポイラーは洗車機によってはひっかかり、洗車できなかったり、車両を傷つけるおそれがあります。

### コイン洗車機を使うとき

洗車ノズルと車体の距離を十分に離して洗車してください。

ドアガラスまわりは、特に注意して行ってください。近づけすぎると室内へ水が侵入することがあります。

## ワックスをかけるとき

月に一回程度または水をはじかなくなったときに行います。

洗車したあと、日陰か車体表面が体温以下になっているときにワックスをかけます。

- ・ワックスはホンダ純正ケミカル用品をお使いください。

### 知 識

- みがき粉(コンパウンド)入りのワックスは使わないでください。塗装面に細い傷が残ることがあります。
- ルーフにWAXをかけないでください。塗装面にWAXが残り白くなることがあります。WAXが白く残った場合は、中性洗剤で洗い流してください。

## 樹脂塗装部品(バンパーなど)の手入れ

ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着すると、しみの発生や塗膜がはがれる原因となります。

すみやかに柔らかい布で拭き取ってください。

### 知 識

- 樹脂塗装部品の傷の補修をする場合は、ホンダベルノ店にご相談ください。不適当な塗料を使うと塗膜を傷めます。

## ガラスの手入れ

ガラスの油膜を取るときは、ガラスクリーナーをお使いください。

- ・ガラスクリーナーはホンダ純正ケミカル用品をお使いください。

### リヤウィンドーの内側を清掃するとき

リヤウィンドーの内側に電熱線が装着されていますので、これに沿って柔らかい布で拭いてください。



## タイヤについて

タイヤの異常摩耗、亀裂、損傷および指定外の空気圧は、乗り心地、操縦性、タイヤの寿命を損ないます。また、摩耗したタイヤは雨天時の高速走行で通常よりもハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

・安全のため、こまめに点検を行ってください。

また、必ず指定サイズ、同一種類のタイヤをお使いください。

●次のようなタイヤは使わないでください。

コントロールを失うことがあり、思わぬ事故につながります。

- ・摩耗限度を超えたタイヤ
- ・指定空気圧に調整されていないタイヤ

タイヤの空気圧 →173ページ

## ▲注意

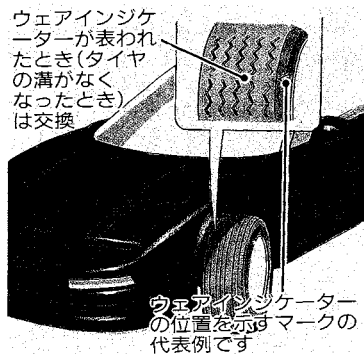
- タイヤの空気圧を調整するときは、規定圧力を守ってください。空気を入れ過ぎると、タイヤが破裂しけがをするおそれがあります。

## 摩耗限界表示

### (ウェアインジケーター)

ウェアインジケーターが表われたらタイヤを交換してください。

- ・ウェアインジケーターは、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が1.6mmだけ浅くなっています。



## ●位置交換

### (タイヤローテーション)

前後輪で、タイヤサイズが異なります。また、回転方向が指定されているため左右のタイヤが異なります。したがって、前後、左右、それぞれ専用タイヤとなっていますので、タイヤ位置の交換はできません。

## アルミホイールについて

アルミホイールは一般的なスチールホイールと取り扱いかが異なります。

アルミホイールの特性を維持するため、必ず次のことをお守りください。

### ●取り扱い

- この車専用のホイールをお使いください。専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずホンダベルノ店にご相談ください。
- パンク修理などでホイールを取り付け直した際には、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。
- アルミホイールは傷つきやすいので歩道の縁石などに乗り上げたり、すり当てたりすることを避けてください。
- バランスウェイトやバルブはホンダ純正のアルミホイール専用品をお使いください。ホイールに傷をつけたり、機能を損なうことがあります。
- タイヤチェーンを装着するときは、正しく装着してください。ホイールに対して片寄ったり、ゆるかったりするとホイールに傷をつけるおそれがありますので注意して装着してください。

### ●手入れ

- アルミホイールは、塩分や汚れを嫌いますので、海水や道路凍結防止剤などが付いたときには、スポンジに中性洗剤を含ませ、汚れを早めに落としてください。
- ホイールの光沢を維持するため、時々ワックスがけをしてください。
- アルミホイールは傷つきやすいので、砂入り石鹼や硬いブラシを使わないでください。高速洗車機(ホイール専用ブラシ付きのもの)によるホイールの洗浄は避けてください。
- スチーム洗浄などで、熱湯がホイールに直接かからないようにしてください。光沢を失うおそれがあります。

## 内装の手入れ

①中性洗剤の水溶液を柔らかい布に軽く含ませて、汚れを落とします。

- ・飲食物などをこぼしたときは、すぐに汚れを落としてください。

②真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をきれいにふき取ります。

③直射日光を避け、風通しのよい日陰で乾燥させます。

### 知 識

- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤は変色、しみなどの原因となるので使わないでください。
- 室内に水をかけないでください。電気部品に水がかかると故障の原因となります。

## 液体芳香剤、レザーグリーナーについて

液体芳香剤、レザーグリーナーはその成分によっては、樹脂部品、布材の変色、ひび割れを起こすことがあります。

取り扱いには十分にご注意ください。

### 知 識

- 液体芳香剤はこぼさないように、容器を確実に固定してください。芳香剤のご使用にあたっては固形タイプのもをおすすめします。
- レザーグリーナーを使用したあとは、必ず乾いた布で軽くふき取ってください。また、使用した布はそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。

## 本革の取り扱い

①ウール用中性洗剤の5%水溶液を柔らかい布に軽く含ませて、汚れを落とします。

②真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をきれいにふき取ります。

③直射日光を避け、風通しのよい日陰で乾燥させます。

### 知 識

- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤は変色、しみなどの原因となるので使わないでください。
- 本革部分に油污れなどが付くとカビなどの原因となるので、早めに落としてください。
- 本革部分を直接日光に長時間さらすと、変質、縮みの原因となります。駐車するときは、日よけに心がけてください。
- 夏期などは、ビニール類を本革部分の上に置かないでください。室内が高温になっていると、ビニールが変質して本革部分に付着するおそれがあります。

## 車にあった部品の使用

車の性能、品質を維持するために、ホンダ車に最も適したホンダ純正部品をお使いください。

純正部品は厳しい検査を実施し、ホンダ車に適合するように作られています。

お求め、装着に際しては、ホンダベルノ店にご相談ください。

- ・純正部品には、右のマークがついています。



- ・ホンダ純正部品以外の車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。  
適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
- ・車の改造はしないでください。  
不正改造は、法律に触れることはもちろん思わぬ事故を起こす場合があります。

MEMO

Lined area for writing the memo.

# NSX

# 7

## 車との上手なつきあいかた



### 積雪・寒冷時の取り扱い

|        |     |
|--------|-----|
| 運転するまえ | 162 |
| 運転するとき | 163 |
| 駐車するとき | 164 |
| 冬期の手入れ | 165 |

### こんなときは

|          |     |
|----------|-----|
| 雨の日の運転   | 166 |
| 夏場の取り扱い  | 167 |
| 経済走行のために | 167 |

## 積雪・寒冷時の取り扱い

### 運転するまえ

#### ●車に積もった雪や着氷は取り除く

##### 屋根に積もった雪

走行時にガラス面に落ちた雪が視界のさまたげとなり危険です。走行するまえに取り除いてください。

- ・氷結している部分を無理に取り除くと塗装などを傷めます。氷が溶けてから取り除いてください。



##### ガラス面の雪や霜

プラスチックの板などを使うとガラスに傷をつけずに落とすことができます。

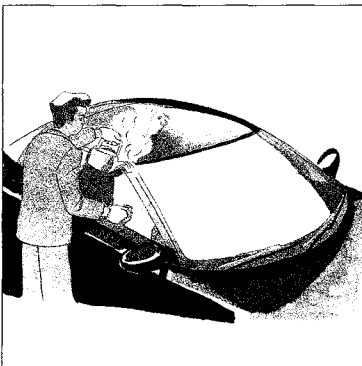
##### 足まわりの着氷

足まわりなどに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないように十分注意して取り除いてください。

#### ●凍結しているとき

##### ドアの凍結

無理に開けるとドアまわりのゴムがはがれたりするので、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。  
・ドアキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結すると、キーが差し込めなくなります。



お湯をかけたあとは、凍結防止のために水分をよく拭き取ってください。

##### ワイパーの凍結(ガラス面が着氷、積雪しているとき)

ワイパーブレード(ゴム部)を損傷したり、モーターの故障となりますので、氷や雪を取り除いてから動かしてください。

#### ●乗車するとき

靴にこびりついた雪をよく落としてから、乗車してください。

- ・ペダル類を操作するときに滑ったり、室内の湿気が多くなりガラスが曇ったりすることがあります。

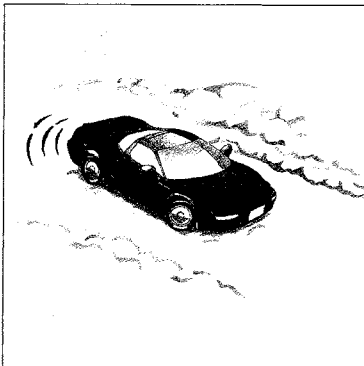


##### 運転するまえに

ペダル類やハンドルの動きが円滑かどうか確認してください。

## 運転するとき

- 雪道や凍結路では、たいへん滑りやすくなっているので、速度を落とし車間距離を十分とって運転しましょう。
- また、ハンドルやブレーキの操作は特に慎重にしてください。
- ・急加速、急減速、急ブレーキや急ハンドルは横すべりを起こして方向性を失います。



- 冬用タイヤ、タイヤチェーンを装着して走行してください。

タイヤチェーンについて

→164ページ

- ・冬用タイヤを装着するときは、四輪とも同じ種類の、標準タイヤと同じサイズのものをお使いください。
- ・地区条例により違いがありますので、その地区の条例に従ってください。

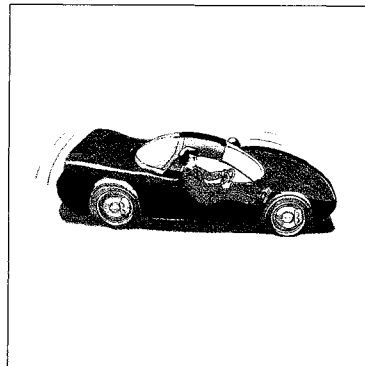
## 知 識

- 冬用タイヤを装着したときには、安全のため高速走行は避けてください。

## ●ブレーキのききについて

ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し、ブレーキのききが悪くなる場合があります。

その際には、前後の車に十分注意して、ブレーキペダルを軽く踏みながら低速で走行し、ブレーキのしめりを乾かしてください。



## 知 識

- ブレーキのききが回復しないときは、ブレーキ系統に異常が考えられますので、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。

## ●ウォッシャー液を噴射するとき

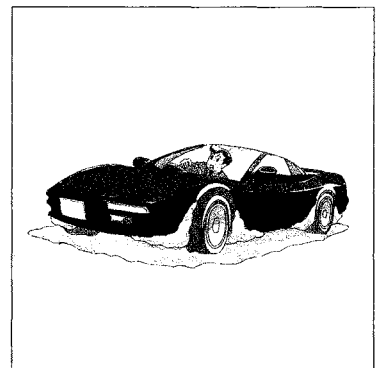
先にヒーターを使ってフロントガラスを暖めてからウォッシャー液を噴射します。

## 注 意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。ウォッシャー液が凍りつき視界のさまたげとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ●ハンドルのきれについて (タイヤまわりの着氷)

フェンダー裏側に付着した雪が氷結し、次第にたい積してハンドルのきれが悪くなる場合があります。ときどき確認し、着氷が大きくなる前に取り除いてください。



## ●パンクしたとき(タイヤチェーン装着時)

応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンを装着することはできません。前輪には、後輪用タイヤチェーンを装着することはできません。



## ●タイヤチェーンについて

### 推奨タイヤチェーン

この車は、一般の車に比べタイヤとフェンダーの間がせまくなっておりまた、標準装着されているタイヤは偏平率が小さく側面がせまくなっています。そのため、タイヤサイズに合ったタイヤチェーンであっても、取り付けられないことや、ホイールなどに傷がつくことがあります。

ご購入、ご使用に際してはホンダベルノ店にご相談ください。

### アドバイス

- タイヤチェーンはタイヤに合った適正なものをお使いください。サイズの合わないものを使うと、ブレーキ配管やフェンダーなどを損傷するおそれがあります。

## タイヤチェーンの取り付けかた

タイヤチェーンは、駆動輪の後輪に装着してください。

タイヤチェーンの取扱説明書にしたがって、正しく取り付けてください。

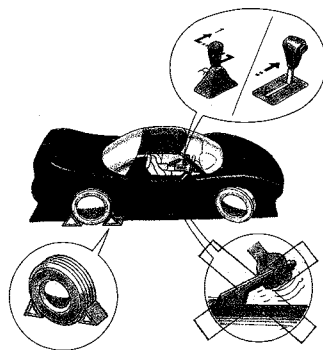
### 知 識

- タイヤチェーンは平らな所で他の交通に十分注意して取り付けてください。必要に応じて非常点滅表示灯などを使ってください。
- 応急用スベアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。
- タイヤチェーンを取り付けたときには、安全のため雪道、凍結路では30 km/h以下の速度で運転してください。なお乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したままで走行するのは避けてください。チェーンの摩耗を早めます。

## 駐車するとき

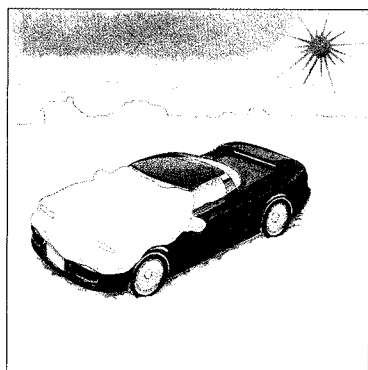
パーキングブレーキの凍結を防ぐために、パーキングブレーキは使わないでください。マニュアル車はギヤをR(後退)か1に、オートマチック車はPに入れます。

石などで輪止めもしておきます。



### ●屋外に駐車するとき

- エンジンの冷えすぎを防ぐために、車の後部を風下や日の当たる方向に向けて停めてください。  
・エンジンが冷えすぎると始動しにくくなることがあります。
- 落雪や積雪を避けるために、軒下や樹木の下などには停めないでください。  
・車の屋根などがへこむことがあります。



### ●長期間使わないで屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

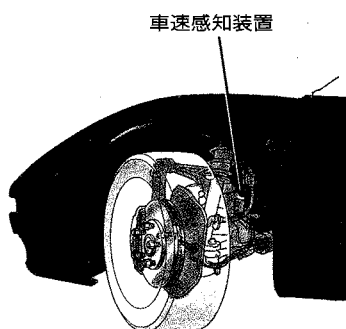
## ▲注 意

- 格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、フロントグリル内側やエンジンルームのエアインレット内側に段ボールや、新聞紙をはさみ込んでおかないでください。  
そのまま走行すると、火災のおそれがあります。

## 冬期の手入れ

### ●雪道走行後の手入れ

- ・フェンダー裏側や足まわりに付着した泥、雪は周囲の部品を損傷しないように取り除いてください。  
足まわり(前、後輪の4か所)に車速感知装置が取り付けられていますので、傷をつけないように特に注意してください。



- ・積雪時には道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。錆の原因になりますので、走行後はすぐに洗車してください。特に下回りは念入りに行ってください。

### ●点検・整備

#### バッテリーについて

気温が下がるとバッテリーの性能が低下し、エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

#### エンジンオイルについて

冬期はオイルの劣化が激しくなります。  
冬期に主として短距離、または市街地を運転される方は、早めに交換してください。

#### 冷却水について

冷却水の凍結を防ぐために点検してください。

#### ウォッシャー液について

ウォッシャー液の凍結を防ぐために、ウォッシャー液の濃度を上げてください。

### 知 識

- 点検方法はメンテナンスノートを参照し、交換はホンダベルノ店にご相談ください。

## こんなときは

### 雨の日の運転

雨の日は視界が悪くなるうえ、窓ガラスが曇ったり、路面が滑りやすくなるなど悪条件が重なるので通常より注意深い運転が必要です。

- ・急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、晴れの日よりも速度を落とし、車間距離を十分にとって運転しましょう。
- ・ハイドロプレーニング現象に注意しましょう。
- ・雨の降り始めの舗装道路は滑りやすいので特に気を付けましょう。

●滑りやすい路面では、急加速、急ブレーキや急ハンドルは避けてください。  
車のコントロールを失い思わぬ事故につながります。

### ハイドロプレーニング現象とは

路面が水でおおわれているところを高速で走行しようとしたときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になることをいいます。

- ・このような状態になると、ハンドルやブレーキがきかなくなり、非常に危険です。

### ●ガラスの曇りをとりたいとき

ガラスが曇って外が見にくいときは、エアコンのデフロスターを使って曇りをとります。

### リヤウインドーの曇りは

リヤデフロスタースイッチを押して、曇りをとります。

### ●ガラスの油膜をとりたいとき

油膜があると、雨の夜は対向車のライトなどが乱反射します。

ガラスクリーナーを使ってガラスの表面をきれいにします。

- ・ガラスクリーナーはホンダ純正ケミカル用品をお使いください。

### ●ワイパーのふきむらがあるとき

ワイパーブレードのラバーが傷んでいると、ふきむらが出て視界のさまたげとなります。また、ガラス面を傷つけることがありますので、早めに交換してください。

ラバーの交換→68ページ

## 夏場の取り扱い

### ●エアコンの上手な使いかた

- ・冷媒(ガス)が不足していると、冷房性能が低下します。  
夏になる前に点検、補充をしておきましょう。
- ・室内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンをかけましょう。
- ・エアコンの冷えすぎは健康上良くありません。

### 知 識

- この車の冷媒は、環境保護のため、新冷媒HFC-134a(R-134a)を使用しています。  
補充・交換が必要な場合は、ホンダベルノ店にご相談ください。

### ●炎天下に駐車するときは

- ・ボディに覆いをかけたり、ハンドルやシートにタオルなどをかけて、室内温度の上昇を抑えましょう。
- ・フロントガラスにアルミ光沢性の日除けバイザーを使うと、反射光が集光し、インストルメントパネルなどが変色、変形することがあります。

### ●海から帰ってきたときは

海に出かけた後は車も塩分を浴びています。錆の原因になりますので早めに洗車してください。下回りも念入りに洗いましょう。

### ●オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足しないように、こまめに点検します。

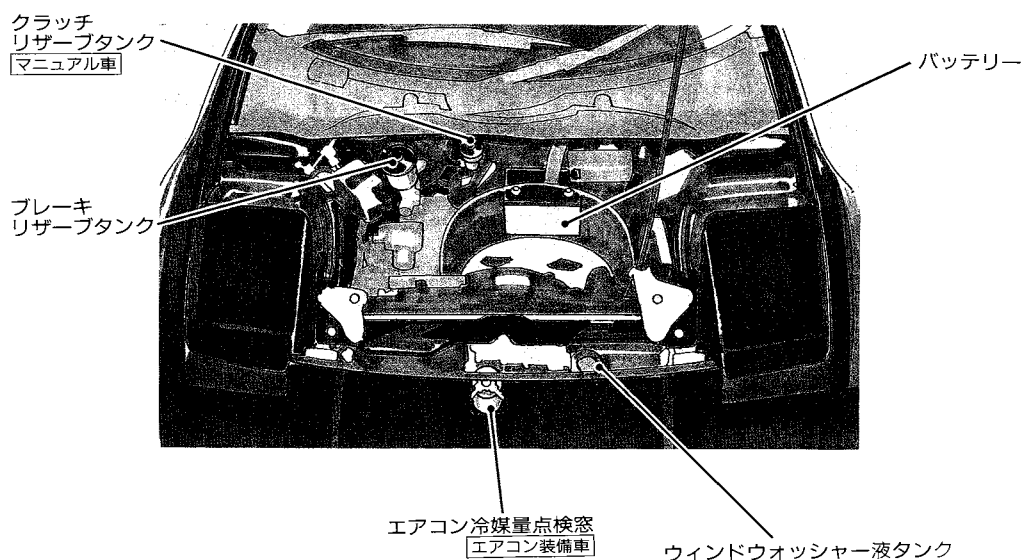
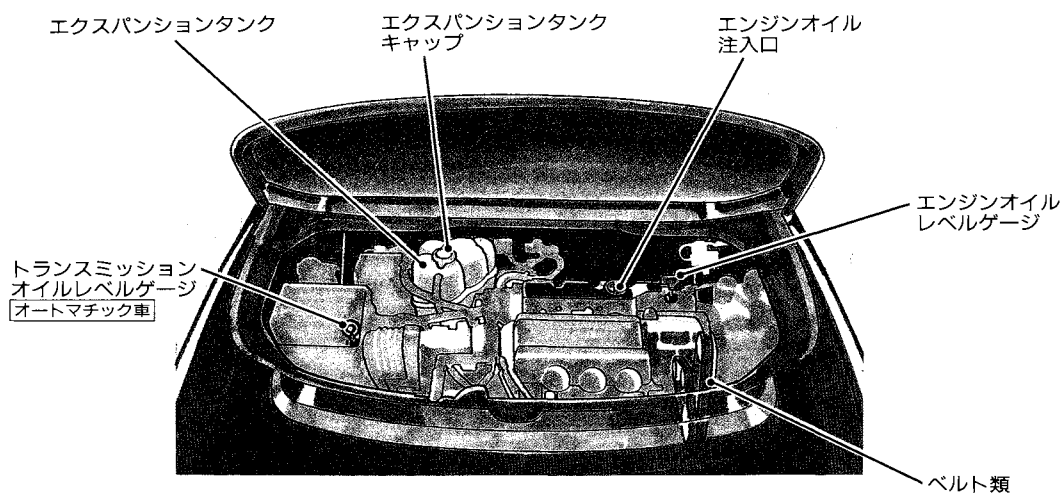
- ・走行中、水温計の針が赤いマークに入った場合は、オーバーヒートのおそれがあります。安全な場所に停車してエンジンを冷してください。

オーバーヒートしたとき

→140ページ

## 経済走行のために

- unnecessary 急加速、急減速などアクセルペダルをバタつかせるような運転をしないでください。
- 変速位置の選択は、走行速度に応じて適切に行ってください。
- マニュアル車のチェンジレバーの操作は、クラッチペダルをいっばいに踏み込んでから確実に行ってください。  
・クラッチペダルの足のせ運転、半クラッチの連続使用はしないでください。
- 点検整備をきちんとし、タイヤの空気圧を適正にしましょう。
- 長すぎる暖機運転をしないようにしましょう。
- 駐車時にはエンジンを止めましょう。
- 高速道路でも unnecessary 高速走行は避けましょう。
- 車間距離は十分に取り、 unnecessary ブレーキをかけないようにしましょう。
- トラunkルームには unnecessary 荷物は載せないようにしましょう。



| 項 目                  |                                                       | サ ー ビ ス デ ー タ                       |                          |
|----------------------|-------------------------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 電 球 ( バ ル ブ )        | W(ワット)/CP(キャ<br>ンドルパワー)数<br>{CP(キャンドルパワー)}<br>: 光度の単位 | ヘッドライト(ディスチャージヘッドライト 装備車)           |                          |
|                      |                                                       | (外側) .....12V-35W※1                 |                          |
|                      |                                                       | (内側) .....12V-60W※2                 |                          |
|                      |                                                       | ヘッドライト(ディスチャージヘッドライト 非装備車)          |                          |
|                      |                                                       | (外側) .....12V-55W※2                 |                          |
|                      |                                                       | (内側) .....12V-55W※2                 |                          |
|                      |                                                       | フォグライト .....12V-55W※2               |                          |
|                      |                                                       | 前面方向指示器/前面非常点滅表示灯.....12V-21W       |                          |
|                      |                                                       | 車幅灯 .....12V-5 W                    |                          |
|                      |                                                       | 側面方向指示器/側面非常点滅表示灯 .....12V-5 W      |                          |
|                      |                                                       | 後面方向指示器/後面非常点滅表示灯 ....12V-45CP(27W) |                          |
|                      |                                                       | 番号灯 .....12V-8 W                    |                          |
|                      |                                                       | 制動灯/尾灯 .....12V-27/5W               |                          |
|                      |                                                       | 後退灯 .....12V-21W                    |                          |
|                      |                                                       | 室内灯 .....12V-5 W                    |                          |
|                      |                                                       | 室内灯 (type T) .....12V-8 W           |                          |
| ドア開閉灯.....12V-3.4W   |                                                       |                                     |                          |
| トランク照明灯.....12V-3.4W |                                                       |                                     |                          |
| 足元照明灯 .....12V-5 W   |                                                       |                                     |                          |
| 点 火 プ ラ グ※3          | タ イ プ                                                 | NGK                                 | PFR6G-11<br>PFR7G-11     |
|                      |                                                       | DENSO                               | PK20PR-L11<br>PK22PR-L11 |
|                      | 電 極 の す き 間 (mm)                                      | 1.0~1.1(限度値1.3)                     |                          |

  ：標準装備

※1：ディスチャージヘッドライト

※2：ハロゲンバルブ

※3：●ISO(国際標準化機構)規格品を使用しています。のマークがついています。

●白金プラグを使用していますので、次のことに注意してください。

- ・白金チップの微粒子膜を損傷するおそれがあるので、ワイヤーブラシ等による清掃は行わないでください。
- ・プラグギャップは調整できません。限度値をこえているものは交換してください。  
(清掃はクリーナーにて20秒以下で行ってください。)

| 項 目                        |                                                              | サ ー ビ ス デ ー タ      |                    |                                                       |
|----------------------------|--------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------|-------------------------------------------------------|
| ベ ル ト の<br>た わ み 量 (mm)    | <div></div> <div>A:発電機ベルト<br/>B:エアコンディショナーベルト(エアコン装備車)</div> |                    |                    |                                                       |
|                            | 発 電 機 ベ ル ト                                                  | エアコン装備車            | 11.0～13.5(約10kgの力) |                                                       |
|                            |                                                              | エアコン非装備車           | 12.0～14.0(約10kgの力) |                                                       |
|                            | エ ア コ ン デ ィ シ ョ ナ ー<br>ベ ル ト                                 | 10.0～12.0(約10kgの力) |                    |                                                       |
| ブ レ ー キ ペ ダ ル              | 遊 び (mm)                                                     | 1～5                |                    |                                                       |
|                            | 床板とのすき間 (mm)                                                 | 108以上(約20kgの力)     |                    |                                                       |
|                            | カーペットとのすき間<br>参 考 値 (mm)                                     | 87以上(約20kgの力)      |                    |                                                       |
| ク ラ ッ チ ペ ダ ル              | 遊 び (mm)                                                     | 9～15               |                    |                                                       |
|                            | 床板とのすき間 (mm)                                                 | 92以上(クラッチが切れたとき)   |                    |                                                       |
|                            | カーペットとのすき間<br>参 考 値 (mm)                                     | 71以上(クラッチが切れたとき)   |                    |                                                       |
| 駐 車 ブ レ ー キ                | 引 き し ろ                                                      | 10～14ノッチ(約20kgの力)  |                    |                                                       |
| エ ア ク リ ー ナ ー<br>エ レ メ ン ト | タ イ プ                                                        | 乾式                 |                    |                                                       |
| バ ッ テ リ ー                  | 容 量 / タ イ プ                                                  | マニュアル車             | エアコン装備車            | 52AH(5)/70D23L<br>55AH(5)/80D26L                      |
|                            |                                                              |                    | エアコン非装備車           | 86AH(5)/55B24L(S)<br>52AH(5)/70D23L<br>55AH(5)/80D26L |
|                            |                                                              | オートマチック車           |                    | 52AH(5)/70D23L<br>55AH(5)/80D26L                      |

☐ : 標準装備

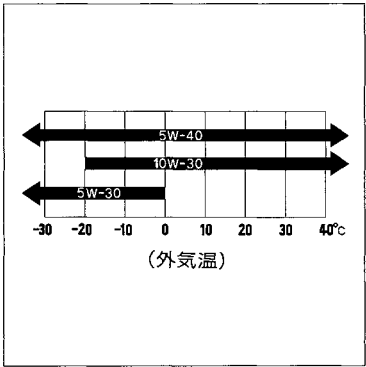
| 項 目     |           | サ ー ビ ス デ ー タ                                                                                       |
|---------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 燃 料     | 使 用 燃 料   | 無鉛プレミアムガソリン                                                                                         |
|         | タンク容量 (ℓ) | 70                                                                                                  |
| エンジンオイル | 推 奨 オ イ ル | ホンダ純正オイル(4サイクル四輪車用)<br>ウルトラSUPER MILD SJ(API SJ/GF-2級 SAE 10W-30)<br>ウルトラGOLD XJ(API SJ級 SAE 5W-40) |
|         | 規 定 量 (ℓ) | 4.3(オイル交換時)、5.0(オイル、オイルフィルター同時交換時)                                                                  |

推奨エンジンオイル

ホンダ純正エンジンオイルまたは API SG 級以上か、オイル缶に API CERTIFICATION(エーピーアイサーティフィケーション)マークの入ったエンジンオイルをお使いください。



市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを下表にもとづきお使いください。

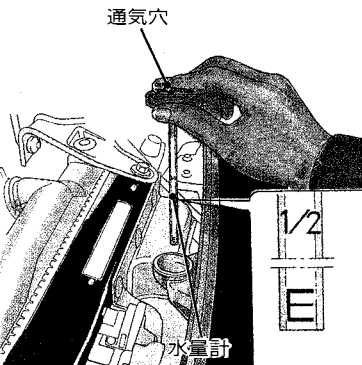




| 項 目                |                                             | サ ー ビ ス デ ー タ                     |                    |
|--------------------|---------------------------------------------|-----------------------------------|--------------------|
| トランスミッション<br>オ イ ル | 推 奨 オ イ ル                                   | マ ニ ュ ア ル 車                       | ホンダ純正オイルウルトラMTF-II |
|                    | 指 定 液                                       | オートマチック車                          | ホンダ純正オイルウルトラATF    |
|                    | 規 定 量 (ℓ)                                   | マ ニ ュ ア ル 車                       | 2.65(交換時)          |
|                    |                                             | オートマチック車                          | 2.9(交換時)           |
| 冷 却 水              | 指 定 液                                       | ホンダ純正ウルトララジエーター液                  |                    |
|                    | 規 定 濃 度                                     | 50%                               |                    |
|                    | 規 定 量 (ℓ)<br>(交換時エクspansion)<br>(タンク2.0ℓ含む) | 12.0                              |                    |
| ブ レ ー キ 液          | 指 定 液                                       | ホンダ純正ウルトラブレーキフルード DOT 3 または DOT 4 |                    |
| ク ラ ッ チ 液          | 指 定 液                                       | ホンダ純正ウルトラブレーキフルード DOT 3 または DOT 4 |                    |
| ウォッシャータンク          | 容 量 (ℓ)                                     | 2.5                               |                    |

ウォッシャー液の量の点検

ウォッシャー液の量は、タンクキャップの通気穴を指で押さえながら、キャップを外して水量計で確認します。



| 項目<br><br>タイヤサイズ        |                  | タイヤ空気圧<br>(空車時：kPa(kgf/cm <sup>2</sup> )) |    |                       |    | ※リムサイズ  | タイヤの<br>残溝の深さ<br>(mm) |
|-------------------------|------------------|-------------------------------------------|----|-----------------------|----|---------|-----------------------|
|                         |                  | 前 輪                                       |    | 後 輪                   |    |         |                       |
|                         |                  | 一般                                        | 高速 | 一般                    | 高速 | アルミホイール |                       |
| 標準タイヤ                   | 215/45ZR16       | オーディオ装備車<br>230(2.3)                      |    |                       |    | 16×7JJ  | 1.6以上                 |
|                         |                  | オーディオ非装備車<br>200(2.0)                     |    |                       |    |         |                       |
|                         | 245/40ZR17       |                                           |    | オーディオ装備車<br>280(2.8)  |    | 17×8½JJ |                       |
|                         |                  |                                           |    | オーディオ非装備車<br>250(2.5) |    |         |                       |
| 折りたたみ式<br>応急用スペア<br>タイヤ | 165/75D16 87M FS | 180(1.8)                                  |    | 230(2.3)              |    | 16×5J   |                       |

※：この車専用のタイヤ、ホイールをお使いください。

専用以外のタイヤ、ホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。

タイヤまたはホイール交換に際しては、必ずホンダベルノ店にご相談ください。

| 名称  | 排気量 (cm³) | 車体形状   | 乗車定員 (人) | タイプ      |                     |
|-----|-----------|--------|----------|----------|---------------------|
| NSX | 2,977     | 2ドアクーペ | 2        | オートマチック車 | —                   |
|     |           |        |          |          | type T<br>(オープンルーフ) |
|     | 3,179     |        |          | マニュアル車   | —                   |
|     |           |        |          |          | type T<br>(オープンルーフ) |
|     |           |        |          | type S   |                     |

## ア

|                      |     |
|----------------------|-----|
| 足元照明灯                |     |
| 電球の交換                | 148 |
| W(ワット数)              | 169 |
| アルミホイール              | 157 |
| アンチロックブレーキシステム (ABS) |     |
| 警告灯                  | 95  |
| 装置について               | 94  |
| 取り扱いについて             | 95  |
| アンテナ                 | 109 |

## イ

|                |    |
|----------------|----|
| イグニッション(エンジン)  |    |
| キー             | 40 |
| スイッチ           | 64 |
| イルミネーションコントロール | 70 |

## ウ

|          |         |
|----------|---------|
| ウィンカー    |         |
| スイッチ     | 67      |
| 電球の交換    | 146・147 |
| 表示灯      | 59      |
| W(ワット数)  | 161     |
| ウィンドー    | 46      |
| ウォッシュャー液 |         |
| スイッチ     | 69      |
| タンクの容量   | 172     |
| 冬期の手入れ   | 165     |
| 運転のしかた   | 71      |

## エ

|             |     |
|-------------|-----|
| エアコン        |     |
| オートエアコン     | 101 |
| スイッチ        | 103 |
| 吹き出し風の調節    | 100 |
| ベルト         | 170 |
| エアコンプレッサー   | 135 |
| AM/FMラジオ一体式 |     |
| カセットステレオ    | 110 |

|                  |     |
|------------------|-----|
| SRSエアバッグシステム     |     |
| SRSエアバッグシステムのしくみ | 86  |
| お子さまを乗せるとき       | 90  |
| 警告灯              | 91  |
| 作動するとき、しないとき     | 88  |
| 取り扱いについて         | 91  |
| エレクトリックパワーステアリング |     |
| 警告灯              | 62  |
| エンジンオイル・フィルター    |     |
| オイル量             | 163 |
| 冬期の手入れ           | 165 |
| エンジンキー(キー)       | 40  |
| エンジンスイッチ         | 64  |
| エンジンのかけかた        | 71  |
| エンジンブレーキ         | 16  |
| エンジンルーム          | 44  |

## オ

|                  |         |
|------------------|---------|
| 応急用スペアタイヤ        |         |
| 格納場所             | 126     |
| 空気圧              | 173     |
| サイズ              | 173     |
| スペアタイヤについて       | 133     |
| オーディオ            |         |
| 上手な使いかた          | 102     |
| オートアンテナ          | 109     |
| オートエアコン          | 101     |
| オートドアロック         | 41      |
| オートヒーター          |         |
| 使いかた             | 105     |
| スイッチ             | 106     |
| 吹き出し風の調節         | 100     |
| オートマチックトランスミッション |         |
| 運転のしかた           | 78      |
| オイル              | 172     |
| シフトスイッチ          | 76      |
| セレクトレバー          | 74      |
| マニュアルモード         | 76      |
| オーバーヒート          | 140     |
| オドメーター           | 57      |
| 温度感知装置           | 104・107 |

## カ

|           |     |
|-----------|-----|
| カセットプレーヤー | 113 |
| カップホルダー   | 123 |
| ガラスアンテナ   | 109 |
| ガラスの手入れ   | 155 |
| 換気        | 12  |
| 寒冷時の取り扱い  | 162 |

## キ

|             |    |
|-------------|----|
| キー          | 40 |
| キー抜き忘れ警告ブザー | 65 |
| キックダウン      | 19 |

## ク

|            |         |
|------------|---------|
| 曇り止め       | 102・106 |
| クラッチ       |         |
| 液の補給       | 172     |
| ペダル        | 170     |
| クリープ現象     | 19      |
| クルーズコントロール |         |
| 作動表示灯      | 59      |
| 使いかた       | 82      |
| 車にあった部品の使用 | 159     |
| 車の積雪について   | 162     |
| グローブボックス   | 123     |

## ケ

|            |     |
|------------|-----|
| 警告灯        |     |
| 警告灯が点灯したとき | 139 |
| 警告灯類       | 60  |
| 電球切れの点検    | 63  |
| 経済走行       | 167 |
| 化粧鏡        | 122 |
| けん引        |     |
| 動けなくなったとき  | 131 |
| けん引されるとき   | 130 |
| ロープ取り付け部   | 130 |

## コ

|                   |     |
|-------------------|-----|
| コインホルダー .....     | 123 |
| 工具(ツール)           |     |
| 格納場所 .....        | 126 |
| 種類 .....          | 127 |
| 後写鏡               |     |
| 使いかた .....        | 50  |
| 高速道路で故障したとき ..... | 128 |
| 後退灯               |     |
| 電球の交換 .....       | 147 |
| W(ワット)数 .....     | 169 |
| 故障したとき .....      | 128 |
| 故障の修理について .....   | 128 |
| 小物入れ .....        | 123 |
| コンソールボックス .....   | 123 |

## サ

|               |     |
|---------------|-----|
| サービスデータ ..... | 168 |
| サンバイザー .....  | 122 |

## シ

|                      |         |
|----------------------|---------|
| シート .....            | 48      |
| シートベルト .....         | 11・51   |
| シートベルト警告灯 .....      | 62      |
| シートベルトプリテンショナー ..... | 92      |
| シガレットライター .....      | 121     |
| 事故が起きたとき .....       | 129     |
| 室内灯                  |         |
| 使いかた .....           | 120     |
| 電球の交換 .....          | 148     |
| W(ワット)数 .....        | 169     |
| シフトスイッチ .....        | 76      |
| シフトロック装置 .....       | 22      |
| 霜取り・曇り止め             |         |
| 前面/側面ガラス .....       | 102・106 |
| ジャッキの取り扱い .....      | 132     |
| 車幅灯                  |         |
| 電球の交換 .....          | 146     |
| W(ワット)数 .....        | 169     |
| 充電警告灯 .....          | 61      |
| 樹脂塗装部品 .....         | 155     |
| 上下/前後調節式ハンドル .....   | 49      |
| 照明灯                  |         |
| エンジンスイッチ .....       | 120     |
| 足元 .....             | 120     |

## ス

|                      |     |
|----------------------|-----|
| 水温計 .....            | 57  |
| スイッチの使いかた .....      | 64  |
| スパークプラグ(点火プラグ) ..... | 169 |
| スピードメーター .....       | 57  |
| スポットランプ .....        | 120 |

## セ

|                    |     |
|--------------------|-----|
| セーフティインジケータ .....  | 63  |
| 制動灯                |     |
| 電球の交換 .....        | 147 |
| 電球切れ警告灯 .....      | 63  |
| W(ワット)数 .....      | 169 |
| 整備 .....           | 152 |
| 積雪・寒冷時の取り扱い        |     |
| 運転するとき .....       | 163 |
| 運転するまえ .....       | 162 |
| 駐車するとき .....       | 164 |
| 冬期の手入れ .....       | 165 |
| セキュリティシステム .....   | 118 |
| セレクトレバー            |     |
| ポジション表示灯 .....     | 59  |
| 操作 .....           | 74  |
| 洗車 .....           | 154 |
| 前照灯                |     |
| 上向き表示灯 .....       | 59  |
| 上向きと下向きの切り換え ..... | 66  |
| 追越合図(パッシング) .....  | 66  |
| 昇降スイッチ .....       | 67  |
| 昇降しないとき .....      | 149 |
| 昇降装置警告灯 .....      | 63  |
| スイッチ .....         | 65  |
| 電球の交換 .....        | 145 |
| W(ワット)数 .....      | 169 |
| センターバイザー .....     | 122 |

## ソ

|                |       |
|----------------|-------|
| 速度範囲 .....     | 73・77 |
| その他の安全装備 ..... | 98    |

## タ

|                     |  |
|---------------------|--|
| タイヤ                 |  |
| 位置交換(ローテーション) ……156 |  |
| 応急用スペアタイヤ ……133     |  |
| 空気圧 ……173           |  |
| 交換 ……134            |  |
| サイズ ……173           |  |
| チェーン ……164          |  |
| 冬用タイヤ ……163         |  |
| タコメーター ……57         |  |

## チ

|                   |  |
|-------------------|--|
| チェーン ……163        |  |
| チェンジレバー ……73      |  |
| チャイルドシート ……14・52  |  |
| 駐車                |  |
| 坂道 ……24           |  |
| 積雪、寒冷時の取り扱い ……164 |  |
| 駐車ブレーキ            |  |
| 警告灯 ……62          |  |
| 積雪、寒冷時の取り扱い ……164 |  |
| 操作 ……72           |  |
| チルトステアリング ……49    |  |

## ツ

|               |  |
|---------------|--|
| ツール(工具) ……121 |  |
|---------------|--|

## テ

|                    |  |
|--------------------|--|
| テレスコピックステアリング ……49 |  |
| 電圧計 ……57           |  |
| 点火プラグ ……169        |  |
| 電気系統が異常のとき ……141   |  |
| 電気装置が作動しないとき ……143 |  |
| 電球                 |  |
| 交換 ……144           |  |
| W(ワット)数 ……169      |  |
| 点検・整備について ……152    |  |

|                  |  |
|------------------|--|
| 電動トランクオープナー ……43 |  |
| 電動リモコンドアミラー ……50 |  |

## ト

|                       |  |
|-----------------------|--|
| ドア                    |  |
| 開閉警告灯 ……63            |  |
| 積雪、寒冷時の取り扱い ……162     |  |
| 施錠・解錠 ……40            |  |
| ドア開閉灯                 |  |
| 電球の交換 ……148           |  |
| W(ワット)数 ……169         |  |
| ドアミラー ……50            |  |
| 冬期の手入れ ……165          |  |
| 盗難防止システム ……118        |  |
| 時計 ……119              |  |
| トラクションコントロールシステム(TCS) |  |
| 運転のしかた ……96           |  |
| 警告灯 ……97              |  |
| 作動表示灯 ……96            |  |
| スイッチ ……97             |  |
| 装置について ……96           |  |
| トランク                  |  |
| 開閉 ……43               |  |
| 開閉警告灯 ……63            |  |
| トランク照明灯               |  |
| 電球の交換 ……148           |  |
| W(ワット)数 ……169         |  |
| トランスミッション             |  |
| オイル容量 ……172           |  |
| 警告灯 ……61              |  |
| トリップメーター ……57         |  |

## ナ

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 内外気切り換えスイッチ ……101・105 |  |
| 内装の手入れ ……158          |  |

## ネ

|                |  |
|----------------|--|
| 燃料             |  |
| 使用燃料 ……45・171  |  |
| タンク容量 ……45・171 |  |
| 燃料計 ……57       |  |
| 燃料残量警告灯 ……62   |  |
| 補給口 ……45       |  |

## ハ

|               |         |
|---------------|---------|
| パーキングブレーキ     |         |
| 警告灯           | 62      |
| 積雪、寒冷時の取り扱い   | 164     |
| 操作            | 72      |
| 灰皿            | 121     |
| ハイドロプレーニング現象  | 166     |
| ハイビーム表示灯      | 59      |
| ハイマウントストップランプ | 98      |
| ハザードランプ       |         |
| スイッチ          | 67      |
| 電球の交換         | 146・147 |
| W(ワット)数       | 169     |
| 発炎筒           |         |
| 格納場所          | 126     |
| 発炎筒について       | 127     |
| バックミラー        |         |
| 使いかた          | 50      |
| バッテリー         |         |
| 充電            | 142     |
| 冬期の手入れ        | 165     |
| バッテリーあがり      | 141     |
| 容量            | 170     |
| 発電機ベルト        | 170     |
| パニティミラー       | 122     |
| パワーウィンドー      | 46      |
| パンク           |         |
| 積雪、寒冷時の取り扱い   | 163     |
| パンクしたとき       | 132     |
| 番号灯           |         |
| 電球の交換         | 148     |
| W(ワット)数       | 169     |
| ハンドル          | 49      |

## ヒ

|           |         |
|-----------|---------|
| PGM-FI警告灯 | 61      |
| ヒーター・エアコン | 100     |
| 非常点滅表示灯   |         |
| スイッチ      | 67      |
| 電球の交換     | 146・147 |
| W(ワット)数   | 169     |
| 尾灯        |         |
| 電球の交換     | 147     |
| W(ワット)数   | 169     |
| ヒューズ      | 143     |
| 表示灯       | 58      |

## フ

|               |         |
|---------------|---------|
| フォグライトスイッチ    | 70      |
| 吹き出し口切り換えボタン  | 103・106 |
| 吹き出し風の調節      | 100     |
| 踏切で動けなくなったとき  | 128     |
| 冬用タイヤ         | 163     |
| プラグ           | 169     |
| ブレーキ          |         |
| 警告灯           | 62      |
| 積雪、寒冷時の取り扱い   | 163     |
| 倍力装置          | 15      |
| フューエルリッドオープナー | 45      |

## ヘ

|              |       |
|--------------|-------|
| ヘッドライト       |       |
| 上向き表示灯       | 59    |
| 上向きと下向きの切り換え | 66    |
| 追越合図(パッシング)  | 66    |
| 昇降スイッチ       | 67    |
| 昇降しないとき      | 149   |
| 昇降装置警告灯      | 63    |
| スイッチ         | 65    |
| 電球の交換        | 145   |
| W(ワット)数      | 169   |
| ベビーシート       | 14・52 |

## ホ

|             |         |
|-------------|---------|
| ホーンスイッチ     | 70      |
| ホイールサイズ     | 173     |
| ホイールの交換について | 138     |
| 芳香剤         | 158     |
| 方向指示器       |         |
| スイッチ        | 67      |
| 電球の交換       | 146・147 |
| 表示灯         | 59      |
| W(ワット)数     | 169     |
| 本革の取り扱い     | 158     |
| ボンネット       | 42      |

マ

|                |     |
|----------------|-----|
| 窓ガラスアンテナ ..... | 109 |
| マニュアルトランスミッション |     |
| オイル .....      | 172 |
| チェンジレバー .....  | 73  |
| マニュアルモード ..... | 76  |
| 万一のとき .....    | 125 |

ム

|            |    |
|------------|----|
| 無線装置 ..... | 27 |
|------------|----|

メ

|            |    |
|------------|----|
| メーター ..... | 56 |
|------------|----|

ユ

|             |    |
|-------------|----|
| 油圧計 .....   | 57 |
| 油圧警告灯 ..... | 61 |

ラ

|                    |     |
|--------------------|-----|
| ライト消し忘れ警告ブザー ..... | 66  |
| ライトスイッチ .....      | 65  |
| ライト類が点灯しないとき ..... | 147 |
| ラジオ .....          | 111 |

リ

|                    |     |
|--------------------|-----|
| リムサイズ .....        | 173 |
| リモートコントロール         |     |
| ドアミラー .....        | 50  |
| リヤウィンドー開閉警告灯 ..... | 63  |
| リヤデフロスター .....     | 69  |

ル

|                |       |
|----------------|-------|
| ルーフ開閉警告灯 ..... | 38・63 |
| ルーフの取り扱い ..... | 31    |
| ルームミラー .....   | 50    |
| ルームランプ .....   | 120   |

レ

|                |     |
|----------------|-----|
| 冷却水            |     |
| 水量 .....       | 172 |
| 冬期の手入れ .....   | 165 |
| 補給 .....       | 172 |
| 冷房 .....       | 101 |
| レザークリーナー ..... | 150 |

ワ

|                   |     |
|-------------------|-----|
| ワイパー              |     |
| スイッチ .....        | 68  |
| 積雪、寒冷時の取り扱い ..... | 162 |
| ワックスをかけるとき .....  | 155 |

**A**

ABS(アンチロックブレーキシステム)

- 運転のしかた.....94
- ABSのしくみ .....94
- 警告灯.....95
- 取り扱いについて.....95

A/C(エアコン)

- オートエアコン .....101
- スイッチ .....103
- 吹き出し風の調節 .....100
- ベルト .....170

A/T(オートマチックトランスミッション)

- 運転のしかた.....78
- オイル .....172
- シフトスイッチ.....76
- セレクトレバー.....74
- マニュアルモード.....76

**H**

HFC-134a(エアコン冷媒) .....167

**I**

INT(間欠ワイパー) .....68

**M**

M/T(マニュアルトランスミッション)

- オイル .....172
- チェンジレバー.....73

**P**

PGM-FI警告灯 .....61

PRESS(シートベルトバックル) 53

**S**

SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムの

- しくみ.....86
- お子さまを乗せるとき.....90
- 警告灯.....91
- 作動するとき、しないとき.....88
- 取り扱いについて.....91

**T**

TCS(トラクションコントロールシステム)

- 警告灯.....97
- 作動表示灯.....96
- スイッチ.....97
- 装置について.....96

**W**

W数(ライト類の電球の

ワット数).....169



Lined area for writing the memo.